

高砂市障害者計画・第6期高砂市障害福祉計画兼  
第2期障害児福祉計画策定に向けたアンケート  
調査結果報告書  
【障がい者へのアンケート】

令和2年10月  
高砂市



# 目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	結果の見方	1
II	調査結果	2
1	あなたの年齢・家族などについて	2
1-1	調査票の記入者	2
1-2	年齢	2
1-3	性別	2
1-4	居住地域	3
1-5	暮らし方	3
1-6	日常生活での介助の必要性	5
1-6-1	介助者	9
1-6-2	介助者の年齢と健康状態	9
2	あなたの障がいの状況について	10
2-1	障害者手帳	10
2-1-1	身体障がいの等級と主な障がい	10
2-1-2	知的障がいの程度	11
2-1-3	精神障がいの等級	11
2-2	難病の認定	11
2-3	発達障害の診断	12
2-4	高次脳機能障害の診断	12
2-5	医療的ケアの有無	12
2-5-1	医療的ケアの内容	13
3	住まいや暮らしについて	14
3-1	今後の暮らし方の希望	14
3-2	希望する暮らし方に必要な支援	16
4	日中活動や就労について	18
4-1	外出の頻度	18
4-1-1	外出時の交通手段	19
4-1-2	外出時の主な同伴者	20
4-2	外出時に困ること	21
4-3	就労状況	23
4-3-1	就労形態	24
4-3-2	仕事での悩みや困りごと	25
4-4	今後の就労希望	29
4-4-1	希望する仕事の内容	31
4-5	必要な就労支援	32
5	教育・療育について	34
5-1	発達に関する相談先	34

5-2	通園や通学で気になること・感じていること	35
5-3	発達面の支援で必要なこと	36
6	相談相手について	37
6-1	家族や親せき以外の相談先	37
6-2	相談先の認知度	38
6-3	気軽に相談するために必要なこと	41
7	介護保険サービスの利用について	44
7-1	介護保険サービスの利用状況	44
7-1-1	要介護度の状況	44
8	障がい福祉サービス等の利用について	45
8-1	障害支援区分の認定	45
8-2	福祉サービスの情報入手先	46
8-3	障がい福祉サービスの満足度	48
8-4	障がい福祉サービスの利用状況	49
8-5	障がい福祉サービスの利用希望	54
8-6	障がい福祉サービス利用の不满	55
9	権利擁護について	57
9-1	差別や偏見の経験	57
9-1-1	差別や偏見を経験した場	58
9-2	市民の理解促進に必要なこと	59
9-3	成年後見制度の認知度	62
9-4	成年後見制度の活用希望	63
10	災害時の避難等について	64
10-1	災害時の避難可否	64
10-2	災害時に助けてくれる人の有無	65
10-3	避難行動要支援者制度の認知度	68
10-4	災害時に支援してほしいこと	69
11	地域の行事や活動への参加について	71
11-1	地域の行事や活動への参加状況	71
11-2	地域の行事や活動への参加意向	73
11-2-1	地域の行事や活動への参加意向の理由	75
11-3	地域の行事や活動へ参加しやすくなる取組	77
11-4	地域との関わり方	78
11-4-1	地域との関わりを持ちたくない理由	80
12	高砂市の障がい者施策について	81
12-1	障がいのある人にとっての高砂市の暮らしやすさ	81
12-2	必要な整備や援助	82
12-3	施策の満足度と重要度	85
13	自由記述	87
13-1	障がい福祉サービスや行政の取組への意見	87

# I 調査概要

## 1 調査の目的

「高砂市障害者計画」及び「第6期高砂市障害福祉計画兼第2期障害児福祉計画」の策定に向け、障がいのある人の生活や就労等に関する実情を把握することを目的に調査を行いました。

## 2 調査の方法

種別	障がい者へのアンケート
調査対象	高砂市在住で70歳未満の障害者手帳所持者 (身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者)
調査地域	高砂市全域
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	令和2年7月31日～8月17日
配布数	1000件
回収数	601件
回収率	60.1%

## 3 結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

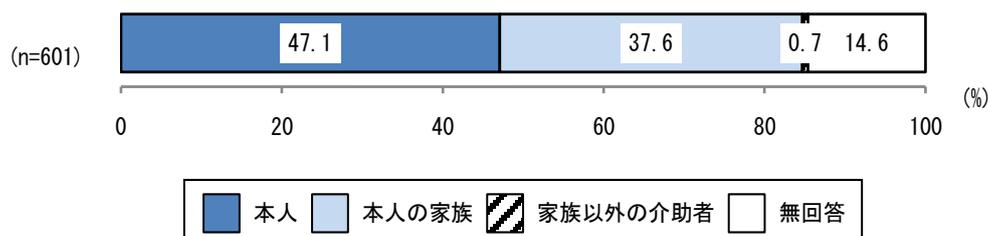
## II 調査結果

### 1 あなたの年齢・家族などについて

#### 1-1 調査票の記入者

問1 お答えいただくのは、どなたですか。

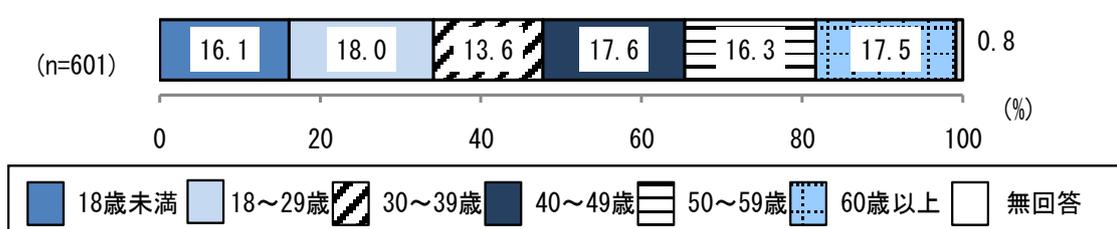
調査票の記入者は、「本人」が47.1%と「本人の家族」が37.6%となっています。



#### 1-2 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和2年8月1日現在)

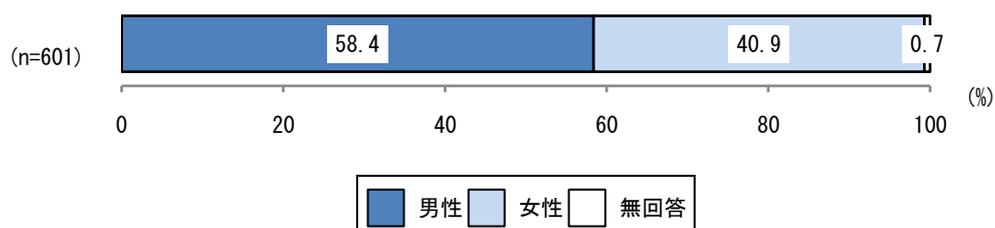
年齢は、「18～29歳」が18.0%、「40～49歳」が17.6%、「60歳以上」が17.5%となっています。



#### 1-3 性別

問3 あなたの性別をお答えください。

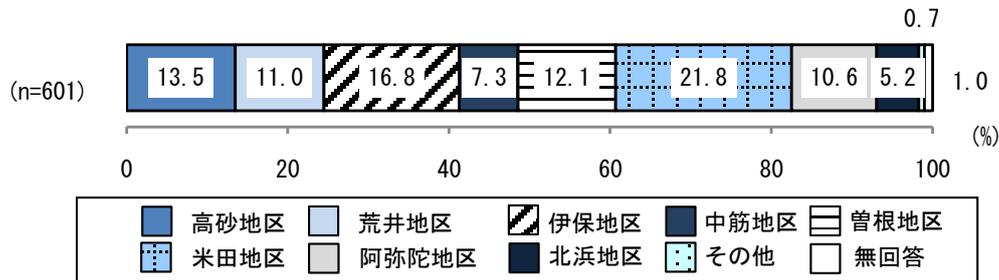
性別は、「男性」が58.4%、「女性」が40.9%となっています。



## 1-4 居住地域

問4 あなたがお住いの地域はどこですか。

居住地域は、「米田地区」が21.8%、「伊保地区」が16.8%、「高砂地区」が13.5%となっています。



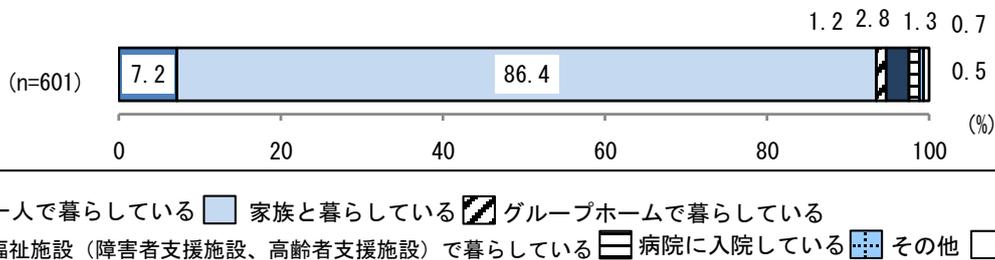
### 【その他内訳】

・一時的に加古川市米田町 ・加古川市 ・松陽(丁により地区がまたがる為不明)

## 1-5 暮らし方

問5 あなたは現在どのように暮らしていますか。また、家族と暮らしている場合、一緒に暮らしている方はどなたですか。

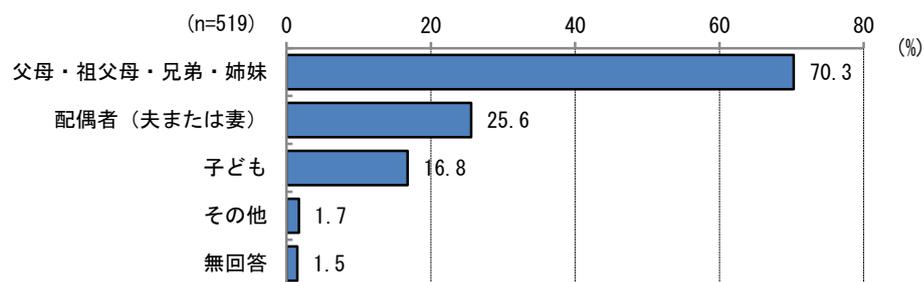
暮らし方は、「家族と暮らしている」が86.4%とほとんどを占めています。



### 【その他内訳】

・彼氏と同棲している ・会社寮

同居者は、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が 70.3%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 25.6%となっています。



**【その他内訳】**

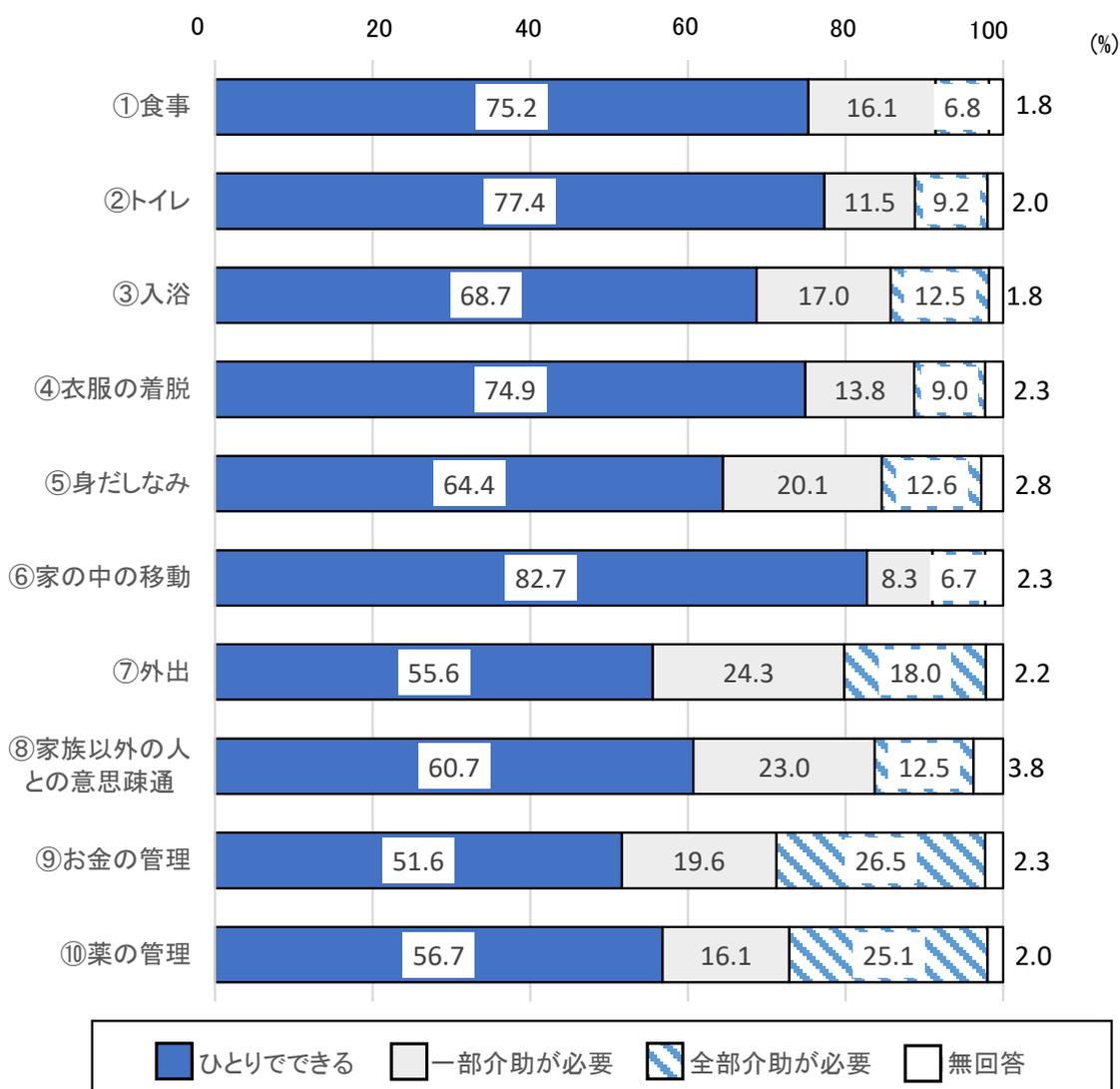
・義妹、甥、姪 ・娘家族 ・孫 ・伯母 ・叔母 ・ペットのうさぎ

## 1-6 日常生活での介助の必要性

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

日常生活での介助の必要性について、「ひとりでできる」の回答が最も高いのは、『⑥家の中の移動』で82.7%となっています。一方、「全部介助が必要」の回答が最も高いのは『⑨お金の管理』(26.5%)となっています。

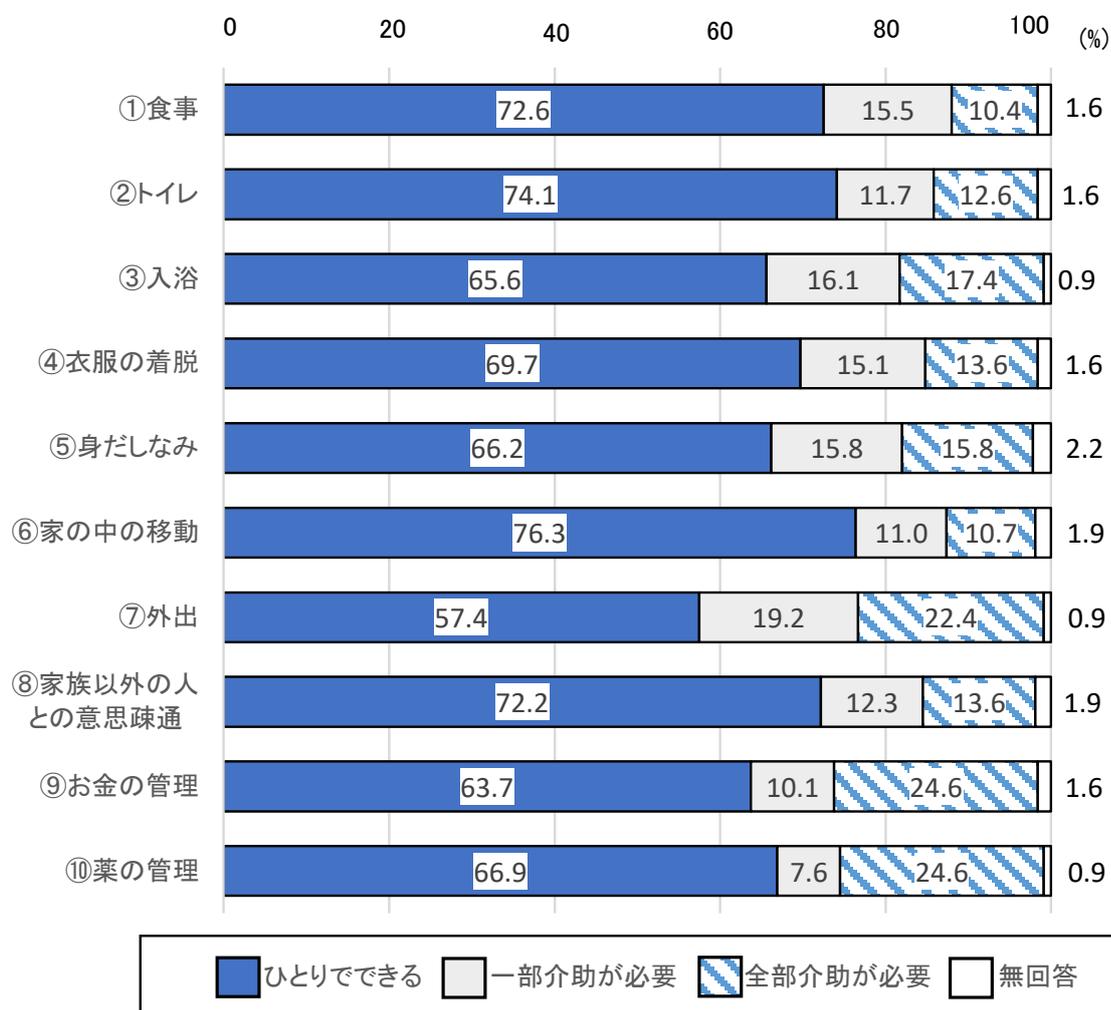
障がい種別では、『⑦外出』、『⑧家族以外の人との意思疎通』、『⑨お金の管理』、『⑩薬の管理』について、療育手帳所持者は「一部介助が必要」と「全部介助が必要」が高く、精神障害者手帳所持者も「一部介助が必要」が高くなっています。



(n=601)

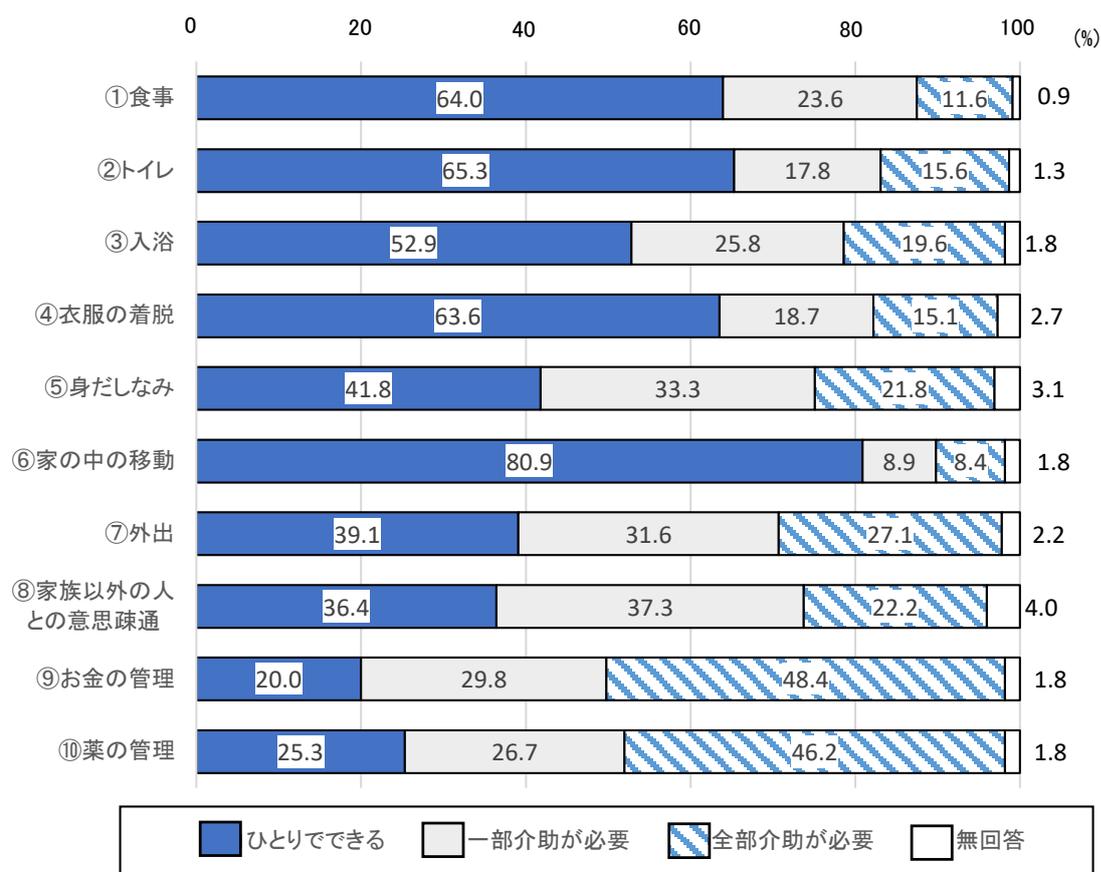
【障がい種別】

■身体障害者手帳所持者



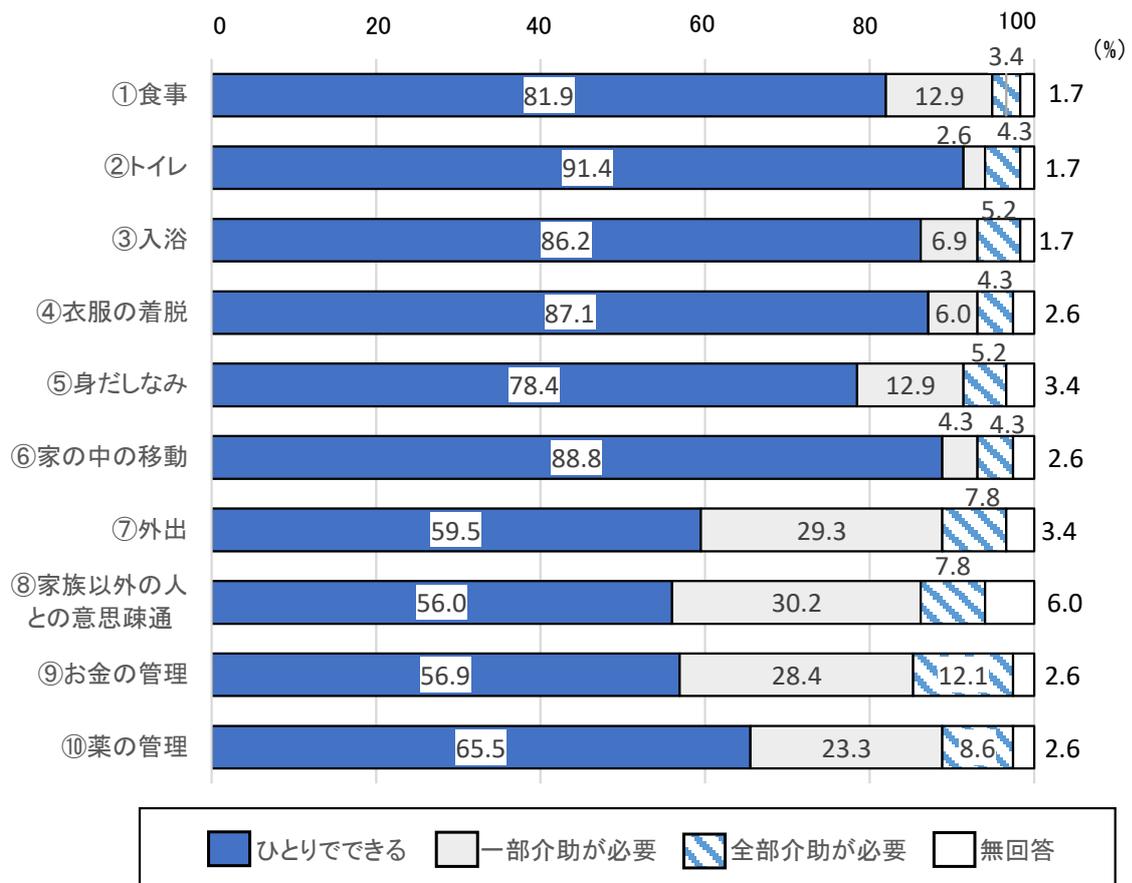
(n=317)

■療育手帳所持者



(n=225)

■精神障害者保健福祉手帳所持者

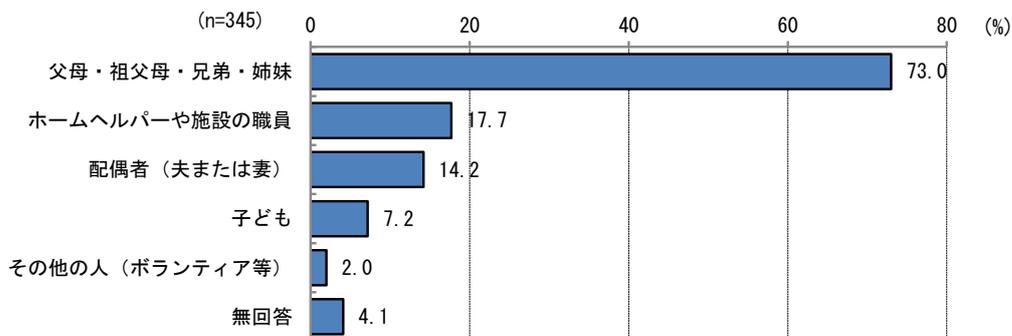


(n=116)

### 1-6-1 介助者

問6-1 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」を選択した方のみ回答)

介助者は「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が73.0%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が17.7%となっています。

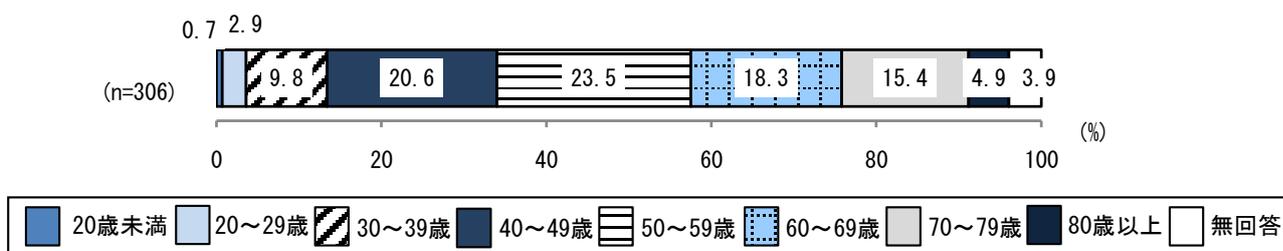


### 1-6-2 介助者の年齢と健康状態

問6-2 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、健康状態をお答えください。(問6-1で「父母・祖父母・兄弟・姉妹」、「配偶者(夫または妻)」、「子ども」を選択した方のみ回答)

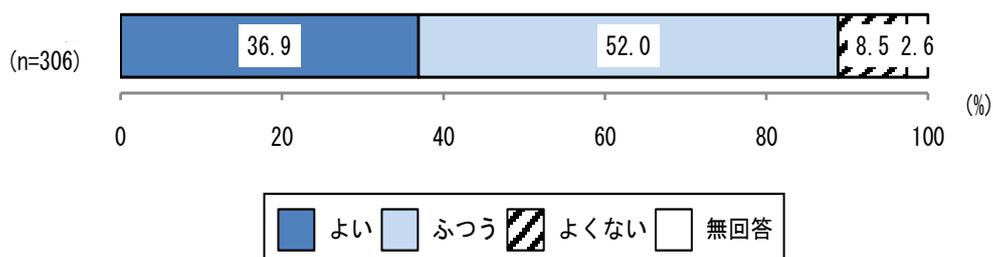
#### ①年齢(令和2年8月1日現在)

介助者の年齢は「50~59歳」が23.5%と最も高く、次いで「40~49歳」が20.6%となっています。



#### ②健康状態

介助者の健康状態は「よい」が36.9%、「ふつう」が52.0%、「よくない」が8.5%となっています。

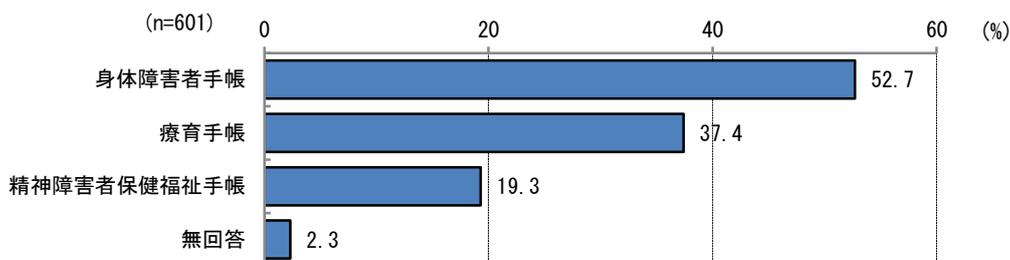


## 2 あなたの障がいの状況について

### 2-1 障害者手帳

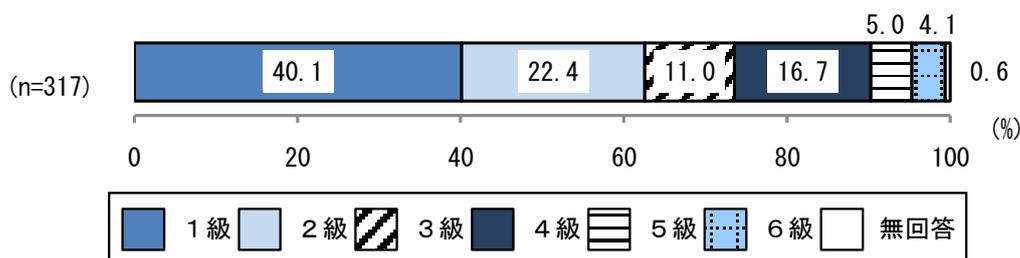
問7 あなたは次の手帳を持っていますか。持っている場合はその内容についてお答えください。

障害者手帳は「身体障害者手帳」が52.7%で最も高く、「療育手帳」が37.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が19.3%となっています。

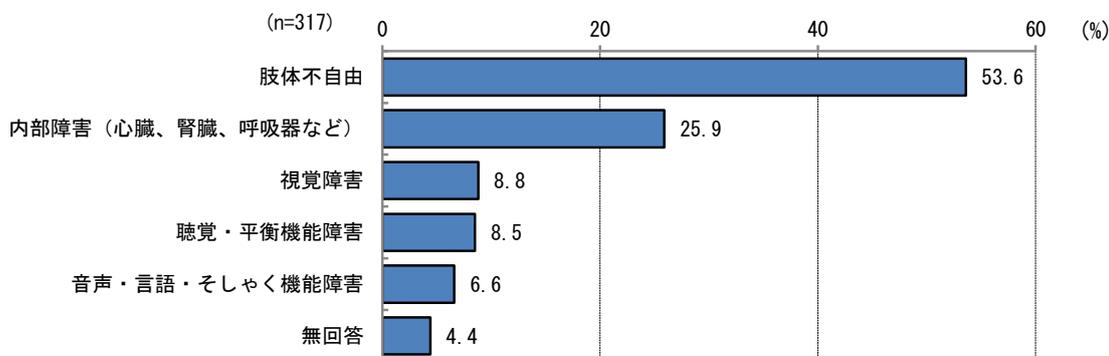


#### 2-1-1 身体障がいの等級と主な障がい

身体障がいの等級別では、「1級」が40.1%で最も高く、「2級」が22.4%、「4級」が16.7%となっています。

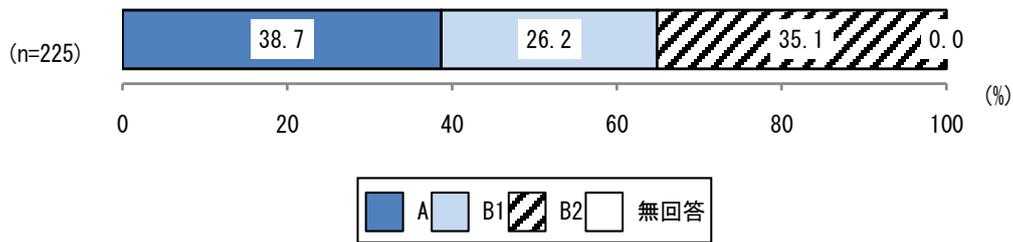


身体障がいの主な障がいとしては、「肢体不自由」が53.6%で最も高く、「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が25.9%となっています。



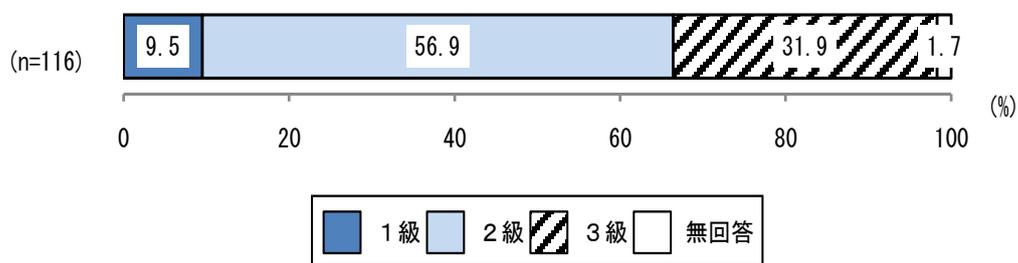
### 2-1-2 知的障がいの程度

知的障がいの程度別では、「A」が38.7%、「B2」が35.1%、「B1」が26.2%となっています。



### 2-1-3 精神障がいの等級

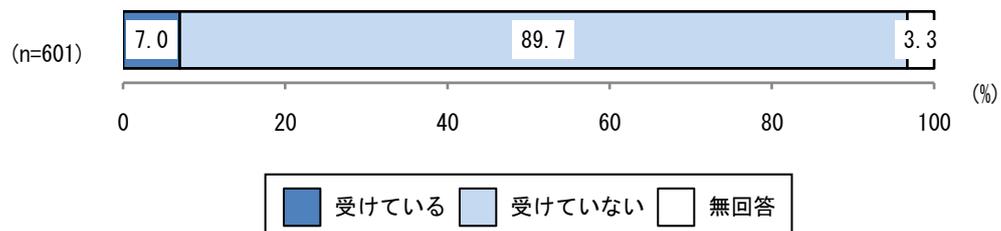
精神障がいの等級別では「2級」が56.9%、「3級」が31.9%、「1級」が9.5%となっています。



### 2-2 難病の認定

問8 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。

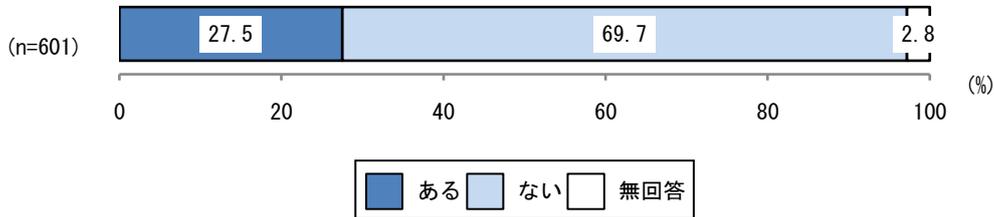
難病の認定は、「受けていない」が89.7%、「受けている」が7.0%となっています。



### 2-3 発達障害の診断

問9 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。

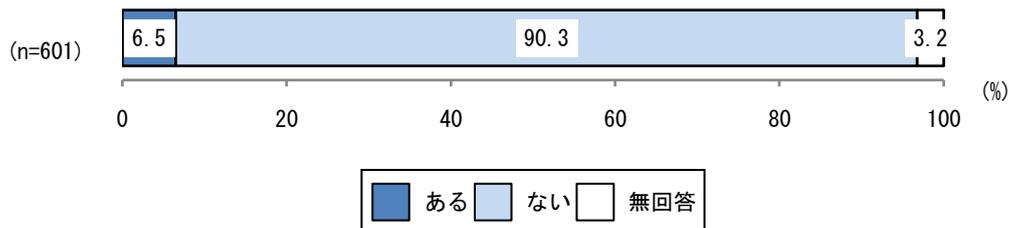
発達障害と診断されたことが「ある」人は27.5%、「ない」人は69.7%となっています。



### 2-4 高次脳機能障害の診断

問10 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

高次脳機能障害として診断されたことが「ある」人は6.5%、「ない」人は90.3%となっています。



### 2-5 医療的ケアの有無

問11 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。

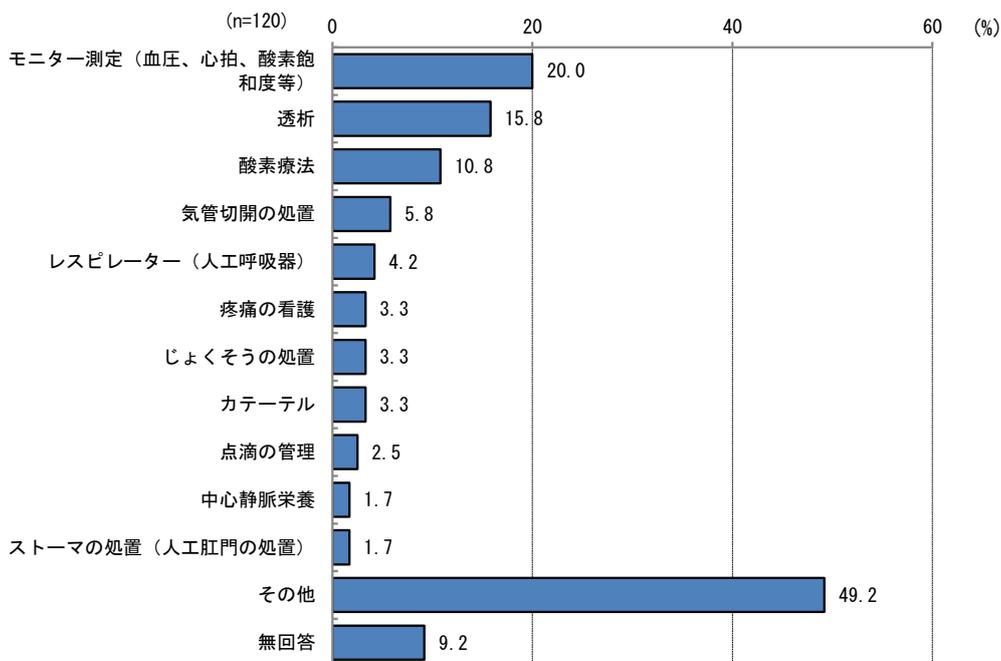
現在医療的ケアを「受けている」人は20.0%、「受けていない」人は77.2%となっています。



## 2-5-1 医療的ケアの内容

問 11-1 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(問 11 で「受けている」を選択した方のみ回答)

現在受けている医療的ケアの内容としては、「モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）」が 20.0%で最も高く、次いで「透析」が 15.8%、「酸素療法」が 10.8%と続いています。



### 【その他内訳】

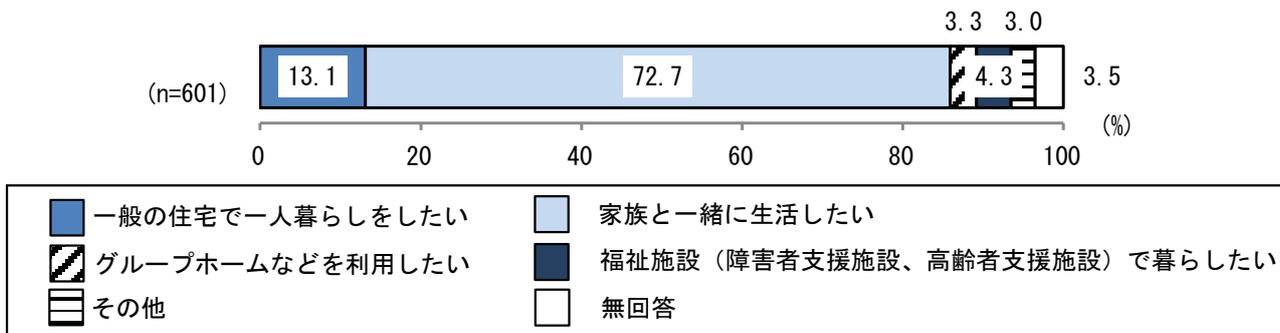
・リハビリ ・定期健診 ・カウンセリング ・胃ろう ・服薬 ・注射 ・エレンタール ・眼科  
・気管内、口腔内吸引、導尿 ・血液検査 ・心療内科 ・精神障害 ・人工内耳 ・てんかん  
・糖尿病 ・尿管バルーン ・ペースメーカー ・訪問介護 ・リウマチ

### 3 住まいや暮らしについて

#### 3-1 今後の暮らし方の希望

問 12 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。

今後3年以内の暮らし方の希望は、「家族と一緒に生活したい」が72.7%で最も高く、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が13.1%となっています。



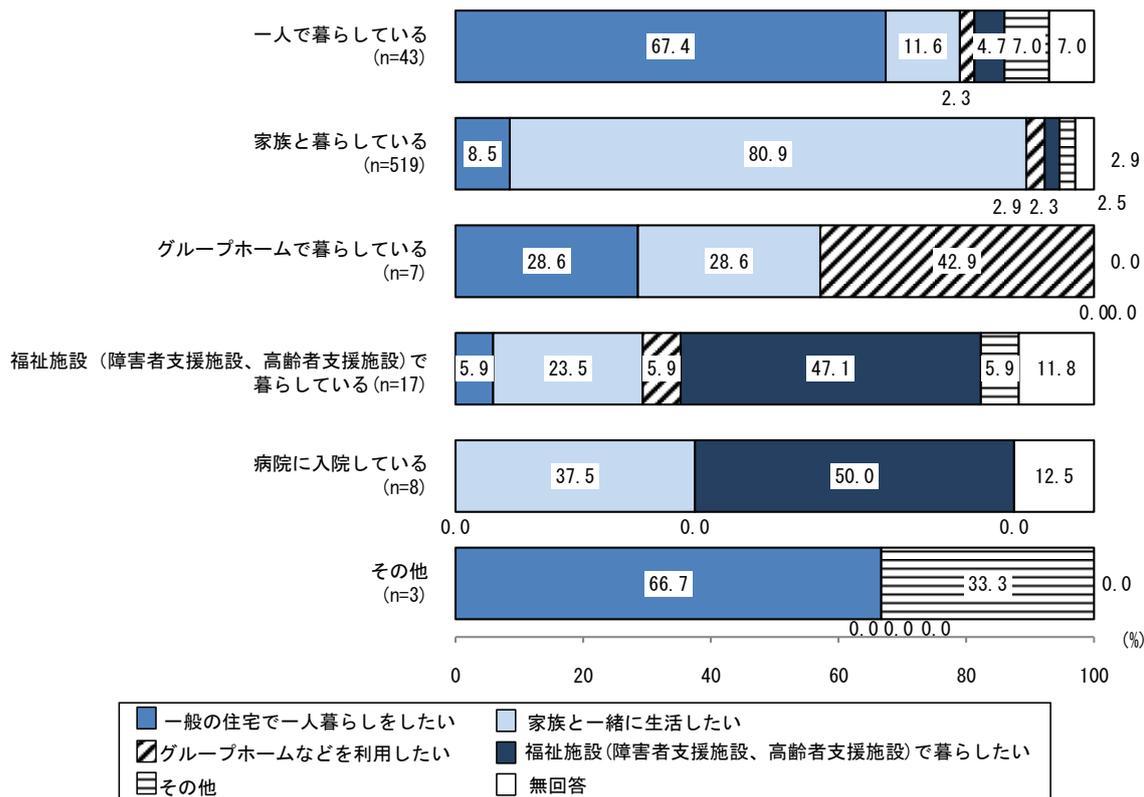
#### 【その他内訳】

- ・現在施設に入所している ・引越予定、アルバイトを始める
- ・会社の住宅で一人暮らし ・その時の気分で変化
- ・一人暮らしか実家で暮らすか、どちらかにしたいが決められない
- ・一人はとても不安、バスも少ない、運転もこわい、できたらケアハウス

現在の暮らし方ごとに、今後3年以内どのように暮らしたいかを見ると、現在『グループホームで暮らしている』人や『福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている』人は、「家族と一緒に暮らしたい」の回答が2割以上となっています。

また、『病院に入院している』人は、「家族と一緒に生活したい」が37.5%。「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」が50.0%となっています。

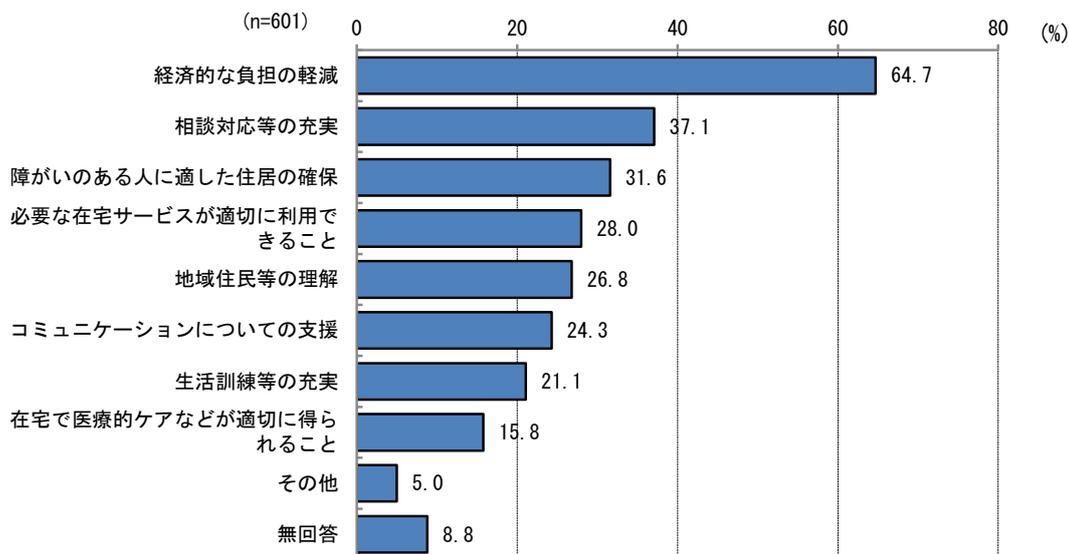
【現在の暮らし方別（問5）】



### 3-2 希望する暮らし方に必要な支援

問 13 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。

希望する暮らし方に必要な支援は、「経済的な負担の軽減」が 64.7%で最も高く、「相談対応等の充実」が 37.1%、「障がいのある人に適した住居の確保」が 31.6%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 28.0%、「地域住民等の理解」が 26.8%と続いています。



#### 【その他内訳】

- ・外出支援の充実 ・現在のままでよい ・些細なことでもすぐに無料で相談できる場所
- ・授業への支援 ・ショートステイの充実(なるべく近くでの) ・デイサービスなどの充実
- ・正社員での就職支援 ・多極化していく経済面での収入の獲得 ・何かあった時の支援
- ・母の手助け ・わからない ・今のところあてはまるものはない
- ・音声付き信号、点字ブロック等、単独歩行が可能な環境の整備
- ・スーパー等で買い物サポートなどの企業の理解
- ・大きな病院へ通っているため、仕事などで急に通院できない時と、また地域病院にて紹介状が必要となる時の支援
- ・障害者支援施設の増設(支援員の不足を何とかして頂きたい)

障がい種別でみると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は、「相談対応等の充実」がおよそ5割と他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

(%)

	調査数	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	地域住民等の理解	コミュニケーションの支援	生活訓練等の充実	在宅で医療的に得られること	その他	無回答
全体	601	64.7	37.1	31.6	28.0	26.8	24.3	21.1	15.8	5.0	8.8
身体障害者手帳所持者	317	66.2	31.5	35.0	32.5	24.0	14.2	15.5	20.5	5.0	7.3
療育手帳所持者	225	59.1	49.8	34.2	33.8	39.1	39.1	33.3	13.3	4.4	6.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	67.2	37.1	29.3	23.3	22.4	27.6	19.0	18.1	6.0	11.2
難病の認定あり	42	69.0	31.0	33.3	42.9	19.0	11.9	19.0	28.6	4.8	4.8
発達障害の診断あり	165	64.2	51.5	33.3	29.1	35.2	47.9	33.9	10.9	5.5	4.2
高次脳機能障害の診断あり	39	69.2	38.5	35.9	28.2	30.8	25.6	28.2	25.6	10.3	2.6
医療的ケアを受けている	3	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

サービス利用状況別でみると、18歳未満と18～64歳未満はともに、サービス利用者の方が、未利用者に比べて「相談対応等の充実」や「障がいのある人に適した住居の確保」、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」、「地域住民等の理解」、「生活訓練等の充実」が高くなっています。

『サービス利用者（18歳未満）』は、「経済的な負担の軽減」、「相談対応等の充実」、「生活訓練等の充実」が高くなっています。『サービス利用者（18～64歳）』は、「経済的な負担の軽減」、「相談対応等の充実」、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が高くなっています。『サービス利用者（65歳以上）』は、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」、「経済的な負担の軽減」、「相談対応等の充実」が高くなっています。

【サービス利用状況別】

(%)

	調査数	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	地域住民等の理解	コミュニケーションの支援	生活訓練等の充実	在宅で医療的に得られること	その他	無回答
全体	601	64.7	37.1	31.6	28.0	26.8	24.3	21.1	15.8	5.0	8.8
サービス利用者(18歳未満)	63	71.4	61.9	27.0	33.3	47.6	42.9	55.6	11.1	1.6	3.2
サービス未利用者(18歳未満)	27	51.9	40.7	14.8	7.4	25.9	37.0	11.1	11.1	7.4	0.0
サービス利用者(18～64歳)	155	65.2	47.7	41.9	43.2	40.0	36.1	29.7	16.1	3.2	4.5
サービス未利用者(18～64歳)	168	74.4	29.2	28.6	20.2	16.7	13.7	8.9	13.1	6.5	7.1
サービス利用者(65歳以上)	26	42.3	34.6	30.8	30.8	7.7	19.2	23.1	53.8	0.0	7.7
サービス未利用者(65歳以上)	28	71.4	21.4	32.1	35.7	7.1	3.6	10.7	21.4	7.1	3.6
無回答	134	54.5	26.1	29.1	19.4	22.4	17.9	14.2	13.4	6.7	21.6

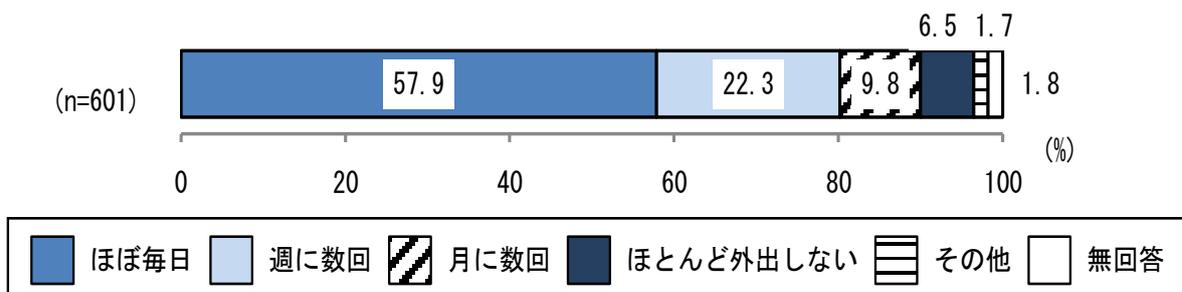
## 4 日中活動や就労について

### 4-1 外出の頻度

問 14 あなたは、普段どのくらい外出されますか。(通勤、通学、通院などの外出を含みます。)

※新型コロナウイルス感染症による外出自粛を除いた外出頻度での回答

外出の頻度は、「ほぼ毎日」と答えた人が 57.9%で半数を超えています。一方、「ほとんど外出しない」と答えた人は 6.5%となっています。



#### 【その他内訳】

- ・母以外とは無理 ・買い物のみ ・仕事の為の外出、買い物の為 ・デイサービスの為
- ・入院中の為外出できない ・施設のイベントに参加、買物、見学
- ・月の前半は週4回工房に通うも、後半 10 日位休んでしまう(ホルモンバランスの関係)

障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は、「ほぼ毎日」が 33.6%と他の障がいの人に比べて低くなっています。

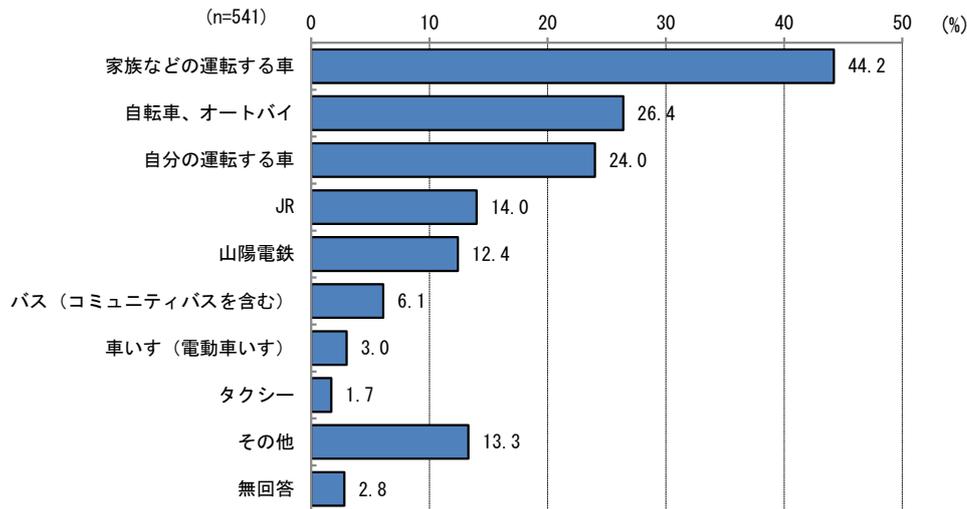
#### 【障がい種別】

	調査数	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	ほとんど外出しない	その他	無回答
全体	601	57.9	22.3	9.8	6.5	1.7	1.8
身体障害者手帳所持者	317	56.5	24.9	9.8	7.3	0.9	0.6
療育手帳所持者	225	76.4	14.7	3.1	3.6	1.3	0.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	33.6	25.9	21.6	11.2	3.4	4.3
難病の認定あり	42	52.4	19.0	9.5	16.7	0.0	2.4
発達障害の診断あり	165	75.8	15.8	3.0	3.6	0.6	1.2
高次脳機能障害の診断あり	39	46.2	20.5	15.4	15.4	2.6	0.0
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0

### 4-1-1 外出時の交通手段

問 14-1 あなたが外出する際の主な交通手段は何ですか。(問 14 で「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を選択した方のみ回答)

外出時の交通手段は、「家族などの運転する車」が 44.2%で最も高くなっており、次いで「自転車・オートバイ」が 26.4%、「自分の運転する車」が 24.0%となっています。



#### 【その他内訳】

・徒歩 ・施設等の送迎 ・知人に頼む ・リハビリ(ケア)車 ・移動支援サービス ・介護タクシー  
 ・スクールバス ・ランニング

障がい種別でみると、『身体障害者手帳所持者』は「自分の運転する車」、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「家族などの運転する車」、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は、「自転車、オートバイ」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

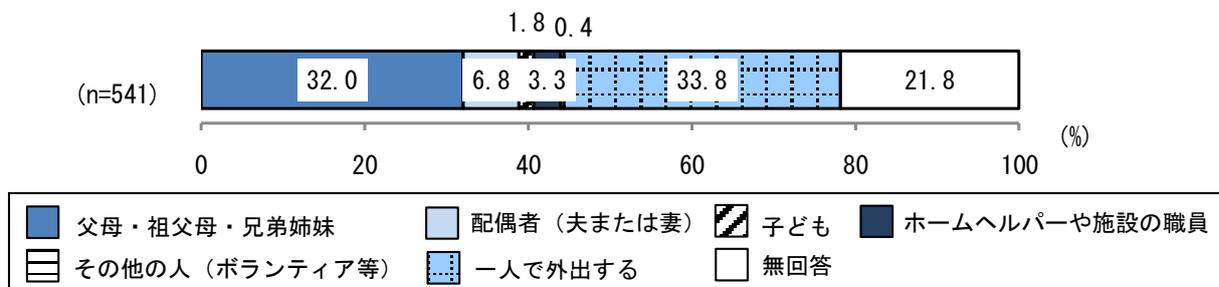
#### 【障がい種別】

	調査数	家族などの車の運転	自転車・オートバイ	自分の運転する車	JR	山陽電鉄	バス(コミュニティを含む)	(電動車いす)	タクシー	その他	無回答
全体	541	44.2	26.4	24.0	14.0	12.4	6.1	3.0	1.7	13.3	2.8
身体障害者手帳所持者	289	37.7	19.4	36.0	11.4	9.7	6.2	4.8	2.8	11.8	2.8
療育手帳所持者	212	61.8	24.5	2.4	15.6	14.6	9.4	0.5	0.5	19.8	3.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	94	36.2	45.7	26.6	20.2	16.0	3.2	1.1	1.1	7.4	1.1
難病の認定あり	34	50.0	20.6	20.6	17.6	5.9	8.8	0.0	2.9	14.7	5.9
発達障害の診断あり	156	57.7	27.6	7.7	12.2	12.8	5.8	0.6	0.0	20.5	5.1
高次脳機能障害の診断あり	32	43.8	18.8	12.5	6.3	9.4	15.6	0.0	3.1	21.9	3.1
医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### 4-1-2 外出時の主な同伴者

問 14-2 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。(問 14 で「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を選択した方のみ回答)

外出時の主な同伴者としては、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 32.0%、「配偶者(夫または妻)」が 6.8% となっています。一方、「一人で外出する」と答えた人も 33.8% となっています。



障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「父母・祖父母・兄弟姉妹」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

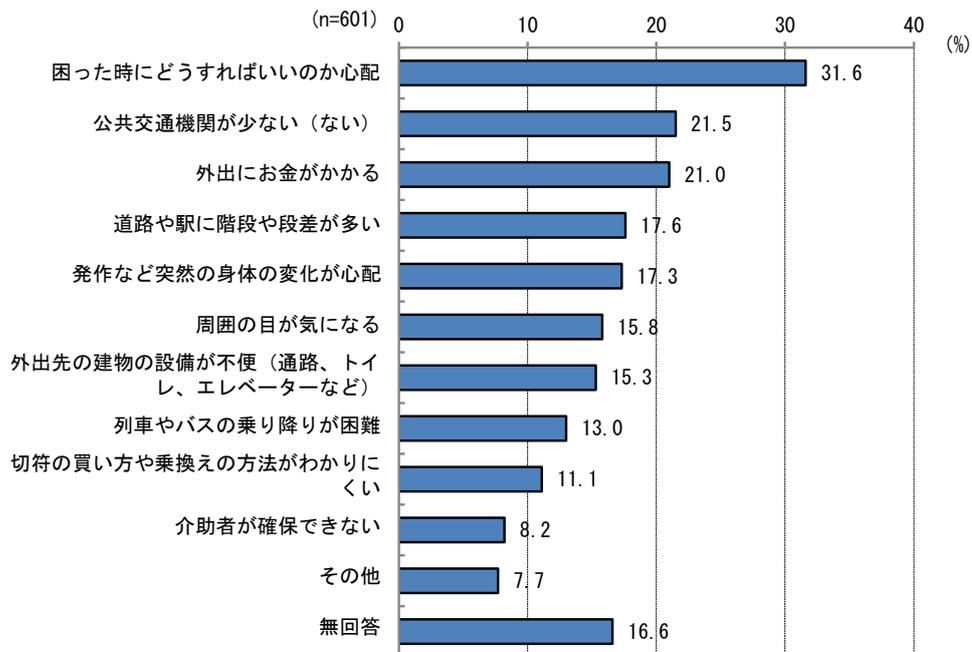
#### 【障がい種別】

	調査数	父母・祖父母・兄弟姉妹 (%)	配偶者(夫または妻) (%)	子ども (%)	ホームヘルパーや施設の職員 (%)	その他(ボランティア等) (%)	一人で外出する (%)	無回答 (%)
全体	541	32.0	6.8	1.8	3.3	0.4	33.8	21.8
身体障害者手帳所持者	289	21.5	8.7	2.8	5.2	0.7	36.7	24.6
療育手帳所持者	212	52.8	0.9	0.0	3.3	0.0	23.1	19.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	94	31.9	10.6	3.2	0.0	0.0	38.3	16.0
難病の認定あり	34	17.6	8.8	11.8	2.9	2.9	29.4	26.5
発達障害の診断あり	156	46.2	1.3	0.0	1.3	0.0	28.2	23.1
高次脳機能障害の診断あり	32	25.0	3.1	0.0	6.3	0.0	34.4	31.3
医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

## 4-2 外出時に困ること

問 15 外出する際に困ることは何ですか。

外出時に困ることについて、「困った時にどうすればいいのか心配」が 31.6%で最も高く、「公共交通機関が少ない(ない)」が 21.5%、「外出にお金がかかる」が 21.0%、「道路や駅に階段や段差が多い」が 17.6%、「発作など突然の身体の変化が心配」が 17.3%と続いています。



### 【その他内訳】〈移動〉

- ・交通手段 ・歩行困難、眼が見えない、危ない ・歩道のない道路
- ・ショッピングセンターや病院などで車椅子の駐車スペースが埋まっていて使えない事が多く、車の乗降に苦労する
- ・介助者がいるが、車椅子の移動は特に雨の日などかなり困難
- ・車の乗り降りが辛い(痛み)、苦しく、運転に気を付けているが人を乗せる自信がないので一人で
- ・歩行がゆっくりである為、歩道に障がい者が多く人にぶつかられたり怒鳴られる、介助者、付き添いであってもぶつかったり足がひっかかったりする、車が徐行せずに来てぶつかりそうになり非常に危険な時があった

### 【その他内訳】〈情報〉

- ・アナウンス(駅等)が分からない ・音声信号 ・公共交通機関の音声が聞こえない、聞き取りにくい
- ・言葉が話せない、意思が伝わらない ・信号の色が見えないので音声付信号が必要
- ・雑音が気になりそわそわする

【その他内訳】〈上記以外〉

・頻便なので常にトイレがどこにあるか気になる ・JR みどりの窓口がなくなったこと(宝殿)  
 ・市内のみ ・新型コロナの対策 ・デイサービス以外は外出無し ・雨と暑さ ・天気(雨)  
 ・一人で外出した事がない、できない ・思い浮かばない ・今は困るほどではない  
 ・4歳の子がどこへでも行ってしまうが自分は走れず、斜面や階段、砂利道やでこぼこ道、水はけの悪い道が苦手なため、危険でもとめられない

障がい種別で見ると、『身体障害者手帳所持者』は「道路や駅に階段や段差が多い」、『療育手帳所持者』は「困った時にどうすればいいのか心配」、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「外出にお金がかかる」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

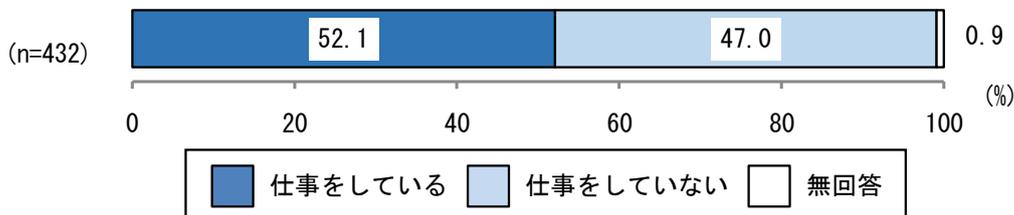
【障がい種別】

	調査数	い 困 い つ た か 時 に ど う す れ ば	( 公 共 交 通 機 関 が 少 な い )	外 出 に お 金 が か か る	が 道 路 や 駅 に 階 段 や 段 差	変 化 が 心 配 な い	周 圍 の 目 が 気 に な る
全体	601	31.6	21.5	21.0	17.6	17.3	15.8
身体障害者手帳所持者	317	20.2	23.0	15.8	26.8	16.4	12.0
療育手帳所持者	225	50.7	16.9	16.9	15.6	16.4	17.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	33.6	24.1	38.8	8.6	30.2	25.9
難病の認定あり	42	26.2	23.8	19.0	33.3	26.2	16.7
発達障害の診断あり	165	53.9	17.6	21.2	13.3	17.6	21.8
高次脳機能障害の診断あり	39	41.0	25.6	23.1	23.1	25.6	25.6
医療的ケアを受けている	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	調査数	エ レ ベ ー タ ー な い )	が 列 車 や バ ス の 乗 り 降 り	の 切 符 の 買 い 方 や 乗 換 い	介 助 者 が 確 保 で き な い	そ の 他	無 回 答
全体	601	15.3	13.0	11.1	8.2	7.7	16.6
身体障害者手帳所持者	317	24.0	17.7	5.7	8.8	9.8	16.7
療育手帳所持者	225	12.0	12.9	21.8	12.0	4.9	14.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	5.2	7.8	6.9	6.0	7.8	12.9
難病の認定あり	42	35.7	31.0	7.1	9.5	9.5	11.9
発達障害の診断あり	165	10.3	11.5	21.8	9.7	5.5	11.5
高次脳機能障害の診断あり	39	30.8	23.1	12.8	17.9	7.7	10.3
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

### 4-3 就労状況

問 16 あなたは、仕事をしていますか。

18～64歳の回答者の中で、「仕事をしている」人は52.1%、「仕事をしていない」人は47.0%となっています。



※集計対象は18～64歳

障がい種別でみると、「仕事をしている」の回答が『療育手帳所持者』が57.9%、『身体障害者手帳所持者』は55.8%、『精神障害者保健福祉手帳所持者』が31.1%となっています。

#### 【障がい種別】

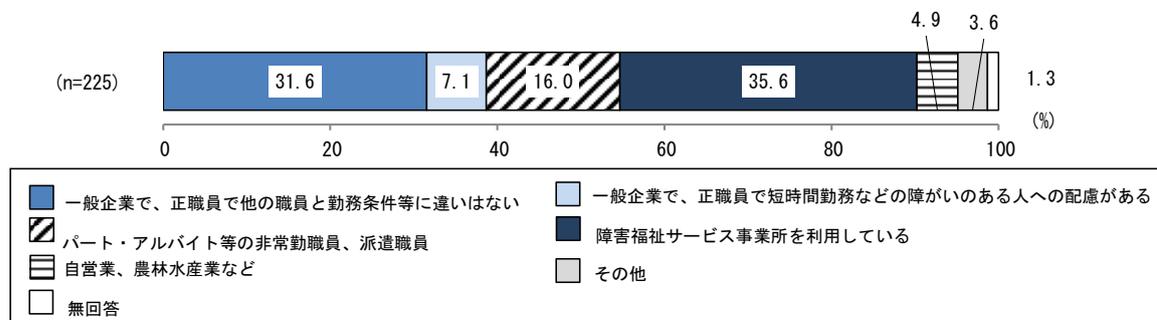
	調査数	仕事をしている (%)	仕事をしていない (%)	無回答 (%)
全体	432	52.1	47.0	0.9
身体障害者手帳所持者	231	55.8	43.7	0.4
療育手帳所持者	140	57.9	42.1	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	103	31.1	67.0	1.9
難病の認定あり	28	50.0	46.4	3.6
発達障害の診断あり	94	59.6	39.4	1.1
高次脳機能障害の診断あり	30	30.0	70.0	0.0
医療的ケアを受けている	1	100.0	0.0	0.0

※集計対象は18～64歳

### 4-3-1 就労形態

問 16-1 どのような勤務形態で働いていますか。(問 16 で「仕事をしている」を選択した方のみ回答)

就労形態について「障害福祉サービス事業所を利用している」人が 35.6%で、「一般企業で、正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」人が 31.6%となっています。



#### 【その他内訳】

- ・缶つぶし、公園清掃・公務員・官公庁・美容師・知人の名刺を作らせてもらっている
- ・労働条件通知書をもっていないので分からない

障がい種別でみると、『身体障害者手帳所持者』は「一般企業で、正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない」、『療育手帳所持者』と『精神障害者保健福祉手帳所持者』は、「障害福祉サービス事業所を利用している」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

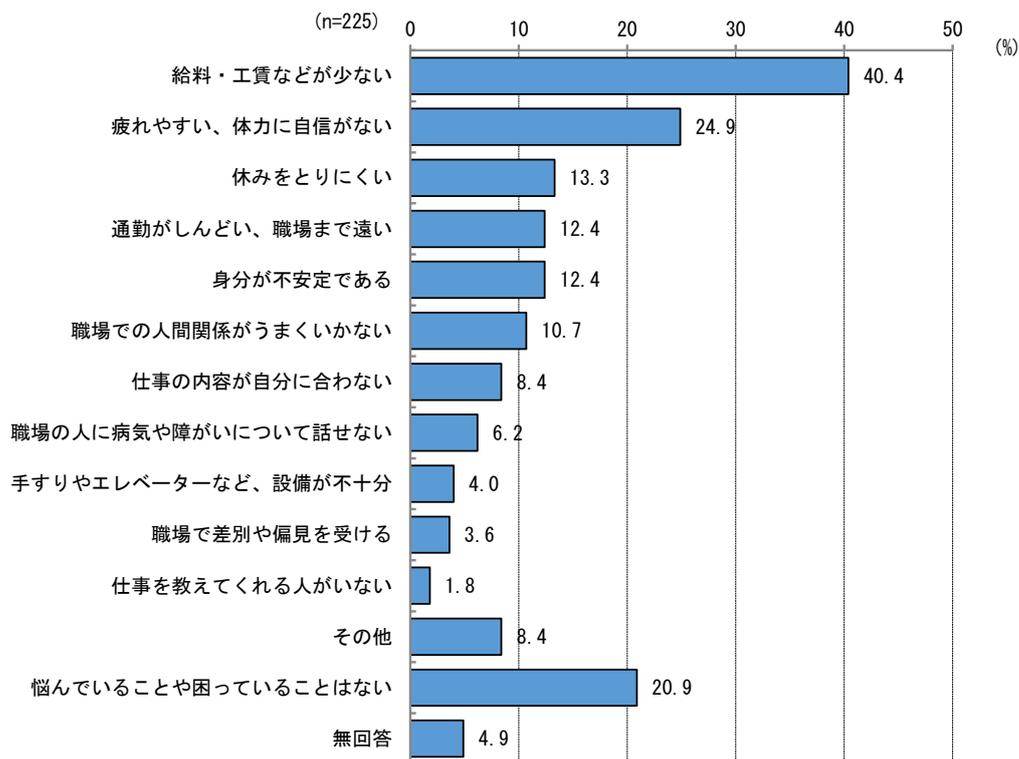
#### 【障がい種別】

	調査数	一般企業で、正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない (%)	一般企業で、正職員で短時間勤務などの障がいのある人への配慮がある (%)	パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員 (%)	障害福祉サービス事業所を利用している (%)	自営業、農林水産業など (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	225	31.6	7.1	16.0	35.6	4.9	3.6	1.3
身体障害者手帳所持者	129	48.1	7.8	16.3	16.3	7.0	3.9	0.8
療育手帳所持者	81	6.2	9.9	14.8	65.4	0.0	2.5	1.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	32	9.4	3.1	21.9	56.3	6.3	3.1	0.0
難病の認定あり	14	50.0	0.0	21.4	14.3	0.0	14.3	0.0
発達障害の診断あり	56	7.1	5.4	16.1	62.5	1.8	7.1	0.0
高次脳機能障害の診断あり	9	22.2	0.0	11.1	55.6	0.0	11.1	0.0
医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

### 4-3-2 仕事での悩みや困りごと

問 16-2 今の仕事について、悩んでいることやお困りのことは何ですか。(問 16 で「仕事をしている」を選択した方のみ回答)

仕事での悩みや困りごとは、「給料・工賃などが少ない」が 40.4%で最も高く、「疲れやすい、体力に自信がない」が 24.9%、「休みをとりにくい」が 13.3%、「通勤がしんどい、職場まで遠い」と「身分が不安定である」が 12.4%となっています。



#### 【その他内訳】〈理解〉

- ・期待されるとかえってプレッシャーになり不安定になる。悩みを相談する相手がおらず一人で抱え込みよくリストカットしたりする
- ・障がいに対しての理解が乏しい
- ・内部障がいは見た目ではなかなか理解してもらいにくい、普段は元気で急に体調が悪くなる(腹痛等)

【その他内訳】〈上記以外〉

- ・障がい者を雇用している企業に対する助成金も、単に雇用しているから支払うのではなく、本当に障がい者が能力を発揮できる環境なのか、障がい者に確認したうえで支払われるとよいと思う。法定雇用率を満たすための助成金をもらうためだけに利用されたくはない
- ・いつまで障がい福祉サービスが利用できるか心配である ・依頼が少ない
- ・色々な障がいの方がいるので、世話をやかれすぎて不安定になる事がある
- ・コミュニケーションがとりにくい ・仕事を選べない、与えられた仕事をするのみ
- ・自分の体力に疲れ切るまでやらなければならない自分でやめられない、自分の体力にはめどがつかない、休日が続くといらいらしてじっとしていられない ・障がいがある為しかたがないと諦めている
- ・通常の作業であっても、障害部位などへの負担、痛みなど ・通訳がない
- ・トイレが少ない、他市へ通っているため自力だが自力で行けないので、車で送り迎えしている、いつまで通えるか分からない(親が高齢のため) ・なかなか動かない時がある
- ・病気により急な休暇取得で信用が薄いのか、仕事の幅が狭い
- ・複数の仕事をしていくべきと考えている

障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は、「給料・工賃などが少ない」と「身分が不安定である」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

(%)

	調査数	給料・工賃などが少ない	疲れやすい、体力に自信がない	休みをとりにくい	通勤がしんどい、職場まで遠い	身分が不安定である	職場での人間関係がうまくいかない	仕事の内容が自分に合わない
全体	225	40.4	24.9	13.3	12.4	12.4	10.7	8.4
身体障害者手帳所持者	129	33.3	28.7	18.6	13.2	7.8	9.3	10.1
療育手帳所持者	81	48.1	18.5	4.9	12.3	9.9	8.6	6.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	32	53.1	31.3	6.3	9.4	37.5	15.6	9.4
難病の認定あり	14	28.6	35.7	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1
発達障害の診断あり	56	46.4	17.9	7.1	14.3	12.5	16.1	8.9
高次脳機能障害の診断あり	9	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0
医療的ケアを受けている	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	調査数	職場での人に病気を話せない	手すりやエレベーターなど、設備が不十分	職場で差別や偏見を受ける	仕事を教えてくれる人がいない	その他	悩んでいることではない	無回答
全体	225	6.2	4.0	3.6	1.8	8.4	20.9	4.9
身体障害者手帳所持者	129	5.4	7.0	3.1	2.3	7.8	22.5	3.1
療育手帳所持者	81	3.7	1.2	6.2	1.2	11.1	19.8	6.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	32	12.5	3.1	3.1	0.0	6.3	15.6	6.3
難病の認定あり	14	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	35.7	0.0
発達障害の診断あり	56	7.1	0.0	5.4	1.8	12.5	16.1	7.1
高次脳機能障害の診断あり	9	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

就労形態別でみると、『パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員』、『障害福祉サービス事業所を利用している』人は、「給料・工賃などが少ない」が特に高くなっています。

【就労形態別】

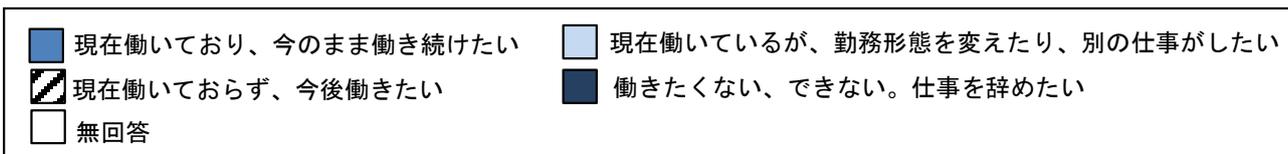
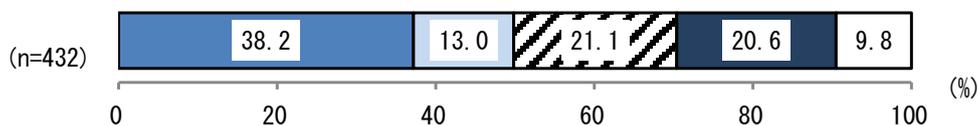
(%)

	調査数	給料・工賃などが少ない	疲れやすい、体力に自信がない	休みをとりにくい	通勤がしんどい、職場まで遠い	身分が不安定である	職場での人間関係がうまくいかない	仕事の内容が自分に合わない
全体	225	40.4	24.9	13.3	12.4	12.4	10.7	8.4
一般就労で、正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない	71	28.2	22.5	25.4	9.9	4.2	12.7	9.9
一般就労で、正社員で短時間勤務など障がいのある人への配慮がある	16	31.3	37.5	12.5	31.3	12.5	6.3	0.0
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	36	50.0	33.3	11.1	16.7	30.6	11.1	22.2
障害福祉サービス事業所を利用している	80	53.8	22.5	3.8	12.5	7.5	10.0	3.8
自営業、農林水産業など	11	27.3	27.3	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0
その他	8	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0
	調査数	職場の人に病せいや障がいがある	手すりやエレベーターなど、設備が不十分	職場で差別や偏見を受ける	仕事を教えてくれる人がいない	その他	悩んでいることではない	無回答
全体	225	6.2	4.0	3.6	1.8	8.4	20.9	4.9
一般就労で、正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない	71	5.6	7.0	2.8	2.8	7.0	23.9	4.2
一般就労で、正社員で短時間勤務など障がいのある人への配慮がある	16	6.3	6.3	18.8	0.0	0.0	12.5	6.3
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	36	16.7	5.6	5.6	5.6	11.1	19.4	2.8
障害福祉サービス事業所を利用している	80	2.5	1.3	1.3	0.0	7.5	18.8	6.3
自営業、農林水産業など	11	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
その他	8	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	0.0

#### 4-4 今後の就労希望

問 17 あなたは今後、新たに仕事をしたり、働き方を変えたりしたいと思いますか。

18～64歳の回答者全体の中で、「現在働いており、今のまま働き続けたい」が38.2%で最も高くなっていますが、「働きたくない、できない。仕事を辞めたい」と答えた人も20.6%となっています。



※集計対象は18～64歳

障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』と『高次脳機能障害の診断あり』の人は、「現在働いておらず、今後働きたい」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

#### 【障がい種別】

(%)

	調査数	現在働いており、今のまま働き続けたい	現在働いているが、勤務形態を変えたり、別の仕事がしたい	現在働いておらず、今後働きたい	働きたくない、できない。仕事を辞めたい	無回答
全体	432	38.2	13.0	21.1	20.6	7.2
身体障害者手帳所持者	231	40.7	13.0	16.0	21.2	9.1
療育手帳所持者	140	45.7	11.4	10.7	21.4	10.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	103	14.6	14.6	38.8	28.2	3.9
難病の認定あり	28	32.1	14.3	17.9	25.0	10.7
発達障害の診断あり	94	42.6	16.0	17.0	17.0	7.4
高次脳機能障害の診断あり	30	26.7	3.3	46.7	13.3	10.0
医療的ケアを受けている	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※集計対象は18～64歳

就労形態別でみると、『パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員』の人は、「現在働いているが、勤務形態を変えたり、別の仕事がしたい」が他の就労形態に比べて高くなっています。また、『仕事をしていない』人の中で、「今後働きたい」人と、「働きたくない、できない」人は、ほぼ同じ割合です。

【就労形態別】

(%)

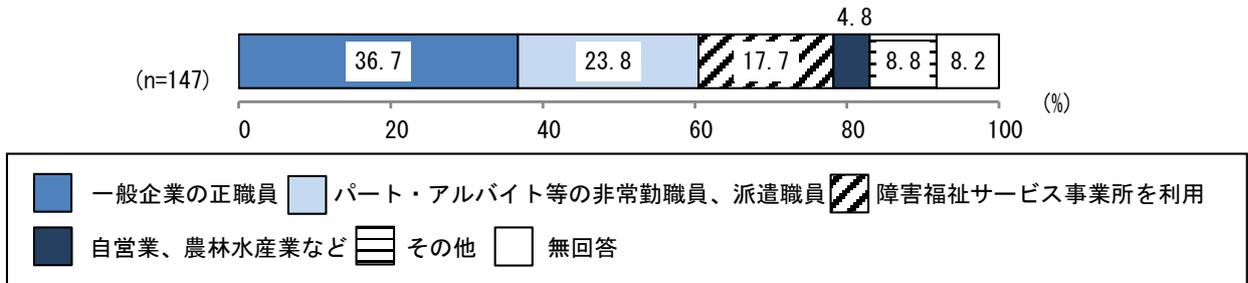
	調査数	現在働いているが、 勤務形態を変えたり、 別の仕事がしたい	今後働きたい	働きたくない、 できない	無回答
全体	432	38.2	21.1	20.6	7.2
一般就労で、正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない	71	77.5	0.0	0.0	1.4
一般就労で、正社員で短時間勤務など障がいのある人への配慮がある	16	81.3	0.0	6.3	0.0
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	36	61.1	0.0	0.0	0.0
障害福祉サービス事業所を利用している	80	73.8	0.0	2.5	0.0
自営業、農林水産業など	11	81.8	9.1	0.0	0.0
その他	8	50.0	0.0	0.0	0.0
仕事をしていない	203	0.5	42.9	42.4	14.3
無回答	7	28.6	42.9	0.0	14.3

※集計対象は 18～64 歳

#### 4-4-1 希望する仕事の内容

問 17-1 今後どのような仕事をしたいですか。(問 17 で「現在働いているが、勤務形態を変えたり、別の仕事がしたい」「現在働いておらず、今後働きたい」を選択した方のみ回答)

今後どのような仕事をしたいかについて、「一般企業の正職員」が 36.7%で最も高くなっています。次いで、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 23.8%、「障害福祉サービス事業所を利用」が 17.7%と続いています。



#### 【その他内訳】

- ・今は休職中だが、以前働いていた職場 ・運送業 ・公務員 ・現在の職場で内勤事務をしたい
- ・パソコン関係 ・訪問介護 ・できる仕事 ・可能な限り就労したい
- ・障がい者が能力を発揮し仕事ができる体制のある会社で働きたい
- ・できない

障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

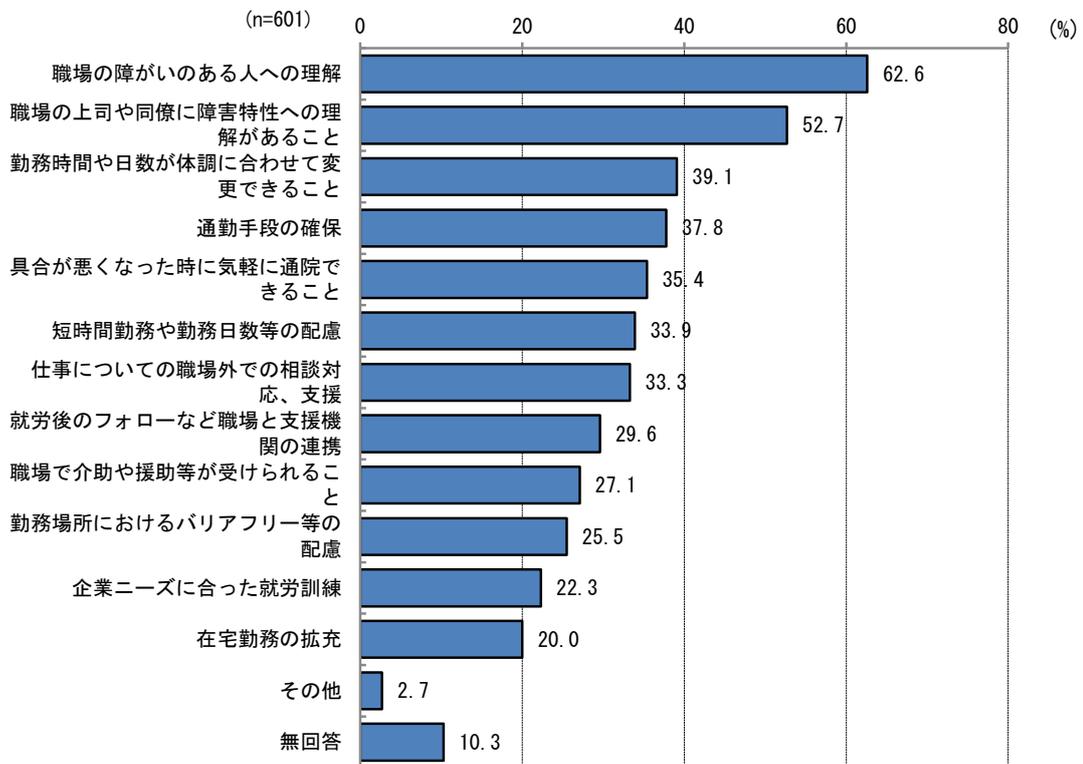
#### 【障がい種別】

	調査数	一般企業の正職員	パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	障害福祉サービス事業所を利用	自営業、農林水産業など	その他	無回答
全体	147	36.7	23.8	17.7	4.8	8.8	8.2
身体障害者手帳所持者	67	38.8	25.4	10.4	9.0	10.4	6.0
療育手帳所持者	31	45.2	16.1	19.4	0.0	3.2	16.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	55	25.5	29.1	29.1	3.6	7.3	5.5
難病の認定あり	9	11.1	11.1	44.4	0.0	33.3	0.0
発達障害の診断あり	31	45.2	12.9	19.4	3.2	9.7	9.7
高次脳機能障害の診断あり	15	33.3	6.7	46.7	0.0	6.7	6.7
医療的ケアを受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### 4-5 必要な就労支援

問 18 あなたは、障がいのある人の就労支援として、どのようなことが必要と思いますか。

障がいのある人に必要な就労支援では、「職場の障がいのある人への理解」が62.6%で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害特性への理解があること」が52.7%となっています。



#### 【その他内訳】

- ・金銭面 ・セクハラがないこと ・トイレ事情 ・法律の改正 ・今の所で満足している
- ・今のところは就労B型で援助していただいている
- ・問題が起きそうになった時、実際に起きた時にうやむやにせず、解決しようとする会社の姿勢・生活レベルの維持向上の為の対応や支援、まずは適性職適応者の社会的地位の向上、安定性の向上
- ・働く意欲がない ・働くことは無理 ・働く所がない

障がい種別でみると、『療育手帳所持者』は「職場の障がいのある人への理解」と「職場の上司や同僚に障害特性への理解があること」、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」と「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

(%)

	調査数	職場への障がい理解のあり	職場の上司や同僚の理解のあり	勤務時間や日数の変更が	通勤手段の確保	具合が悪くなったときに気軽に通院できた	短時間勤務や勤務日数の配慮	職場での相談のあり
全体	601	62.6	52.7	39.1	37.8	35.4	33.9	33.3
身体障害者手帳所持者	317	59.3	46.7	40.7	38.8	33.8	33.1	25.9
療育手帳所持者	225	68.4	63.6	34.2	42.7	33.8	31.6	43.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	61.2	50.0	49.1	34.5	44.8	37.9	35.3
難病の認定あり	42	57.1	42.9	50.0	42.9	40.5	38.1	14.3
発達障害の診断あり	165	73.3	69.1	40.6	44.8	38.8	35.8	50.3
高次脳機能障害の診断あり	39	69.2	59.0	33.3	41.0	35.9	28.2	41.0
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	調査数	就労後の職場サポートのあり	職場で介助や支援のあり	勤務場所における配慮のあり	企業労働訓練のあり	在宅勤務の拡充	その他	無回答
全体	601	29.6	27.1	25.5	22.3	20.0	2.7	10.3
身体障害者手帳所持者	317	20.8	27.8	35.3	16.4	24.0	3.2	9.5
療育手帳所持者	225	42.2	39.1	24.4	31.1	15.1	3.1	11.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	29.3	14.7	12.9	22.4	19.8	3.4	9.5
難病の認定あり	42	21.4	21.4	33.3	16.7	38.1	2.4	14.3
発達障害の診断あり	165	47.9	38.8	23.6	34.5	20.0	2.4	9.7
高次脳機能障害の診断あり	39	28.2	38.5	35.9	25.6	25.6	7.7	2.6
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

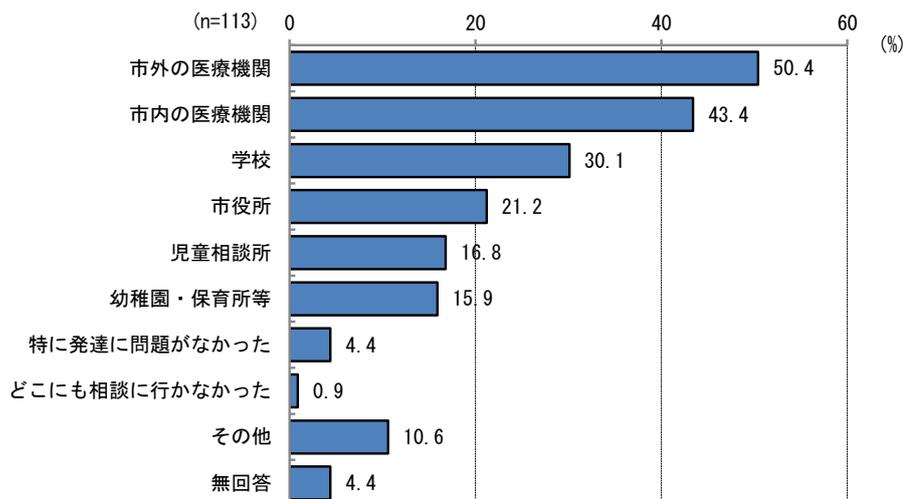
## 5 教育・療育について

(問 19～問 21 は 18 歳以下のみ回答)

### 5-1 発達に関する相談先

問 19 あなたの発達について気になった際に、保護者の方は、どこに相談しましたか。

発達に関する相談先は、「市外の医療機関」が 50.4%で最も高く、次いで「市内の医療機関」が 43.4%、「学校」が 30.1%、「市役所」が 21.2%となっています。



#### 【その他内訳】

・保健所 ・発達障害者支援センター ・教育委員会 ・市議会議員に相談したい  
 ・保健センター ・療育センター ・他の障がい児の親

地域別で見ると、『高砂地区』では「市内の医療機関」と「学校」、「市役所」が他の地域に比べて高くなっています。

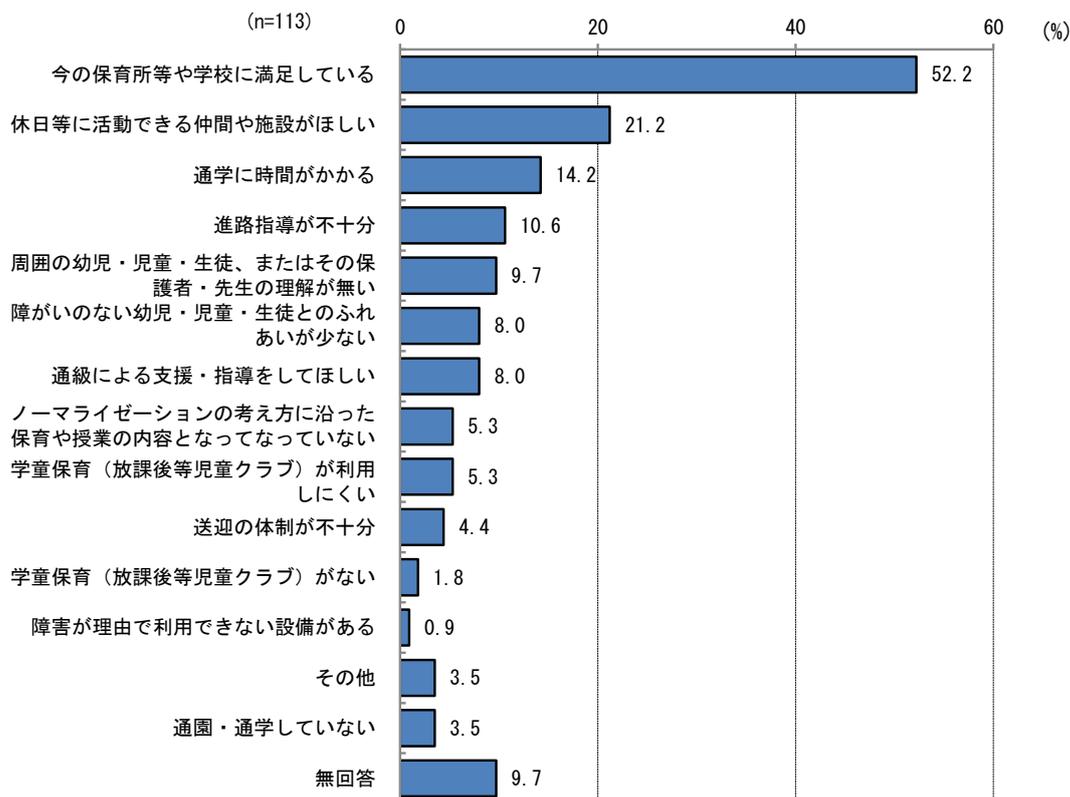
#### 【地域別】

	調査数	市外の医療機関	市内の医療機関	学校	市役所	児童相談所	幼稚園・保育所等	どこにも相談しなかった	特に発達に問題がなかった	その他	無回答
全体	113	50.4	43.4	30.1	21.2	16.8	15.9	0.9	4.4	10.6	4.4
高砂地区	18	44.4	55.6	44.4	38.9	27.8	16.7	0.0	5.6	11.1	5.6
荒井地区	17	52.9	35.3	23.5	11.8	23.5	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0
伊保地区	19	57.9	42.1	31.6	15.8	10.5	10.5	5.3	5.3	15.8	5.3
中筋地区	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7
曽根地区	12	58.3	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
米田地区	20	45.0	45.0	30.0	35.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	5.0
阿弥陀地区	13	53.8	46.2	30.8	15.4	7.7	38.5	0.0	7.7	7.7	0.0
北浜地区	6	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 5-2 通園や通学で気になること・感じていること

問 20 通園や通学で気になること・感じていることは何ですか。

通園や通学で気になること・感じていることについて、「今の保育所等や学校に満足している」が 52.2%で最も高くなっています。次いで、「休日等に活動できる仲間や施設がほしい」が 21.2%、「通学に時間がかかる」が 14.2%と続いています。



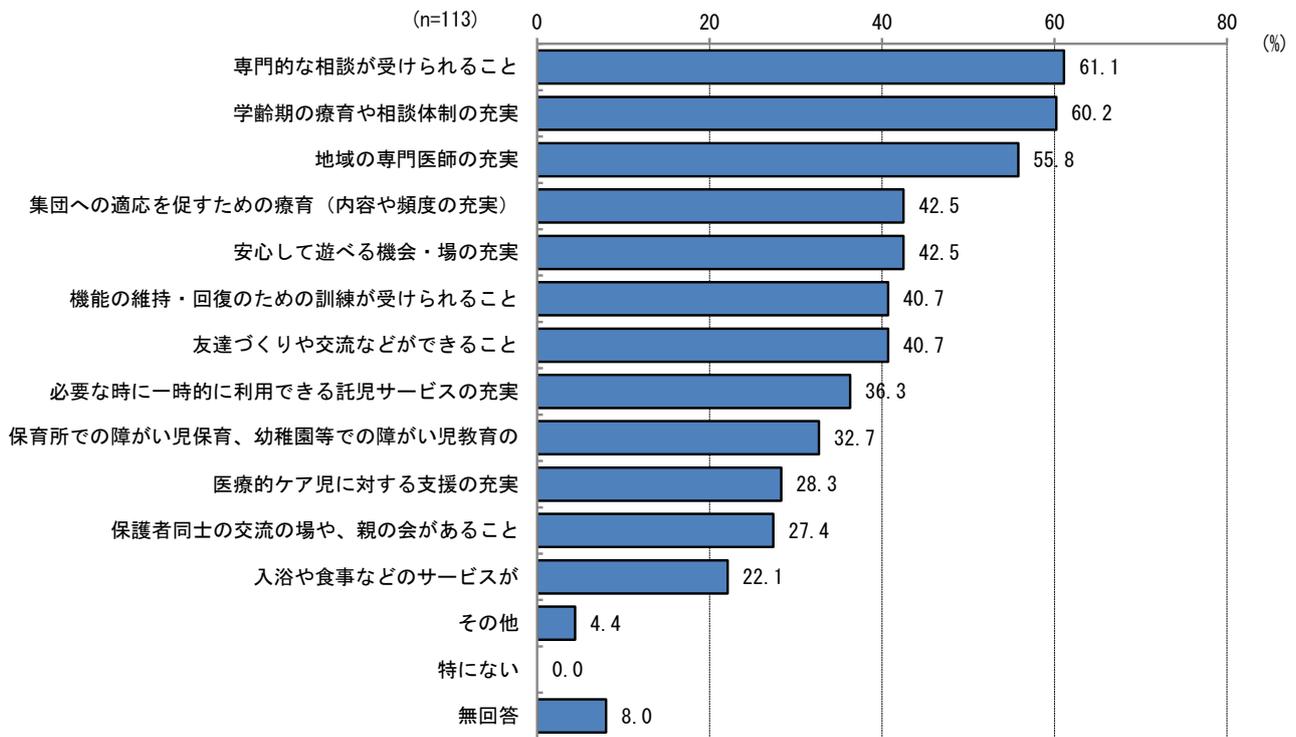
### 【その他内訳】

- ・1人での下校時、通学路とは違う道で下校することがあること(注意力が弱いので事故が心配)
- ・教師による体罰やいじめなど
- ・小学校の先生は小学校でのことは理解されているが中学校やその先の進路についてあまり知らないと思う、将来を見据えた進路指導を受けたい、また発達障がいの特性による校内での困り事に対する対応方法など個別に受けられたらと思う
- ・もっと学校とデイサービスの連携をとってほしい
- ・あてはまるものがない

### 5-3 発達面の支援で必要なこと

問 21 障がいのある子どもや発達面で支援が必要な子どものために、必要なものは何だと思いますか。

発達面の支援で必要なことについては、「専門的な相談が受けられること」が61.1%で最も高くなっています。また、「学齢期の療育や相談体制の充実」も60.2%となっています。



#### 【その他内訳】

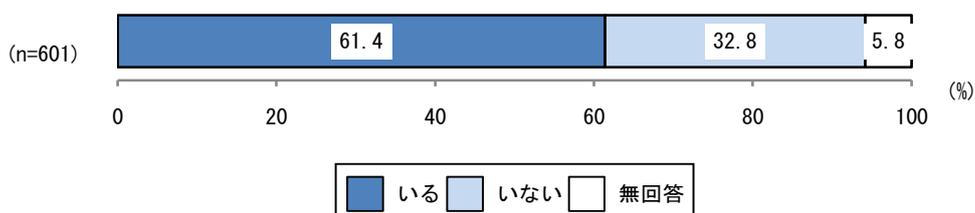
- ・健常者への教育（理解を深めるため）
- ・災害時に安心して避難できる場があること
- ・周囲の理解
- ・専門的な教員の配置
- ・子の支援を受けるための情報をどこで入手すればよいのか分からない方のために、まずここに行けば情報が入るといったマニュアルのような冊子があればよい、主治医から手渡してもらえたら助かるかもしれない

## 6 相談相手について

### 6-1 家族や親せき以外の相談先

問 22 あなたは、普段、悩みや困ったことを相談する人が、家族や親せき以外にいますか。

家族や親せき以外に相談する人がいるかについて、「いる」と答えた人は61.4%となっています。



障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』と『難病の認定あり』の人は、「いない」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

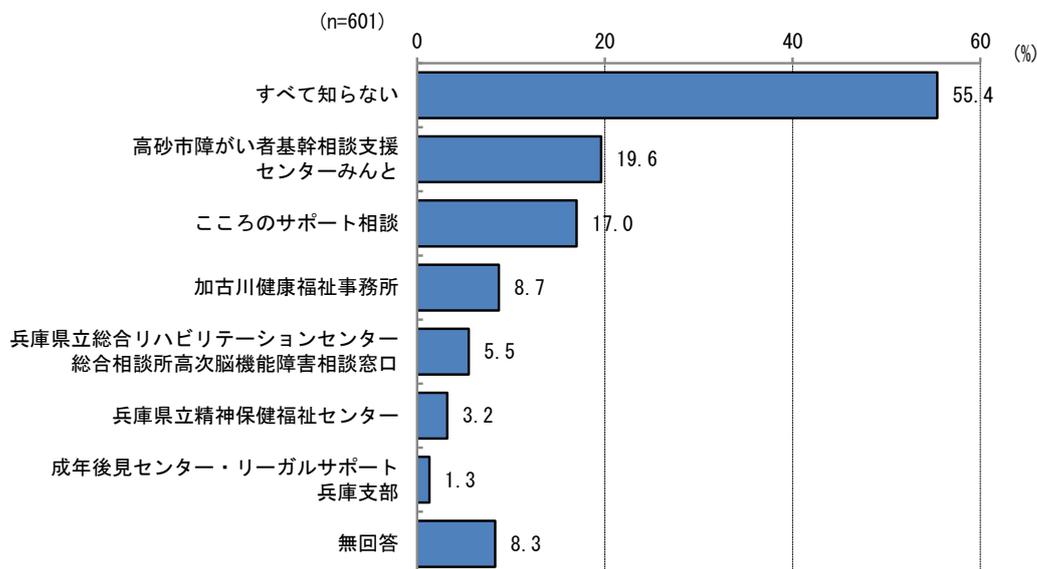
#### 【障がい種別】

	調査数	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体	601	61.4	32.8	5.8
身体障害者手帳所持者	317	64.0	30.6	5.4
療育手帳所持者	225	67.6	25.8	6.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	49.1	45.7	5.2
難病の認定あり	42	50.0	42.9	7.1
発達障害の診断あり	165	67.9	27.9	4.2
高次脳機能障害の診断あり	39	61.5	28.2	10.3
医療的ケアを受けている	3	66.7	33.3	0.0

## 6-2 相談先の認知度

問 23 あなたは次の相談先や、相談支援事業所を知っていますか。

相談先の認知度は、「高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと」と「こころのサポート相談」が約2割に達していますが、「すべて知らない」は5割を超えています。



家族や親せき以外に相談する人が『いない』人は、『いる』人よりも「すべて知らない」が上回っています。

### 【家族や親せき以外の相談先の有無別】

	調査数	すべて知らない	高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと	こころのサポート相談	加古川健康福祉事務所	高次脳機能障害相談窓口	シヨンセンター総合相談所	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	兵庫県立精神保健福祉センター	ルサポート兵庫支部	成年後見センター・リーガル	無回答
全体	601	55.4	19.6	17.0	8.7	5.5	3.2	1.3	8.3			
いる	369	53.9	24.1	19.2	11.1	5.7	3.0	1.6	4.6			
いない	197	65.0	10.7	14.2	5.6	6.1	4.1	1.0	6.6			

地域に関わらず「すべて知らない」が最も高くなっています。一方で、『荒井地区』では「高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと」の認知度が他の地域の人に比べて高くなっています。

【地域別】

(%)

	調査数	すべて知らない	高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと	こころのサポート相談	加古川健康福祉事務所	高次脳機能障害相談窓口	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	兵庫県立精神保健福祉センター	成年後見センター・リールサポート兵庫支部	無回答
全体	601	55.4	19.6	17.0	8.7	5.5	3.2	1.3	8.3	
高砂地区	81	55.6	18.5	21.0	6.2	2.5	1.2	0.0	8.6	
荒井地区	66	43.9	27.3	24.2	9.1	6.1	1.5	1.5	4.5	
伊保地区	101	56.4	9.9	13.9	7.9	6.9	4.0	0.0	10.9	
中筋地区	44	52.3	15.9	13.6	6.8	4.5	6.8	2.3	20.5	
曾根地区	73	52.1	24.7	24.7	16.4	9.6	5.5	2.7	4.1	
米田地区	131	53.4	24.4	15.3	10.7	6.1	3.1	3.1	7.6	
阿弥陀地区	64	67.2	17.2	12.5	4.7	3.1	3.1	0.0	6.3	
北浜地区	31	64.5	16.1	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0	9.7	
その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 27 の情報入手先別で見ると『情報を得る手段がない』人は「すべて知らない」が高く、『民生委員』や『新聞・雑誌・本』、『福祉団体の活動等』を活用している人は、「すべて知らない」が他に比べてやや低くなっています。

【情報入手先別】

	調査数	すべて知らない	高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと	こころのサポート相談	加古川健康福祉事務所	高次脳機能障害相談窓口	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	兵庫県立精神保健福祉センター	成年後見センター・リীগ	無回答
全体	601	55.4	19.6	17.0	8.7	5.5	3.2	1.3	8.3	
新聞・雑誌・本	28	35.7	35.7	35.7	14.3	7.1	3.6	0.0	7.1	
テレビ、ラジオ	27	48.1	7.4	25.9	22.2	7.4	0.0	0.0	7.4	
インターネット	109	52.3	19.3	22.0	12.8	11.9	4.6	3.7	5.5	
市の広報、パンフレット	181	46.4	22.1	24.9	14.9	8.3	3.9	1.1	6.1	
福祉団体の活動等	22	36.4	50.0	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	13.6	
社会福祉協議会の広報等	30	50.0	33.3	40.0	16.7	13.3	23.3	13.3	0.0	
民生委員・児童委員	9	22.2	33.3	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	
行政の窓口	96	45.8	24.0	25.0	13.5	6.3	2.1	1.0	6.3	
学校や職場	48	60.4	25.0	14.6	8.3	2.1	2.1	2.1	4.2	
施設や病院	123	54.5	24.4	16.3	8.9	4.9	1.6	0.8	4.1	
家族、友人等	124	54.8	25.0	14.5	6.5	5.6	1.6	1.6	6.5	
その他	25	52.0	28.0	28.0	12.0	8.0	8.0	8.0	4.0	
情報を得る手段がない	53	75.5	11.3	3.8	1.9	3.8	1.9	0.0	5.7	

サービス利用状況別で見ると、『サービス利用者』はいずれの年齢も「高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと」が高くなっています。

【サービス利用状況別】

	調査数	すべて知らない	高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと	こころのサポート相談	加古川健康福祉事務所	高次脳機能障害相談窓口	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	兵庫県立精神保健福祉センター	成年後見センター・リীগ	無回答
全体	601	55.4	19.6	17.0	8.7	5.5	3.2	1.3	8.3	
サービス利用者(18歳未満)	63	58.7	20.6	17.5	6.3	1.6	1.6	1.6	7.9	
サービス未利用者(18歳未満)	27	81.5	0.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	
サービス利用者(18～64歳)	155	49.0	27.1	21.9	7.7	5.8	3.2	1.3	6.5	
サービス未利用者(18～64歳)	168	62.5	14.3	11.9	10.1	8.9	3.0	1.2	4.2	
サービス利用者(65歳以上)	26	38.5	30.8	23.1	11.5	7.7	3.8	3.8	11.5	
サービス未利用者(65歳以上)	28	53.6	32.1	28.6	17.9	7.1	7.1	3.6	0.0	
無回答	134	50.7	16.4	14.9	7.5	3.0	3.7	0.7	17.9	

問 13 で相談対応の充実を希望したかで分類したところ、希望にかかわらず「すべて知らない」が高くなっています。

【相談対応の充実希望状況別】

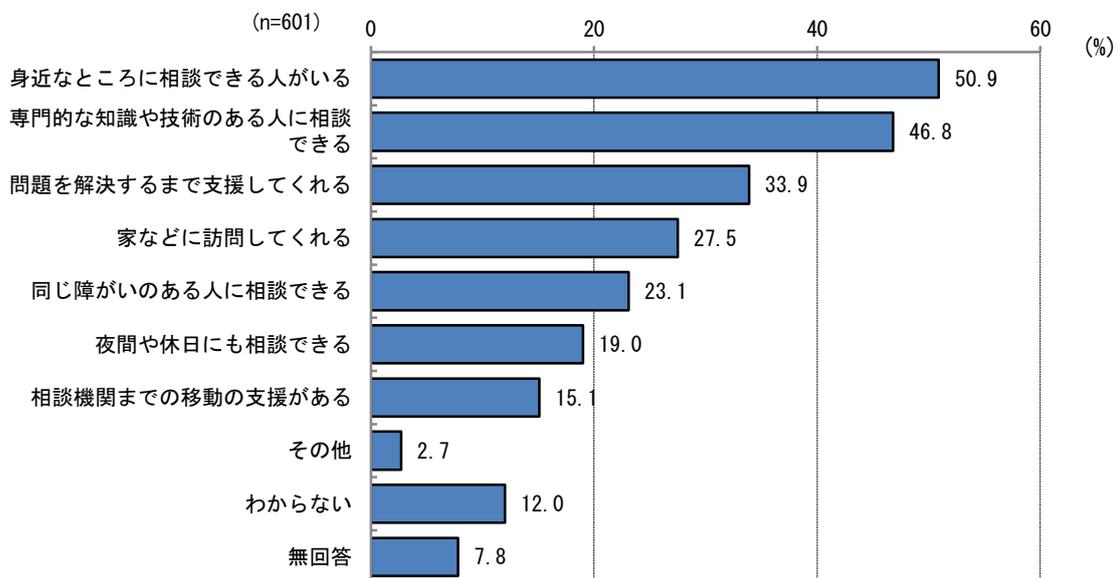
(%)

	調査数	すべて知らない	高砂市障がい者基幹相談支援センター	このころのサポート相談	加古川健康福祉事務所	高次脳機能障害相談窓口	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	兵庫県立精神保健福祉センター	成年後見センター・リールサポート兵庫支部	無回答
全体	601	55.4	19.6	17.0	8.7	5.5	3.2	1.3	8.3	
相談対応等の充実を希望している	223	57.0	21.5	20.6	7.6	6.7	5.4	2.2	6.3	
相談対応等の充実を特に希望していない	325	56.9	17.8	15.4	10.2	4.9	2.2	0.9	6.2	

6-3 気軽に相談するために必要なこと

問 24 今よりも気軽に相談できるようにするためには、どのようなことが必要と思いますか。

気軽に相談するために必要なことは、「身近なところに相談できる人がいる」が50.9%で最も高く、次いで「専門的な知識や技術のある人に相談できる」が46.8%となっています。



【その他内訳】

- ・電話によるカウンセリング ・行政に対しての意見を言える場所が欲しい
- ・相談できるところの宣伝などをもっと教えてほしい ・社会の障がい者への偏見をなくす
- ・市役所が知識をもっと知ってほしい ・スピーディーな対応 ・相談員が相談内容を他人にもらさない
- ・メール、インターネット、Twitter、LINE等SNS技術の発達 ・もっと真剣に聞いてほしい
- ・回答の7(問題を解決するまで支援してくれる)であることは望ましい、5(同じ障がいのある人に相談できる)、6(夜間や休日にも相談できる)は無理がある、4(家などに訪問してくれる)は定期的に行うべき、1(身近なところに相談できる人がいる)ははっきりいってそんな人がいるなら病気は減ると確信している
- ・現状では期待できない

障がい種別で見ると、『難病の認定あり』の人は、「専門的な知識や技術のある人に相談できる」と「家などに訪問してくれる」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

(%)

	調査数	身近で相談できる人がいる	専門的な知識や技術のある人に相談できる	問題を解決してくれる	家などに訪問してくれる	同じ障がいの人と相談できる
全体	601	50.9	46.8	33.9	27.5	23.1
身体障害者手帳所持者	317	48.9	45.7	30.3	27.8	23.0
療育手帳所持者	225	56.4	48.4	43.1	33.3	24.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	50.9	48.3	38.8	27.6	22.4
難病の認定あり	42	35.7	57.1	38.1	47.6	26.2
発達障害の診断あり	165	55.2	50.9	43.6	32.1	26.7
高次脳機能障害の診断あり	39	43.6	53.8	35.9	30.8	17.9
医療的ケアを受けている	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0
	調査数	夜間や休日に相談できる	相談の動機に関与する	その他	わからない	無回答
全体	601	19.0	15.1	2.7	12.0	7.8
身体障害者手帳所持者	317	19.2	15.1	2.8	10.4	7.9
療育手帳所持者	225	15.1	14.7	1.3	11.6	6.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	26.7	19.0	4.3	12.9	9.5
難病の認定あり	42	23.8	19.0	4.8	7.1	7.1
発達障害の診断あり	165	21.2	15.8	1.8	12.7	4.8
高次脳機能障害の診断あり	39	10.3	15.4	5.1	12.8	7.7
医療的ケアを受けている	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

問 13 で相談対応の充実を希望したかで分類したところ、『相談対応等の充実を希望している』人は、全体的に回答率が高くなっていますが、特に「身近なところに相談できる人がある」、「専門的な知識や技術のある人に相談できる」、「問題を解決するまで支援してくれる」が高くなっています。

【相談対応の充実希望状況別】

	調査数	身近なところに相談できる	専門的な知識や技術のある人	問題を解決するまで支援してくれる	家などに訪問してくれる	同じ障がいのある人に相談できる	夜間や休日にも相談できる	相談機関までの移動の支援がある	その他	わからない	無回答
全体	601	50.9	46.8	33.9	27.5	23.1	19.0	15.1	2.7	12.0	7.8
相談対応等の充実を希望している	223	64.1	63.7	53.8	39.5	34.1	27.4	26.0	4.0	7.2	2.7
相談対応等の充実を特に希望していない	325	44.6	39.7	24.0	22.2	19.1	14.8	9.2	2.2	14.5	5.8

サービス利用状況別に見たところ、『サービス利用者』の18歳未満と18～64歳はともに、「身近なところに相談できる人がある」、「専門的な知識や技術のある人に相談できる」、「問題を解決するまで支援してくれる」が高く、『サービス利用者』の65歳以上は、「専門的な知識や技術のある人に相談できる」、「家などに訪問してくれる」が高くなっています。

また、サービスの利用に関わらず『18歳未満』の人は「同じ障がいのある人に相談できる」が他に比べて高くなっています。

【サービス利用状況別】

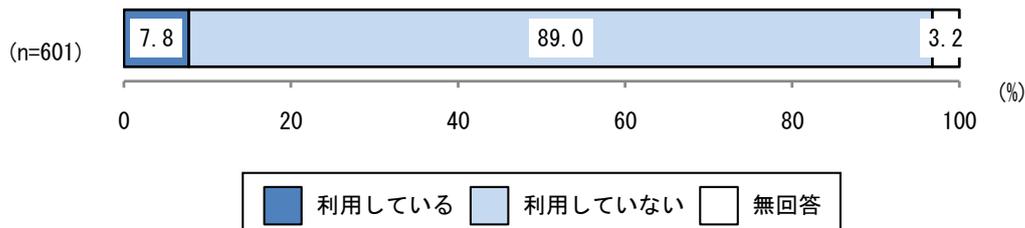
	調査数	身近なところに相談できる	専門的な知識や技術のある人	問題を解決するまで支援してくれる	家などに訪問してくれる	同じ障がいのある人に相談できる	夜間や休日にも相談できる	相談機関までの移動の支援がある	その他	わからない	無回答
全体	601	50.9	46.8	33.9	27.5	23.1	19.0	15.1	2.7	12.0	7.8
サービス利用者(18歳未満)	63	54.0	57.1	46.0	36.5	38.1	17.5	14.3	3.2	4.8	4.8
サービス未利用者(18歳未満)	27	63.0	51.9	11.1	11.1	37.0	7.4	0.0	0.0	11.1	3.7
サービス利用者(18～64歳)	155	56.8	54.2	49.0	37.4	23.2	21.3	19.4	1.3	12.3	3.9
サービス未利用者(18～64歳)	168	44.6	42.3	26.2	19.6	19.6	19.6	13.7	3.0	17.3	3.6
サービス利用者(65歳以上)	26	42.3	53.8	38.5	50.0	11.5	19.2	26.9	0.0	15.4	11.5
サービス未利用者(65歳以上)	28	50.0	39.3	25.0	25.0	17.9	17.9	14.3	3.6	17.9	3.6
無回答	134	50.0	38.1	26.1	20.9	20.9	18.7	13.4	4.5	6.7	20.1

## 7 介護保険サービスの利用について

### 7-1 介護保険サービスの利用状況

問 25 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

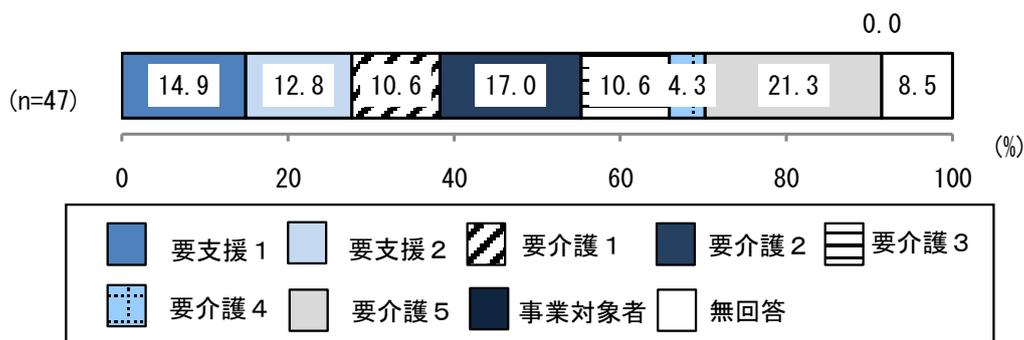
介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が7.8%となっています。



#### 7-1-1 要介護度の状況

問 25-1 該当する要介護度はどれですか。(問 25 で「利用している」を選択した方のみ回答)

要介護度の状況は、「要介護5」が21.3%、「要介護2」が17.0%、「要支援1」が14.9%、「要支援2」が12.8%となっています。

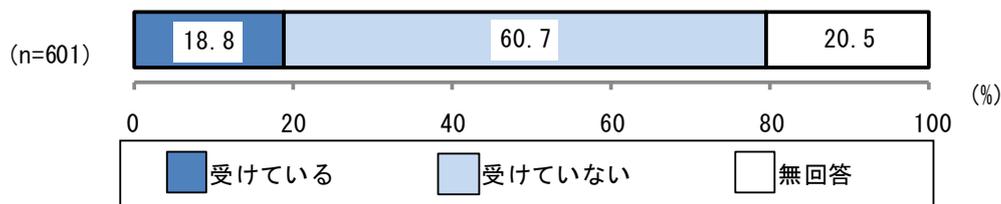


## 8 障がい福祉サービス等の利用について

### 8-1 障害支援区分の認定

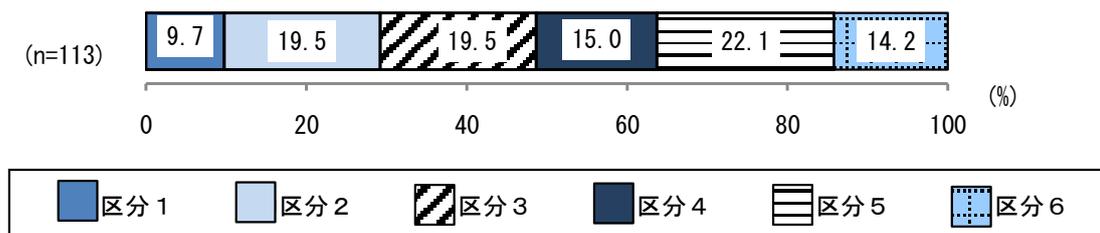
問 26 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

障害支援区分の認定を「受けている」人が 18.8%、「受けていない」人が 60.7%となっています。



障害支援区分を受けている人の内訳は、「区分 5」が 22.1%、「区分 2」と「区分 3」が 19.5%、「区分 4」が 15.0%となっています。

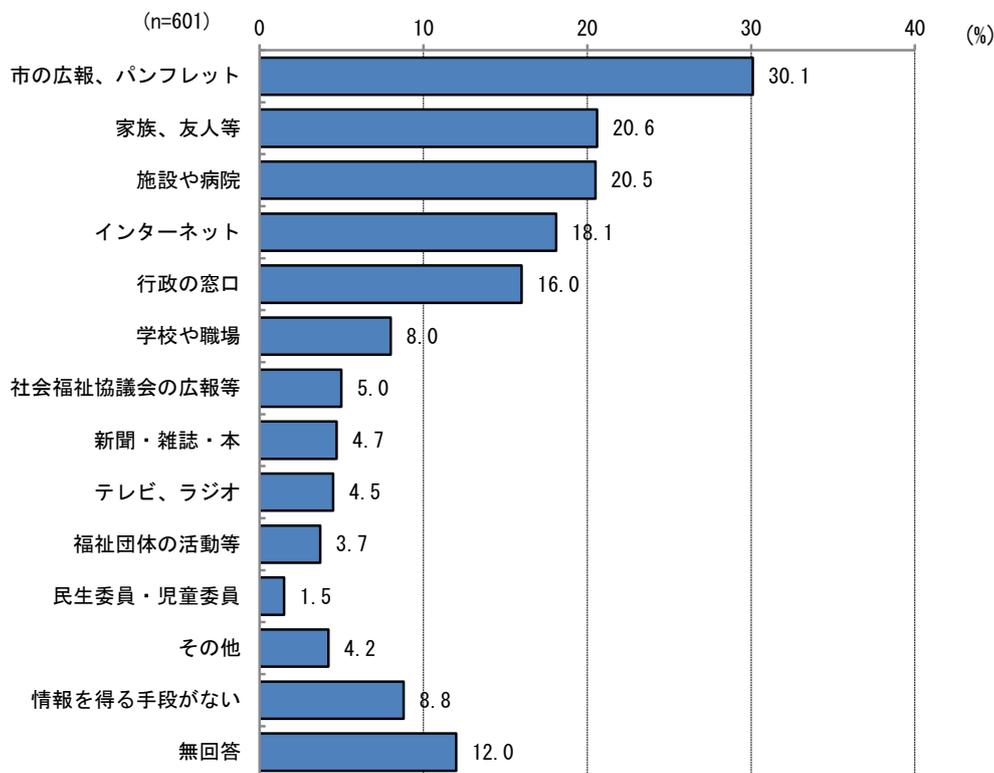
#### 【認定区分内訳】



## 8-2 福祉サービスの情報入手先

問 27 あなたは福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

福祉サービスの情報入手先は、「市の広報、パンフレット」が30.1%で最も高く、次いで「家族、友人等」が20.6%、「施設や病院」が20.5%となっています。



### 【その他内訳】

- ・ケアマネジャー、訪問の方 ・施設にまかしている ・肢体不自由児者の親の会
- ・市役所、生活福祉課 ・相談員 ・もっと情報サービスを得たい ・うわさで聞く程度
- ・福祉サービスとは何か、どういうものがあるかよくわかっていないが、本アンケートでわかってきたこともある
- ・入手していないため、サービスを受けたことがない ・必要としておらず調べていない

年齢別でみると、『18歳未満』と『18～29歳』は「家族、友人等」が高く、『40歳以上』は「市の広報、パンフレット」が高くなっています。

【年齢別】

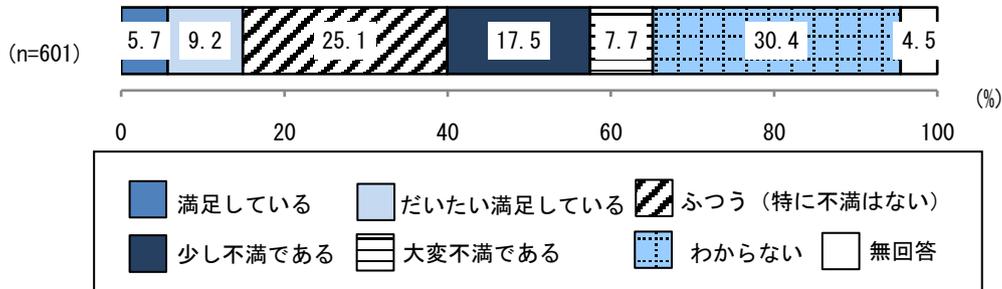
(%)

	調査数	市の広報、パンフレット	家族、友人等	施設や病院	インターネット	行政の窓口	学校や職場	社会福祉協議会の広報等
全体	601	30.1	20.6	20.5	18.1	16.0	8.0	5.0
18歳未満	97	15.5	30.9	25.8	19.6	13.4	28.9	2.1
18～29歳	108	25.9	31.5	19.4	21.3	15.7	9.3	2.8
30～39歳	82	20.7	18.3	25.6	20.7	15.9	6.1	6.1
40～49歳	106	38.7	17.0	21.7	11.3	20.8	2.8	7.5
50～59歳	98	29.6	11.2	13.3	18.4	13.3	2.0	6.1
60歳以上	105	46.7	13.3	17.1	18.1	16.2	0.0	5.7
	調査数	新聞・雑誌・本	テレビ、ラジオ	福祉団体の活動等	民生委員・児童委員	その他	ない情報を得る手段が	無回答
全体	601	4.7	4.5	3.7	1.5	4.2	8.8	12.0
18歳未満	97	3.1	1.0	2.1	1.0	3.1	4.1	16.5
18～29歳	108	2.8	6.5	8.3	1.9	5.6	7.4	7.4
30～39歳	82	3.7	1.2	4.9	1.2	2.4	11.0	13.4
40～49歳	106	7.5	3.8	2.8	1.9	2.8	13.2	8.5
50～59歳	98	6.1	6.1	1.0	0.0	6.1	9.2	16.3
60歳以上	105	4.8	7.6	1.9	2.9	4.8	8.6	10.5

### 8-3 障がい福祉サービスの満足度

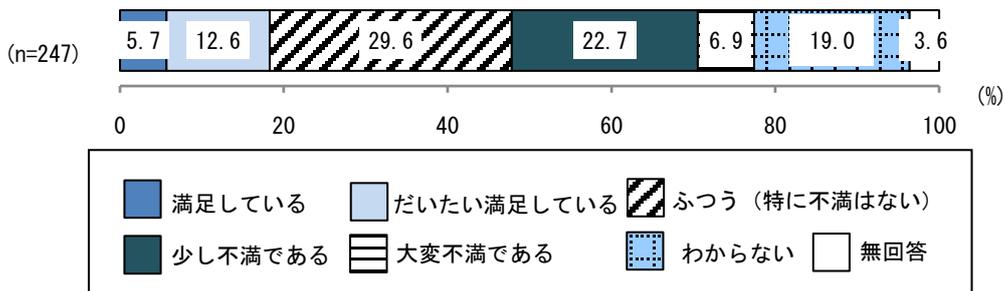
問 28 高砂市の障がい福祉サービスについて満足していますか。

障害福祉サービスの満足度を全体で見ると「ふつう（特に不満はない）」が 25.1%、「少し不満である」が 17.5%、「だいたい満足している」が 9.2%となっています。



福祉サービスを利用している人のうち、サービスへの満足度は、「不満がない（満足している・大体満足している・ふつう（特に不満はない）」が 47.9%、「不満がある（少し不満である・大変不満である）」が 29.6%と、不満がないとの意見が多くなっています。

#### 【サービス利用者】



障がい種別で見ると、『難病の認定あり』の人は、「わからない」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

#### 【障がい種別】

	調査数	満足している	だいたい満足している	ふつう（特に不満はない）	少し不満である	大変不満である	わからない	無回答
全体	601	5.7	9.2	25.1	17.5	7.7	30.4	4.5
身体障害者手帳所持者	317	6.3	9.1	21.8	18.3	8.5	33.1	2.8
療育手帳所持者	225	3.6	10.7	25.8	24.0	7.1	24.4	4.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	6.0	9.5	27.6	11.2	10.3	28.4	6.9
難病の認定あり	42	4.8	14.3	7.1	16.7	11.9	42.9	2.4
発達障害の診断あり	165	4.2	9.7	26.1	24.2	7.9	23.6	4.2
高次脳機能障害の診断あり	39	2.6	10.3	23.1	15.4	15.4	28.2	5.1
医療的ケアを受けている	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

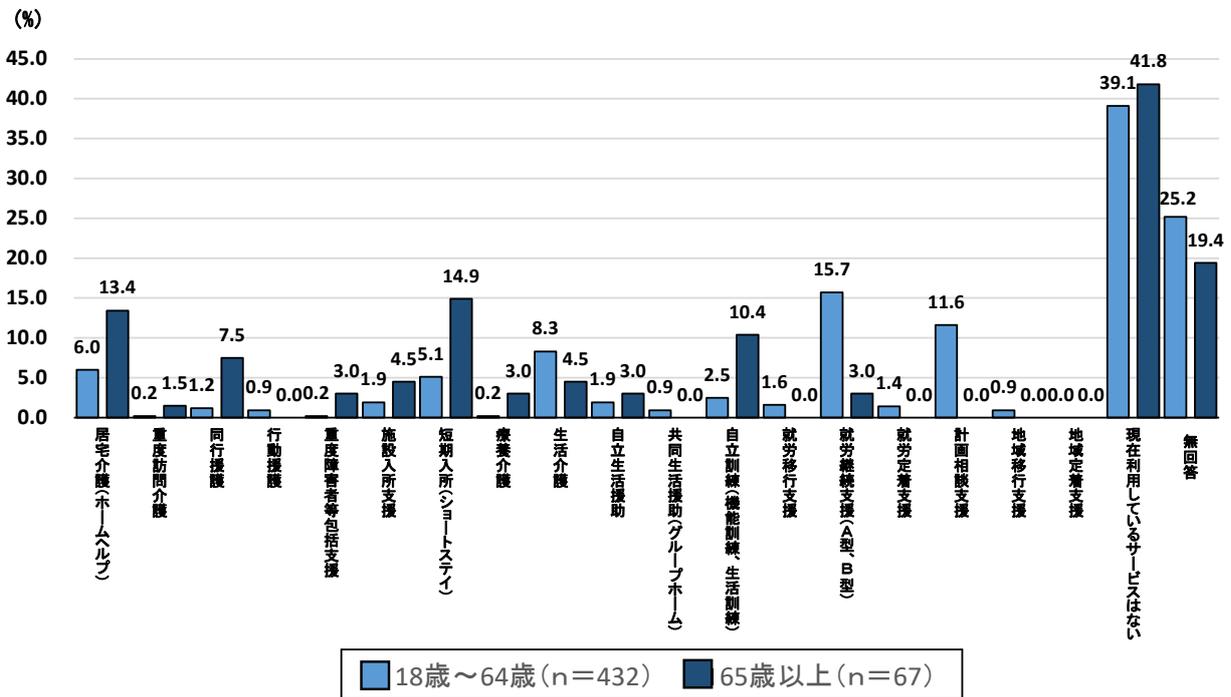
## 8-4 障がい福祉サービスの利用状況

問 29 あなたは次のサービスを利用していますか。利用しているサービスを下表に記入し、今後3年後の利用予定もお答えください。

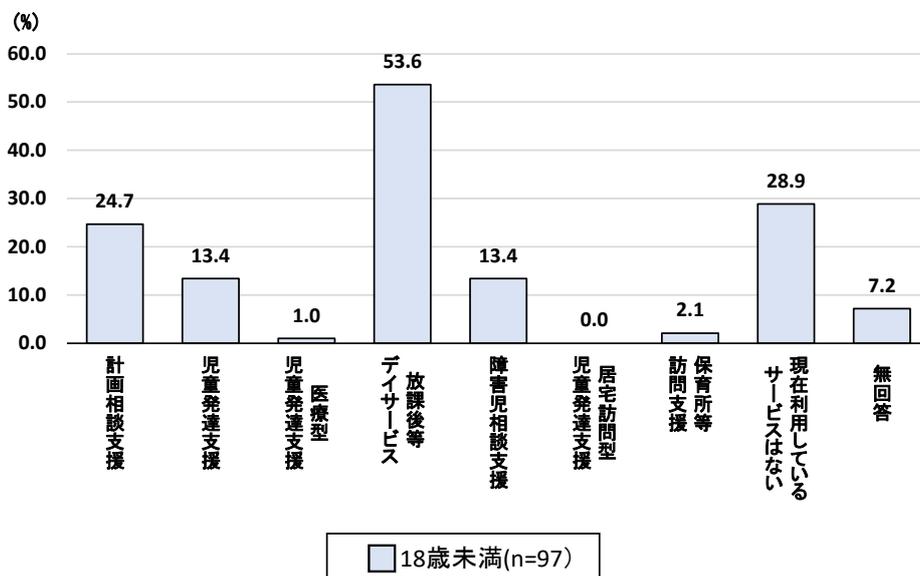
『18～64歳』と『65歳以上』では、「現在利用しているサービスがない」が最も高くなっています。利用している内容としては、『18～64歳』は「就労継続支援A型・B型」が高く、『65歳以上』は「短期入所（ショートステイ）」と「居宅介護（ホームヘルプ）」が高くなっています。

『18歳未満』については、「放課後等デイサービス」を半数以上が利用しています。

### 【年齢別】



※年齢無回答者含めず

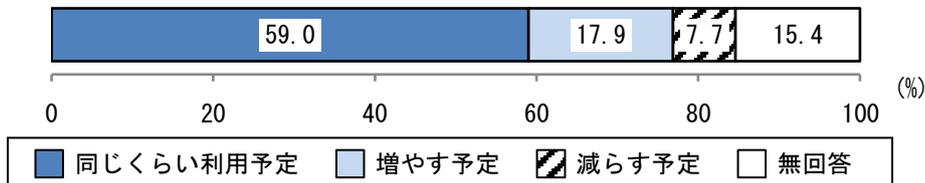


※年齢無回答者含めず

3年後の利用予定では、全体的にみると「同じくらい利用予定」もしくは「増やす予定」と回答した人が5割以上となっているものが多い状況です。一方で、「減らす予定」と回答した人については、『保育所等訪問支援』（50.0%）、『グループホーム』（20.0%）が他のサービスより多くなっています。

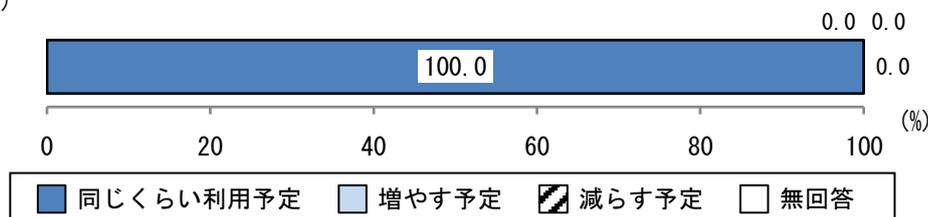
【3年後の利用予定 居宅介護（ホームヘルプ）】

(n=39)



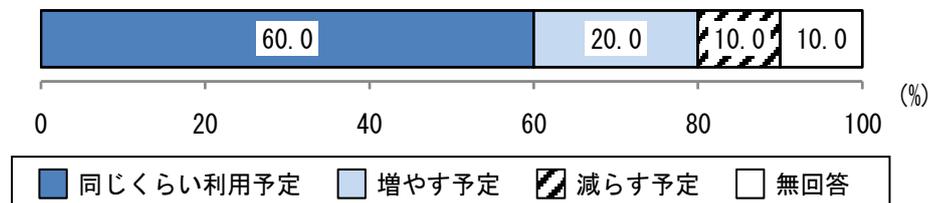
【3年後の利用予定 重度訪問介護】

(n=2)



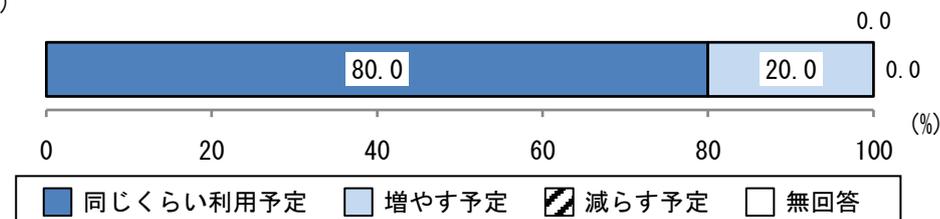
【3年後の利用予定 同行援護】

(n=10)



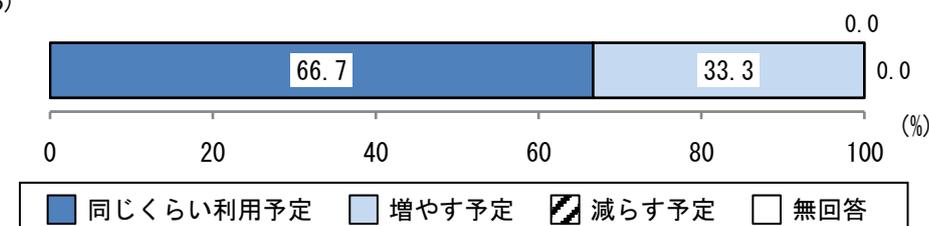
【3年後の利用予定 行動援護】

(n=5)



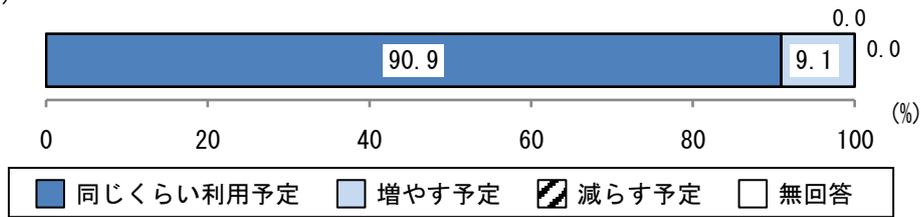
【3年後の利用予定 重度障害者等包括支援】

(n=3)



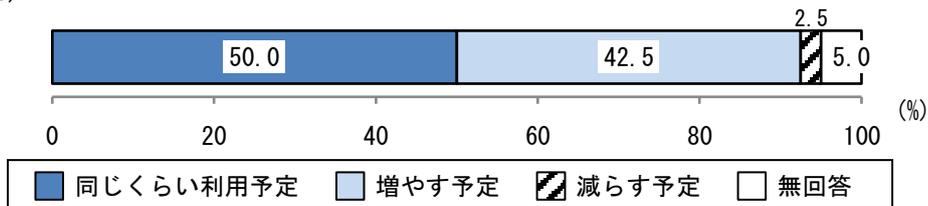
【3年後の利用予定 施設入所支援】

(n=11)



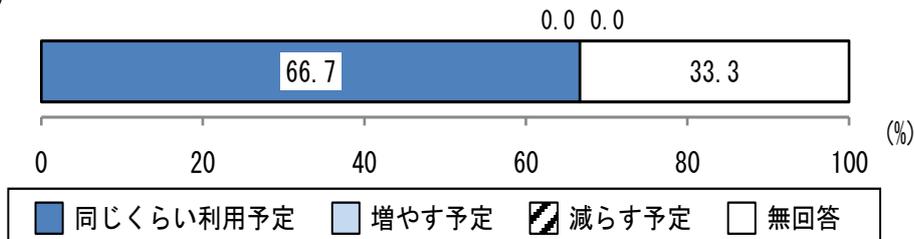
【3年後の利用予定 短期入所（ショートステイ）】

(n=40)



【3年後の利用予定 療養介護】

(n=3)



【3年後の利用予定 生活介護】

(n=39)



【3年後の利用予定 自立生活援助】

(n=10)



【3年後の利用予定 共同生活援助（グループホーム）】

(n=5)



【3年後の利用予定 自立訓練（機能訓練、生活訓練）】

(n=21)



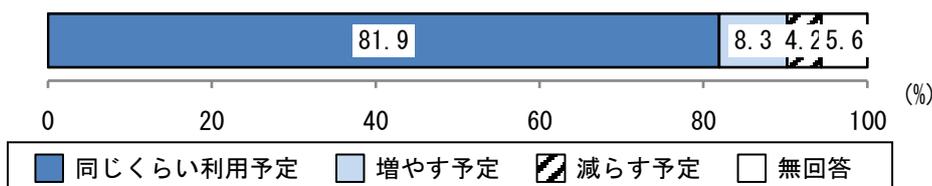
【3年後の利用予定 就労移行支援】

(n=7)



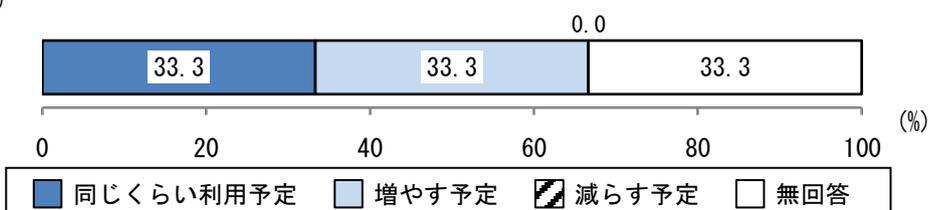
【3年後の利用予定 就労継続支援（A型、B型）】

(n=72)



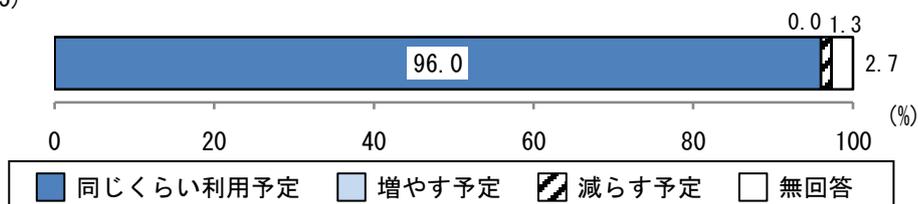
【3年後の利用予定 就労定着支援】

(n=6)



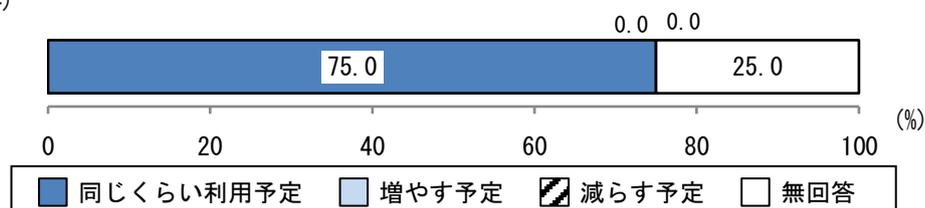
【3年後の利用予定 計画相談支援】

(n=75)

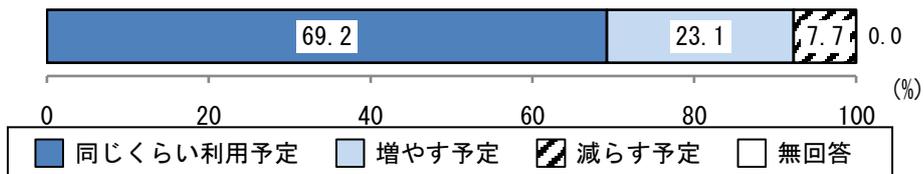


【3年後の利用予定 地域移行支援】

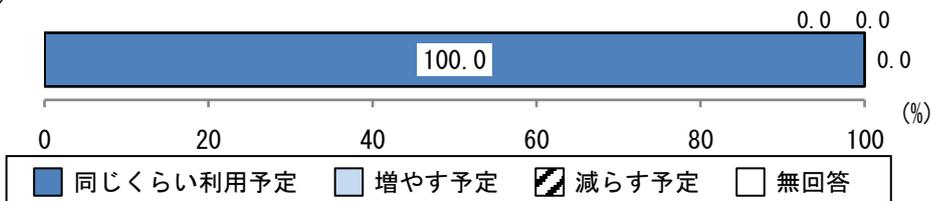
(n=4)



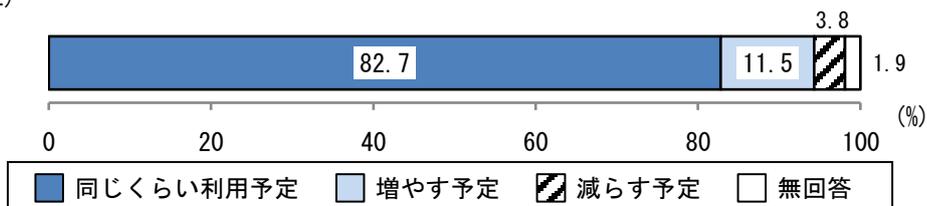
【3年後の利用予定 児童発達支援】  
(n=13)



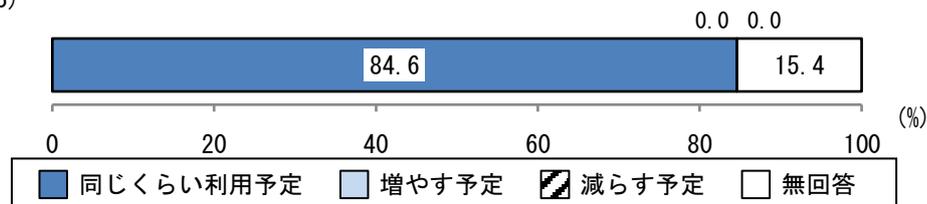
【3年後の利用予定 医療型児童発達支援】  
(n=1)



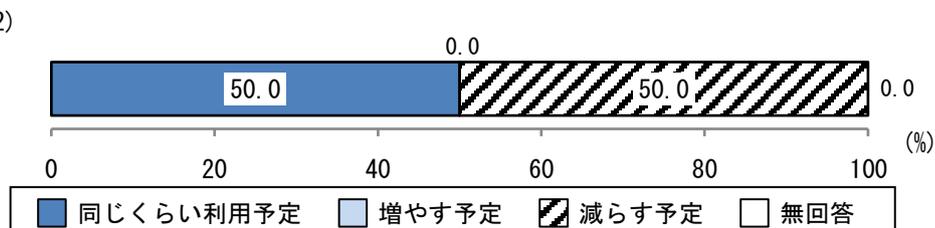
【3年後の利用予定 放課後等デイサービス】  
(n=52)



【3年後の利用予定 障害児相談支援】  
(n=13)



【3年後の利用予定 保育所等訪問支援】  
(n=2)

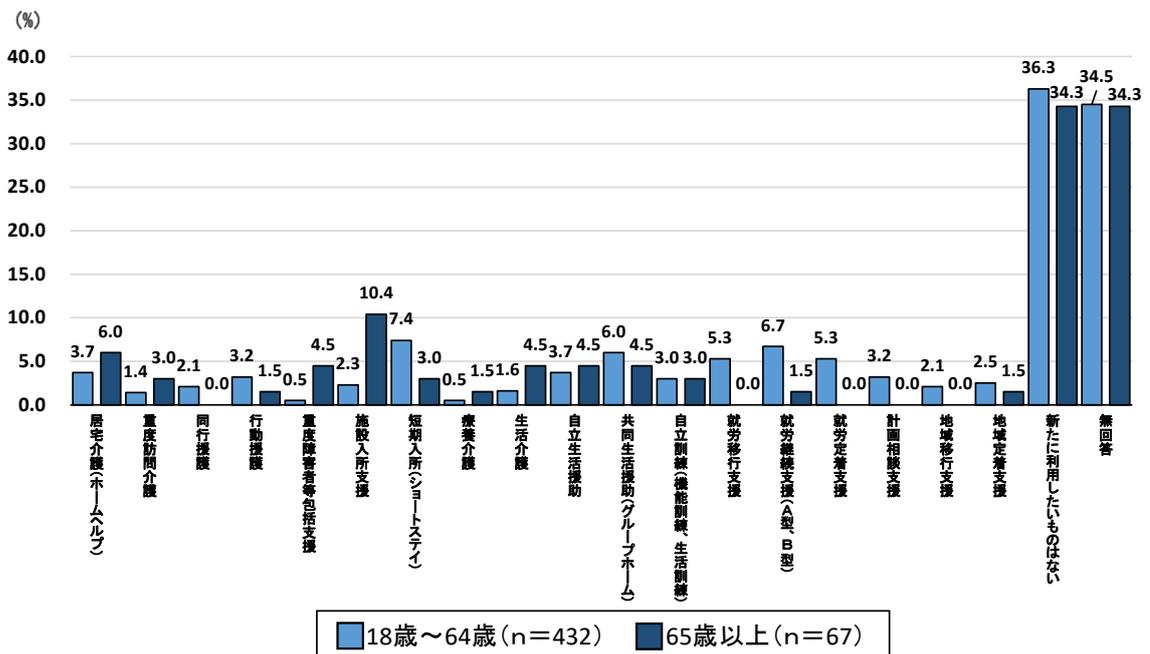


## 8-5 障がい福祉サービスの利用希望

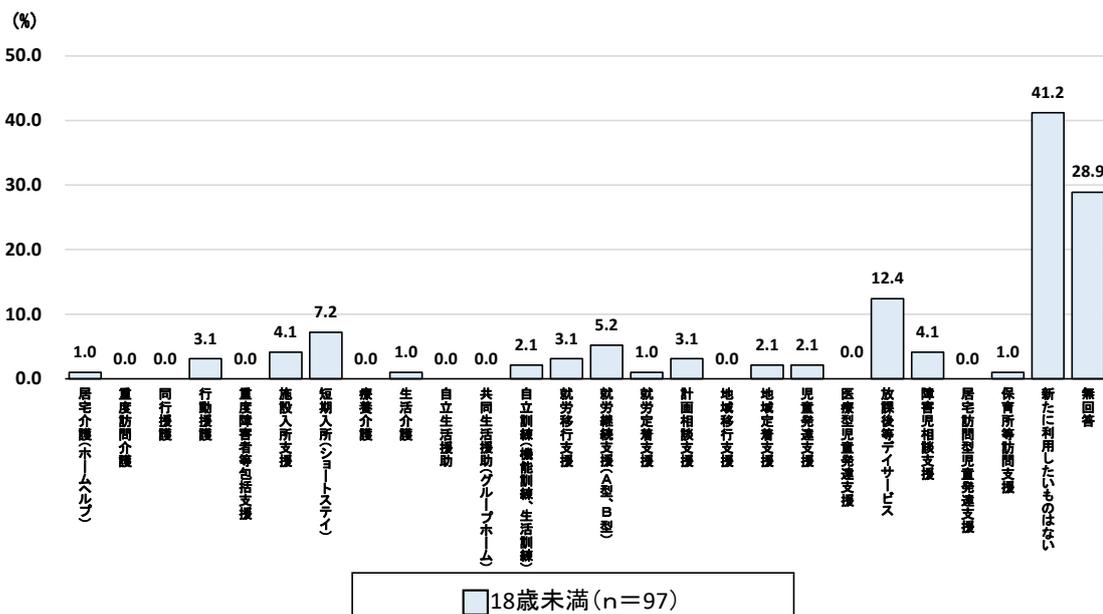
問 30 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスがあれば教えてください。

すべての年齢で、「新たに利用したいものはない」が最も高くなっています。利用したいサービスとしては、『18～64歳』は「短期入所（ショートステイ）」と「就労継続支援A型・B型」が高く、『65歳以上』は「施設入所支援」と「居宅介護（ホームヘルプ）」が高くなっています。また、『18歳未満』は、「放課後等デイサービス」が高くなっています。

### 【年齢別】



※年齢無回答者含めず

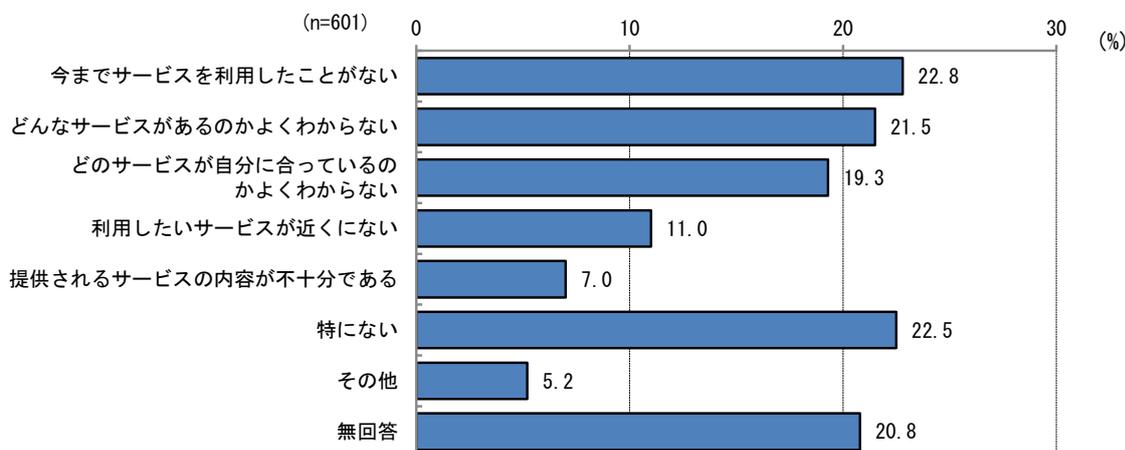


※年齢無回答者含めず

## 8-6 障がい福祉サービス利用の不満

問 31 これまで、サービス利用について不満や困ったことはありますか。

障害福祉サービス利用の不満については、「どんなサービスがあるのかよくわからない」が 21.5%で最も高く、「どのサービスが自分に合っているのかよくわからない」が 19.3%となっています。



### 【その他内訳】〈受け入れ〉

- ・急に閉所された ・サービスがない、受ける施設がない
- ・利用者がいっぱい使いたい時に利用出来ない
- ・高砂市に障がい者のヘルパーをしてくれる人が少ない。特に移動支援が少ない。頼むためには、相当早くに計画を立てないといけない。肢体障がい者のグループホームを作してほしい。

### 【その他内訳】〈上記以外〉

- ・障がいに合ったサービスの支援をしてほしい ・講演会などのお知らせ
- ・ヘルパーの能力に差がある ・受給者証の手続きが難しい ・費用が高額
- ・特に家に来られるなど、人と関わると疲れる
- ・どこまでのサービスを受けることができるのかわからない
- ・工賃が安すぎる ・作業時間が短すぎる ・高砂市から通勤にかかる交通費が全額補助されない
- ・自宅内の色々な所をのぞいたり、引き出しを開けたり、ヘルパー自身に問題のある方がいる
- ・生活保護をもらおうと車での交通が出来ず困る
- ・放課後等デイサービスの日数が 15 日が上限では働くことに支障が出たり保護者にもストレスがかかる、障がい者の子どもがいたら片親だけが働けばいいと言われた人もいると聞いており、不親切な対応が多い

サービスの満足度別を全体で見ると、『不満』の人は「どんなサービスがあるのかよくわからない」、  
「どのサービスが自分に合っているのかよくわからない」、「利用したいサービスが近くにない」が高くなっています。

【サービスの満足度別】

(%)

	調査数	利用が近くにないサービス	知らないサービス	どんなサービスがあるのかよくわからない	どのサービスが自分に合っているのかよくわからない	提供する内容が不十分	利用したサービスがな	特にな	その他	無回答
全体	601	11.0	21.5	19.3	7.0	22.8	22.5	5.2	20.8	
満足	89	7.9	12.4	13.5	2.2	11.2	32.6	6.7	29.2	
ふつう	151	7.3	20.5	19.2	6.6	16.6	25.8	4.6	18.5	
不満	151	21.9	23.8	23.8	13.9	29.1	11.3	7.9	15.9	
わからない	183	7.1	26.2	19.1	3.8	30.6	25.7	3.3	16.9	

サービス利用者のサービスの満足度で見ると、『不満がある人』は、「利用したいサービスが近くにない」、  
「どんなサービスがあるのかよくわからない」、「どのサービスが自分に合っているのかよくわからない」が高くなっています。

【サービスの満足度別】

(%)

	調査数	利用が近くにないサービス	知らないサービス	どんなサービスがあるのかよくわからない	どのサービスが自分に合っているのかよくわからない	提供する内容が不十分	利用したサービスがな	特にな	その他	無回答
全体	247	21.9	25.5	29.1	12.1	6.1	25.5	7.7	10.9	
満足	45	11.1	11.1	15.6	2.2	2.2	44.4	8.9	17.8	
ふつう	73	13.7	26.0	27.4	9.6	9.6	26.0	2.7	11.0	
不満	73	41.1	26.0	30.1	21.9	5.5	15.1	15.1	8.2	
わからない	47	14.9	36.2	42.6	10.6	4.3	27.7	4.3	2.1	

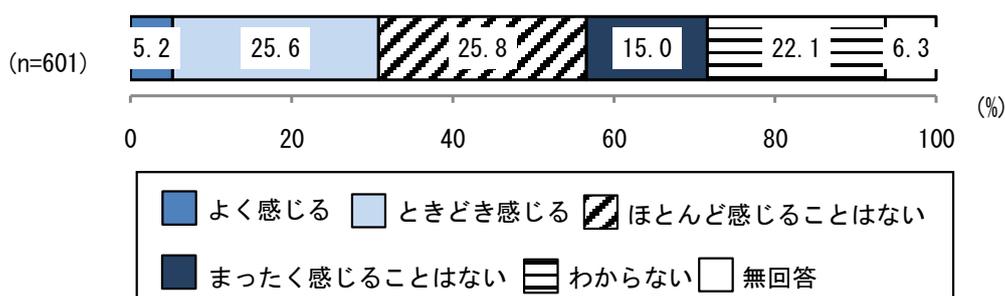
※集計対象はサービス利用者

## 9 権利擁護について

### 9-1 差別や偏見の経験

問 32 あなたは、日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じたり、仲間はずれだと感じるがありますか。

差別や偏見の経験について、「感じる（よく感じる・ときどき感じる）」が30.8%となっています。一方で、「感じない（ほとんど感じることはない・まったく感じることはない）」が40.8%となりました。



障がい種別で見ると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は、「感じる（よく感じる・ときどき感じる）」が、他の障がいの人よりも高くなっています。

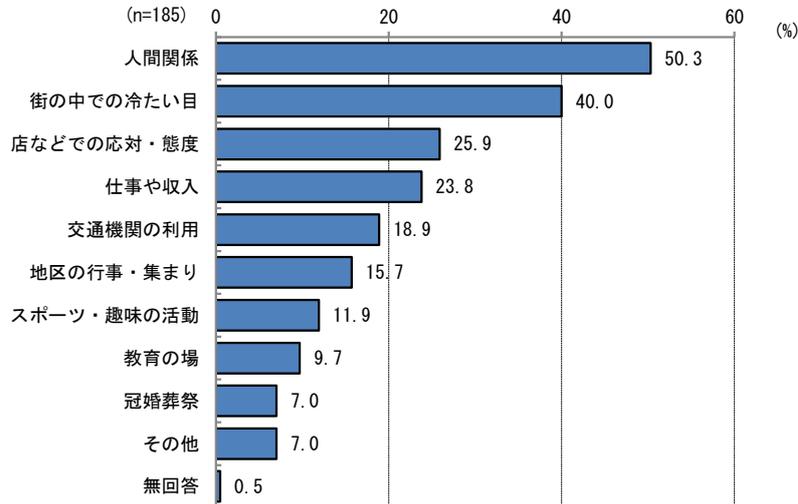
#### 【障がい種別】

	調査数	よく感じる	ときどき感じる	ほとんど感じることはない	まったく感じることはない	わからない	無回答
全体	601	5.2	25.6	25.8	15.0	22.1	6.3
身体障害者手帳所持者	317	5.0	24.6	29.3	17.4	18.0	5.7
療育手帳所持者	225	3.6	31.1	23.6	10.2	26.2	5.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	12.9	24.1	21.6	11.2	25.0	5.2
難病の認定あり	42	9.5	19.0	31.0	14.3	16.7	9.5
発達障害の診断あり	165	6.7	33.3	23.0	7.3	23.0	6.7
高次脳機能障害の診断あり	39	15.4	17.9	17.9	7.7	30.8	10.3
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3

### 9-1-1 差別や偏見を経験した場

問 32-1 どのような時に、差別や偏見、仲間はずれだと感じましたか。(問 32 で「よく感じる」「ときどき感じる」を選択した方のみ回答)

差別や偏見を経験した場としては、「人間関係」が 50.3% で最も高く、次いで「街の中での冷たい目」が 40.0% となっています。



#### 【その他内訳】

- ・自治会 ・A、B 型の職員 ・病院 ・家族の偏見 ・地区の一部の方のつめたい噂話、つめたい言葉
- ・差別した事を言われたり、聞かれることがある ・いじめ
- ・温度差があるので入れなかったり、笑わせようとしていないのに面白がられてしまう
- ・どこに出かけてもじろじろと見られる ・障がい者に関する保険金

障がい種別で見ると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』と『難病の認定あり』、『発達障害の診断あり』、『高次脳機能障害の診断あり』の人は、「人間関係」、『身体障害者保健福祉手帳所持者』と『療育手帳所持者』は「街の中での冷たい目」が他の障がいの人より高くなっています。

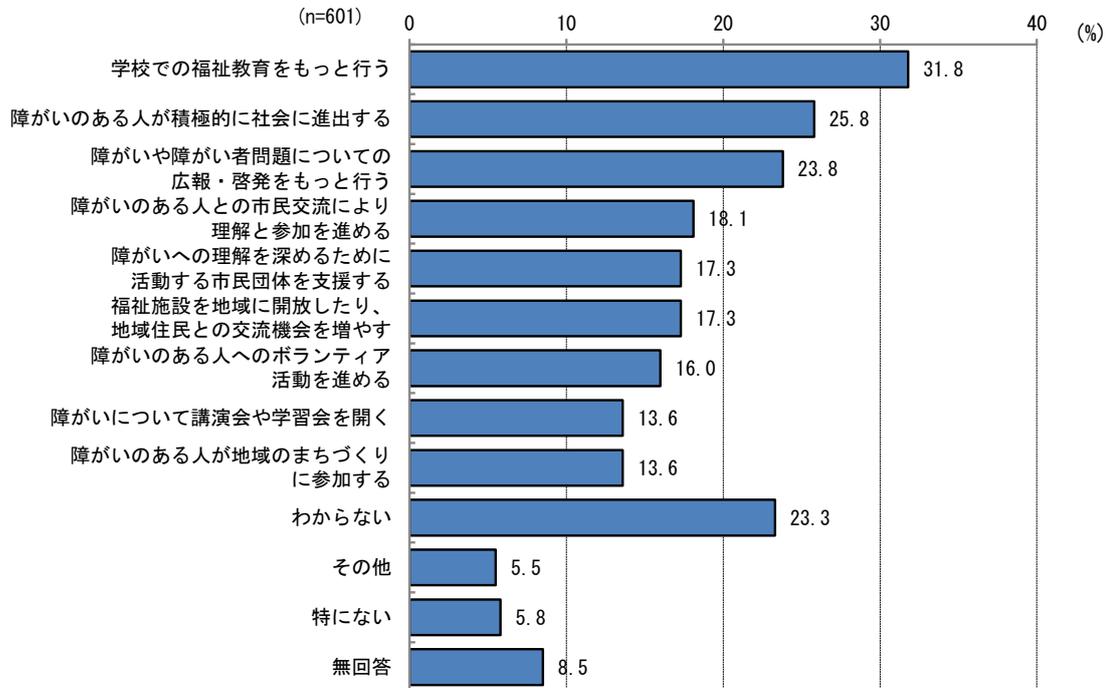
#### 【障がい種別】

	調査数	人間関係	冷街 たの い中 目で の	店 対 な ど 態 度 の	仕 事 や 収 入	利 交 用 通 機 関 の	集 地 ま 区 の 行 事 ・	趣 ス 味 ポ の 活 動 ・	教 育 の 場	冠 婚 葬 祭	そ の 他	無 回 答
全体	185	50.3	40.0	25.9	23.8	18.9	15.7	11.9	9.7	7.0	7.0	0.5
身体障害者手帳所持者	94	40.4	46.8	27.7	23.4	24.5	14.9	17.0	8.5	9.6	6.4	1.1
療育手帳所持者	78	44.9	48.7	28.2	9.0	17.9	19.2	6.4	15.4	12.8	6.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	43	76.7	23.3	23.3	39.5	14.0	16.3	4.7	4.7	4.7	9.3	0.0
難病の認定あり	12	66.7	41.7	41.7	16.7	33.3	8.3	33.3	25.0	8.3	25.0	0.0
発達障害の診断あり	66	60.6	34.8	25.8	18.2	13.6	13.6	9.1	16.7	6.1	7.6	0.0
高次脳機能障害の診断あり	13	69.2	38.5	38.5	30.8	38.5	15.4	15.4	30.8	0.0	0.0	0.0

## 9-2 市民の理解促進に必要なこと

問 33 市民が障がいのある人への理解を深めるためには、何が必要だと考えますか。

障がいのある人への市民の理解促進に必要なことは、「学校での福祉教育をもっと行う」が31.8%で最も高く、次いで「障がいのある人が積極的に社会に進出する」が25.8%、「障がいや障がい者問題についての広報・啓発をもっと行う」が23.8%となっています。



### 【その他内訳】〈理解〉

- ・目に見えない障がいは理解されにくい(例えば難聴者だとお喋りできないと思っている人が多々いる)ので、先天性と後天性の違いなども知っていてほしい
- ・様々な障がいについての知識、及び具体的なことを市民が知るべきだ
- ・自分も障がい者になる可能性を有することへの理解
- ・ボランティア精神のある方以外に自分の時間を使って理解してもらうには、それなりの利益や見返りがないと難しいと思う、皆自分の生活で手一杯ではないか
- ・本当は何をしても変わらないと絶望している
- ・理解しようと思ってくれないと、こちら側や社会が働きかけても無理だと思う

### 【その他内訳】〈教育〉

- ・大人への教育が必要、親から教えられて育ってない大人の子どものいじめや嫌がらせが多い、学校だけでは無理
- ・学習と経験
- ・学校での教育の充実が必要(福祉に特化しなくてよい)
- ・困っている人を見ると助ける、知らない顔、見ないふりをしない教育
- ・すべての社会人に福祉教育をもっと行うは必須

【その他内訳】〈上記以外〉

- ・「障がいのある人」という言葉をなくすこと ・今まで市に相談した何もなかった
- ・障がい者の集まりの中に健常者にきてもらうのではなく、健常者の集まりの中に入っていき気持ちを  
持つ
- ・周囲の人や親が障がいを理由に過保護にしたり、無理だと決めつけて障がい者が何かを始めること  
を止めない
- ・小中学生からの交流が必要と思う、自主性が大事
- ・今迄なるべく目立たない様にしてきたので自分達はこれで良かったと思っている、障がいがあっても  
本人なりに頑張っていると思う
- ・重度の人のデイサービスを増やしてほしい ・障がい者枠への雇用が少なすぎる
- ・障がいのある人が地域のまちづくりに参加しなくていい様にしてほしい
- ・障がいのある人が普通に溶け込むまちづくり ・尊敬する心
- ・精神的な障がいの場合、コミュニケーションができなくて辛い等の気持ちの問題なので、理解しても  
らうのは不可能、気持ちはいくら言っても当事者同士しかわからない
- ・立場を利用したハラスメントを気軽に相談できる窓口が欲しい
- ・人に会いたくない、会えない、こわい

障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「学校での福祉教育をもっと行う」が他の障がいの人より高くなっています。

【障がい種別】

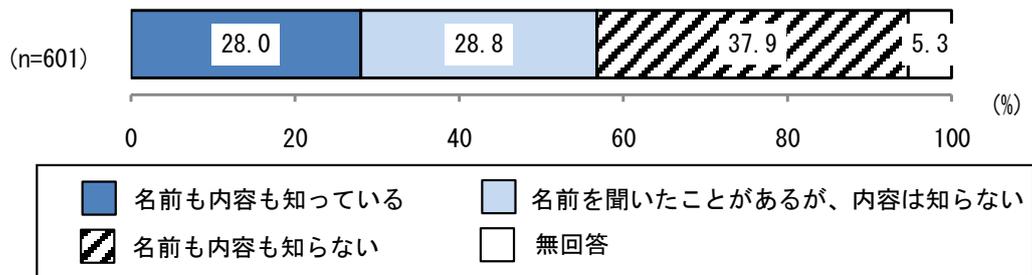
(%)

	調査数	学校での福祉教育をもっと行う	障がいの進出する人が積極的に社会に	障がいの広報・啓発者問題について	障がいの理解のある人との市民交流	障がいの活動への理解を深めるため	障がいの活動への理解を深めるため	障がいの活動への理解を深めるため	障がいの活動への理解を深めるため
全体	601	31.8	25.8	23.8	18.1	17.3	17.3	16.0	
身体障害者手帳所持者	317	30.9	24.6	25.2	20.8	15.1	18.3	17.4	
療育手帳所持者	225	41.8	29.3	24.4	21.8	22.2	22.7	18.2	
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	21.6	25.9	22.4	13.8	15.5	11.2	17.2	
難病の認定あり	42	21.4	19.0	23.8	16.7	9.5	21.4	19.0	
発達障害の診断あり	165	44.8	32.7	26.7	19.4	20.6	22.4	17.0	
高次脳機能障害の診断あり	39	35.9	17.9	28.2	20.5	23.1	12.8	15.4	
医療的ケアを受けている	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	
	調査数	会障がいを開くについて講演会や学習	障がいの参加する人が地域のまち	わからない	その他	特にな	無回答		
全体	601	13.6	13.6	23.3	5.5	5.8	8.5		
身体障害者手帳所持者	317	14.5	13.6	23.0	4.7	6.6	6.9		
療育手帳所持者	225	14.7	15.6	20.9	3.1	3.6	7.1		
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	12.9	12.1	27.6	10.3	6.9	9.5		
難病の認定あり	42	16.7	23.8	28.6	11.9	2.4	11.9		
発達障害の診断あり	165	15.8	15.2	21.2	3.6	1.8	7.3		
高次脳機能障害の診断あり	39	7.7	10.3	17.9	7.7	0.0	12.8		
医療的ケアを受けている	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3		

### 9-3 成年後見制度の認知度

問 34 あなたは、成年後見制度について知っていますか。

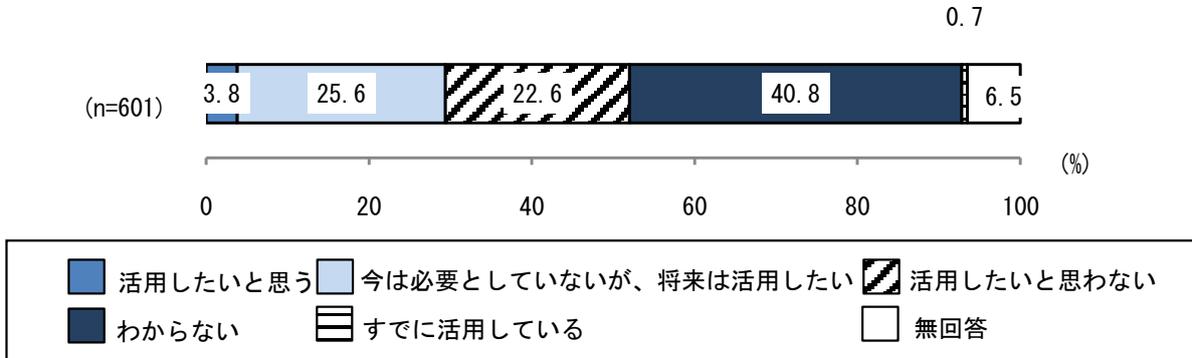
成年後見制度の認知度について、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が28.8%で、「名前も内容も知っている」が28.0%となっており、5割を超える人が制度の名前を知っていると回答しています。



## 9-4 成年後見制度の活用希望

問 35 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。

成年後見制度について、「今は必要としていないが、将来は活用したい」が25.6%で最も高くなっています。



障がい種別で見ると、障がいに関わらず「わからない」が高くなっていますが、『高次脳機能障害の診断あり』、『発達障害の診断あり』、『療育手帳所持者』の人は「今は必要としていないが、将来は活用したい」が3割以上となっています。

### 【障がい種別】

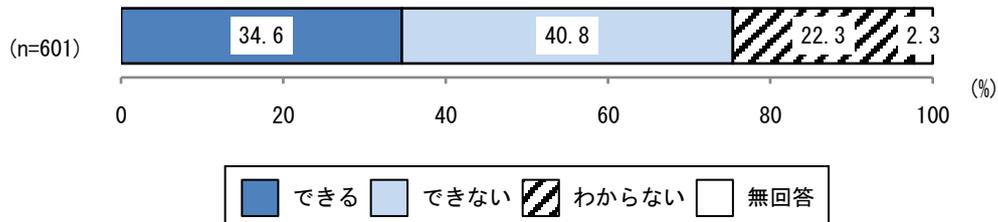
	調査数	活用したいと思う (%)	今は必要としていないが、将来は活用したい (%)	活用したいと思わない (%)	わからない (%)	すでに活用している (%)	無回答 (%)
全体	601	3.8	25.6	22.6	40.8	0.7	6.5
身体障害者手帳所持者	317	3.5	22.7	27.8	37.9	0.9	7.3
療育手帳所持者	225	6.2	31.1	13.8	44.0	0.9	4.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	3.4	23.3	23.3	43.1	1.7	5.2
難病の認定あり	42	4.8	21.4	21.4	45.2	2.4	4.8
発達障害の診断あり	165	6.1	32.1	15.2	44.2	0.0	2.4
高次脳機能障害の診断あり	39	0.0	33.3	20.5	35.9	0.0	10.3
医療的ケアを受けている	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0

## 10 災害時の避難等について

### 10-1 災害時の避難可否

問 36 あなたは、台風や地震等の災害時に一人で避難できますか。

災害時に一人で避難可否について、「できる」は34.6%、「できない」は40.8%となっています。



障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『難病の認定あり』、『高次脳機能障害の診断あり』、『発達障害の診断あり』の人は「できない」が他の障がいの人より高くなっています。

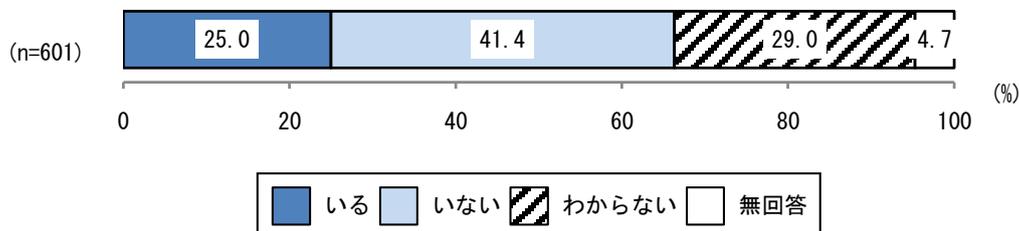
#### 【障がい種別】

	調査数	できる (%)	できない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	601	34.6	40.8	22.3	2.3
身体障害者手帳所持者	317	41.6	42.6	13.6	2.2
療育手帳所持者	225	14.7	58.2	26.2	0.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	37.1	27.6	31.0	4.3
難病の認定あり	42	33.3	47.6	16.7	2.4
発達障害の診断あり	165	15.8	52.1	30.3	1.8
高次脳機能障害の診断あり	39	23.1	51.3	23.1	2.6
医療的ケアを受けている	3	0.0	100.0	0.0	0.0

## 10-2 災害時に助けてくれる人の有無

問 37 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、災害時に助けてくれる近所の人の有無は、「いる」が 25.0%、「いない」が 41.4%となっています。



障がい種別で見ると、『精神障害者手帳所持者』と『難病の認定あり』の人は「いない」が他の障がいの人より高くなっています。

### 【障がい種別】

	調査数	いる (%)	いない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	601	25.0	41.4	29.0	4.7
身体障害者手帳所持者	317	28.7	38.5	28.1	4.7
療育手帳所持者	225	20.9	42.7	33.8	2.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	17.2	56.0	21.6	5.2
難病の認定あり	42	31.0	50.0	16.7	2.4
発達障害の診断あり	165	23.6	43.0	31.5	1.8
高次脳機能障害の診断あり	39	15.4	41.0	35.9	7.7
医療的ケアを受けている	3	66.7	33.3	0.0	0.0

問 36 及び問 37 から、災害時の自分での避難と、助けてくれる人の有無を併せて確認すると、「一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいない」人は 22.0%でした。

【一人で避難の可否と助けてくれる人の有無】

(%)

		家族が不在の場合や一人暮らしの場合、 近所にあなたを助けてくれる人の有無				
		調査数	いる	いない	わからない	無回答
台風や地震等の 災害時に一人で 避難できるか	一人で避難できる	208	13.3	10.8	9.2	1.3
	一人で避難できない	245	7.5	22.0	10.5	0.8
	一人で避難できるかわからない	134	4.2	8.5	9.3	0.3
	無回答	14	0.0	0.2	0.0	2.2

障がい種別で見ると、『医療的ケアを受けている』と『療育手帳所持者』の人が特に、「一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいない」が高くなっています。

【障がい種別】

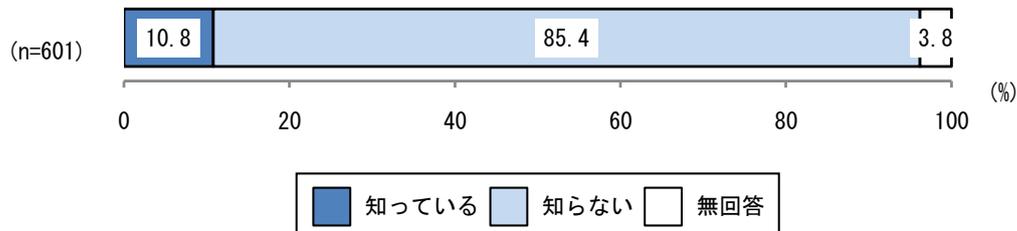
(%)

	調査数	一人で避難でき、近所に助けてくれる人もいる	一人で避難できるが、近所に助けてくれる人がいない	一人で避難できるが、近所に助けてくれる人がいるかはわからない	一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいる	一人で避難できないが、近所に助けてくれる人もいない
全体	601	13.3	10.8	9.2	7.5	22.0
身体障害者手帳所持者	317	17.4	10.7	12.3	7.9	22.1
療育手帳所持者	225	5.8	3.6	4.4	10.2	32.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	10.3	19.0	6.9	4.3	17.2
難病の認定あり	42	16.7	14.3	2.4	9.5	28.6
発達障害の診断あり	165	5.5	4.8	5.5	10.9	29.7
高次脳機能障害の診断あり	39	5.1	7.7	5.1	7.7	23.1
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	調査数	ない人が近所で避難できず、近所の人に助けを求められない	一人で避難できず、近所に助けてくれる人がいない	一人で避難できず、近所に助けてくれる人がいるかはわからない	一人で避難できず、近所に助けてくれる人もいない	無回答
全体	601	10.5	4.2	8.5	9.3	4.8
身体障害者手帳所持者	317	11.4	3.5	5.4	4.4	5.0
療育手帳所持者	225	14.7	4.9	6.2	14.7	2.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	6.0	2.6	19.8	8.6	5.2
難病の認定あり	42	9.5	4.8	7.1	4.8	2.4
発達障害の診断あり	165	11.5	7.3	8.5	14.5	1.8
高次脳機能障害の診断あり	39	20.5	2.6	10.3	10.3	7.7
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 10-3 避難行動要支援者制度の認知度

問 38 避難行動要支援者制度を知っていますか。

避難行動要支援者制度の認知度について、「知っている」が 10.8%、「知らない」が 85.4%となっています。



災害時の避難可否別で見ると、『一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいない』人で、避難行動要支援者制度を「知らない」が 87.1%となっています。

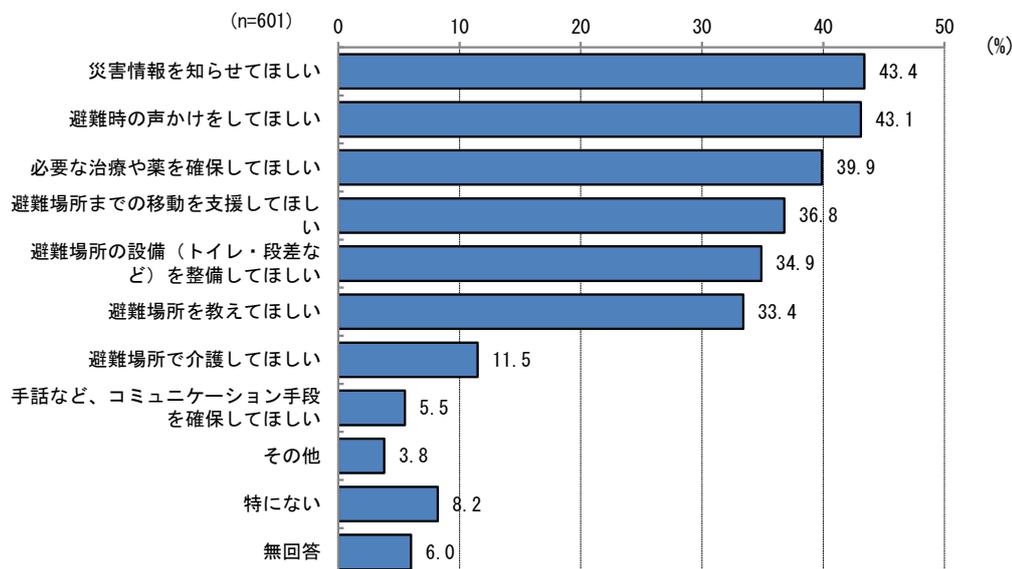
#### 【災害時の避難可否別】

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	601	10.8	85.4	3.8
一人で避難できて、近所に助けてくれる人もいる	80	11.3	87.5	1.3
一人で避難できるが、近所に助けてくれる人がいない	65	4.6	95.4	0.0
一人で避難できるが、近所に助けてくれる人がいるかはわからない	55	14.5	83.6	1.8
一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいる	45	26.7	73.3	0.0
一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいない	132	10.6	87.1	2.3
一人で避難できないが、近所に助けてくれる人がいるかはわからない	63	14.3	85.7	0.0
一人で避難できるかわからず、近所に助けてくれる人はいる	25	8.0	92.0	0.0
一人で避難できるかわからず、近所に助けてくれる人はいない	51	5.9	94.1	0.0
一人で避難できるかわからず、近所に助けてくれる人がいるかもわからない	56	5.4	94.6	0.0

## 10-4 災害時に支援してほしいこと

問 39 あなたが、災害が起きた時に支援してほしいことは、何ですか。

災害時に支援してほしいことは、「災害情報を知らせてほしい」が43.4%で最も高く、次いで「避難時の声かけをしてほしい」が43.1%、「必要な治療や薬を確保してほしい」が39.9%となっています。



### 【その他内訳】〈配慮〉

- ・福祉避難所を開放してほしい、増やしてほしい
- ・障がい者は避難場所で他の方と同様にはできないので場所の配慮、確保等がほしい
- ・人の目も気になり家族で車で過ごしたいのでそのスペースを確保して欲しい
- ・経験のない者でもパニックになることなく避難できるか気になる
- ・1人の場合は特に、災害情報、避難場所、避難時の声かけ、避難場所までの移動の支援、避難場所での介護をお願いしたい
- ・どのような様子か具体的に教えてください

### 【その他内訳】〈上記以外〉

- ・家族など遠方の人との連絡手段 ・食事(人工透析患者への配慮等) ・透析の情報がほしい
- ・聴力障がいの為、緊急時に困ったり生死にかかわると感じている
- ・現在施設に入所しているので安心している
- ・出来たら1人で車の中にいたい、人と接するのが怖い、人混みは怖い
- ・避難しなくてもそっとしておいてほしい ・今は特にいない

障がい種別で見ると、「避難時の声かけをしてほしい」は『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の回答率が高く、「必要な治療や薬を確保してほしい」は『精神障害者保健福祉手帳』と『難病の認定あり』の人の回答率が高く、「避難場所の設備（トイレ・段差など）を整備してほしい」は『身体障害者手帳所持者』と『難病の認定あり』の人の回答率が高くなっています。

【障がい種別】

(%)

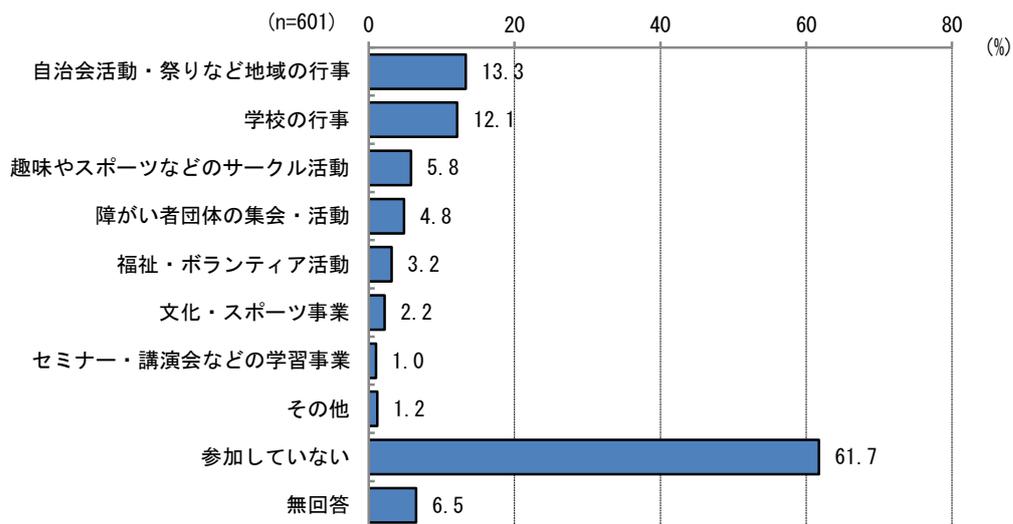
	調査数	災害情報を知らせてほしい	避難時の声かけをしてほしい	必要な治療や薬を確保してほしい	避難場所まで移動を支援してほしい	避難場所の設備（トイレ・段差など）を整備してほしい	避難場所を教えてください
全体	601	43.4	43.1	39.9	36.8	34.9	33.4
身体障害者手帳所持者	317	41.6	35.6	42.0	40.4	41.6	27.8
療育手帳所持者	225	44.0	56.9	30.7	44.9	35.1	39.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	48.3	39.7	56.9	31.9	31.9	35.3
難病の認定あり	42	33.3	33.3	57.1	50.0	52.4	28.6
発達障害の診断あり	165	44.8	56.4	34.5	41.2	33.9	38.8
高次脳機能障害の診断あり	39	41.0	41.0	35.9	48.7	38.5	28.2
医療的ケアを受けている	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	調査数	避難場所で介護してほしい	二hand確保し、手すりなど設置してほしい	その他	特になし	無回答	
全体	601	11.5	5.5	3.8	8.2	6.0	
身体障害者手帳所持者	317	13.6	6.0	3.5	8.2	5.4	
療育手帳所持者	225	16.4	6.7	5.3	5.3	4.0	
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	8.6	2.6	4.3	9.5	7.8	
難病の認定あり	42	21.4	2.4	2.4	7.1	2.4	
発達障害の診断あり	165	14.5	7.3	4.2	5.5	4.2	
高次脳機能障害の診断あり	39	20.5	10.3	0.0	5.1	5.1	
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	

## 11 地域の行事や活動への参加について

### 11-1 地域の行事や活動への参加状況

問 40 最近1年間、あなたは地域の行事や活動に参加しましたか。

地域の行事や活動への参加状況について、「自治会活動・祭りなど地域の行事」が13.3%、「学校の行事」が12.1%となっています。



#### 【その他内訳】

・子育て支援関係の行事 ・施設のイベントに参加 ・清掃

障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「学校の行事」に参加しており、他の障がいの人に比べて「参加していない」が低くなっています。

【障がい種別】

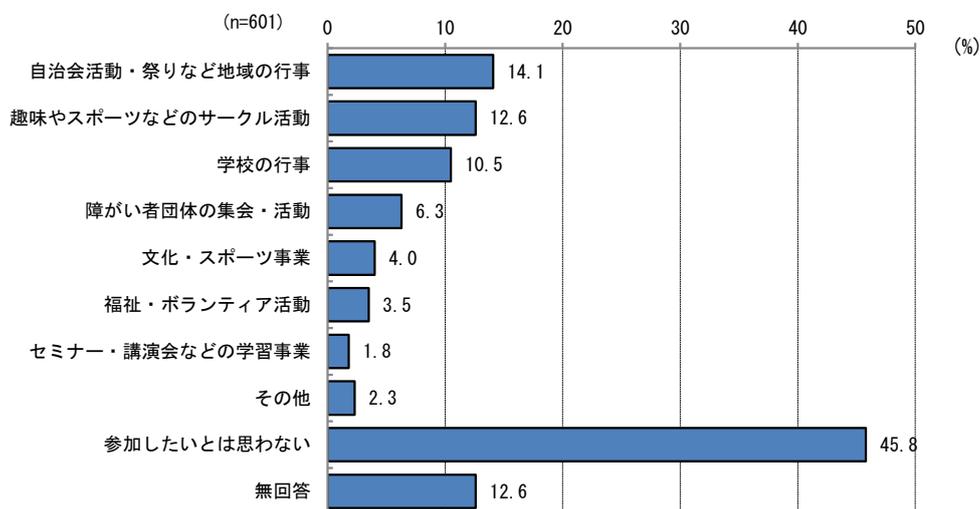
(%)

	調査数	業文化・スポーツ事	なセミなどの学習・講演会	会障がい者団体の集	など自治会活動の行・祭り	ど趣味のサークル活動な
全体	601	2.2	1.0	4.8	13.3	5.8
身体障害者手帳所持者	317	1.9	0.9	6.3	12.6	5.0
療育手帳所持者	225	1.8	1.8	6.7	16.9	7.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	2.6	0.0	1.7	3.4	4.3
難病の認定あり	42	0.0	0.0	7.1	2.4	0.0
発達障害の診断あり	165	1.2	1.2	4.2	15.2	6.7
高次脳機能障害の診断あり	39	0.0	0.0	10.3	5.1	2.6
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	調査数	学校の行事	ア福祉活動・ボランティア	その他	参加していない	無回答
全体	601	12.1	3.2	1.2	61.7	6.5
身体障害者手帳所持者	317	8.5	2.2	0.9	65.3	6.3
療育手帳所持者	225	24.9	4.9	0.4	47.6	6.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	0.9	0.9	2.6	79.3	6.0
難病の認定あり	42	7.1	2.4	0.0	71.4	14.3
発達障害の診断あり	165	29.7	3.0	0.0	50.3	6.7
高次脳機能障害の診断あり	39	5.1	5.1	0.0	76.9	2.6
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

## 11-2 地域の行事や活動への参加意向

問 41 また、今後、あなたはどのような地域の行事に参加したいですか。

地域の行事や活動への参加意向は「自治会活動・祭りなど地域の行事」が最も高く 14.1%、次いで「趣味やスポーツなどのサークル活動」が 12.6%、「学校の行事」が 10.5%となっています。



### 【その他内訳】

- ・グループホーム、施設での行事参加
- ・子ども園や子育て支援関係の行事
- ・体調悪い事が多く参加できない
- ・出来ないことが多い
- ・何が出来るか分からない

障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は、他の障がいの人に比べて「参加したいと思わない」が低く、「学校の行事」や「自治会活動・祭りなど地域の行事」などへの参加を希望する人が多くなっています。

【障がい種別】

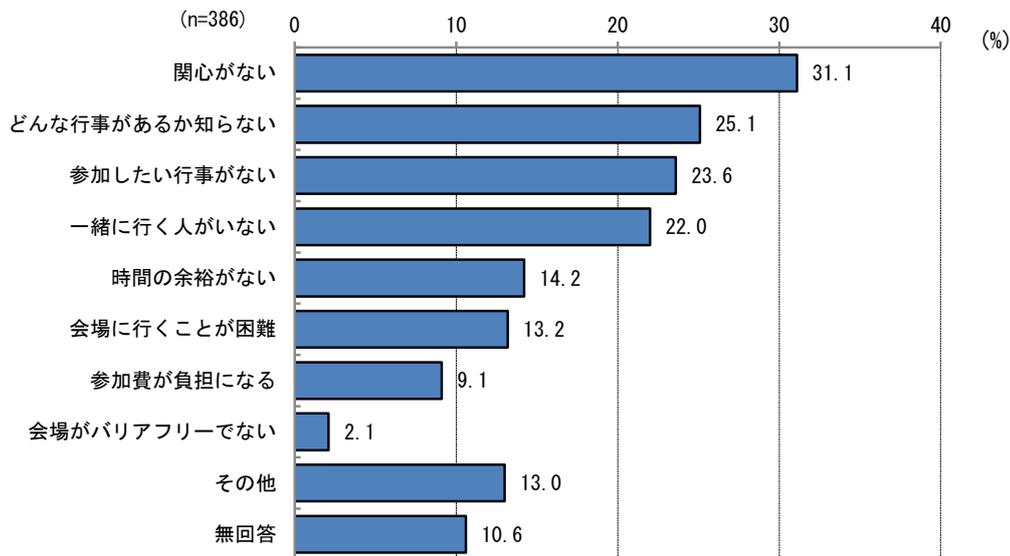
(%)

	調査数	の祭り自治会など活動地域・	クツ趣味などのサポート	学校の行事	の障がい者団体	ツ文化・スポーツ
全体	601	14.1	12.6	10.5	6.3	4.0
身体障害者手帳所持者	317	13.9	14.5	7.3	6.6	4.7
療育手帳所持者	225	20.0	10.7	20.4	7.1	4.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	6.0	11.2	1.7	6.9	4.3
難病の認定あり	42	14.3	9.5	4.8	9.5	2.4
発達障害の診断あり	165	18.8	11.5	25.5	5.5	1.8
高次脳機能障害の診断あり	39	5.1	12.8	10.3	17.9	0.0
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	調査数	テ福イ社ア・活動ラン	その他	習演セ 事会ミ 業なナ のの・学講	は参 思加 わし な たい いと	無 回 答
全体	601	3.5	2.3	1.8	45.8	12.6
身体障害者手帳所持者	317	2.5	1.9	2.5	47.3	12.0
療育手帳所持者	225	4.4	1.8	2.2	32.9	14.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	4.3	3.4	0.0	62.1	10.3
難病の認定あり	42	0.0	0.0	2.4	57.1	16.7
発達障害の診断あり	165	1.8	1.2	2.4	35.2	13.3
高次脳機能障害の診断あり	39	2.6	2.6	2.6	48.7	10.3
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

### 11-2-1 地域の行事や活動への参加意向の理由

問 41-1 その理由は何ですか。(問 40 で「参加していない」、問 41 で「参加したいと思わない」のどちらか1つでも選択した方のみ回答)

地域の行事や活動に対して、「関心がない」が31.1%で最も高く、「どんな行事があるか知らない」が25.1%、「参加したい行事がない」が23.6%となっています。



#### 【その他内訳】〈他人との関わり〉

・他人との関わりができない ・雰囲気になじめない ・他の人の目が気になる

#### 【その他内訳】〈体調〉

・体調の不安 ・体力がない

#### 【その他内訳】〈差別〉

・差別等がこわい ・冷たい目で見られるあの空気が嫌

#### 【その他内訳】〈上記以外〉

・行けない ・基本行きたくない ・新型コロナウイルス ・地域の人間性を良く思っていない  
 ・精神的な負担が大きすぎる ・参加したいが自力では無理 ・高齢の為  
 ・施設に入所している ・寝たきりで会話もほとんど成りたたないので  
 ・施設のイベントで手がいっぱいである ・付き添い者の負担が大きい  
 ・地域外で趣味のつながりがある ・機会がない

障がい種別で見ると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「関心がない」が他の障がいの人に比べて高くなっています。また、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「一緒に行く人がいない」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

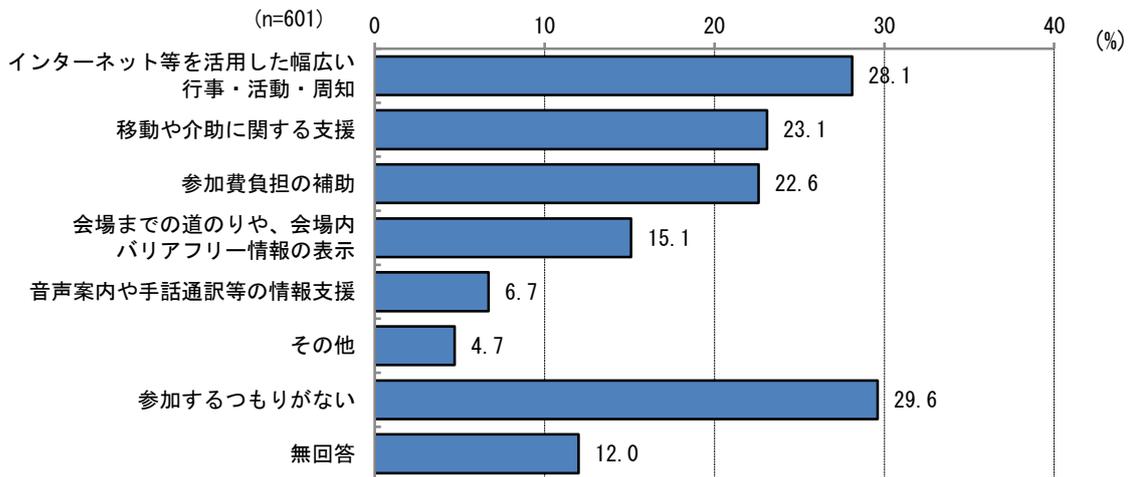
【障がい種別】

							(%)
	調査数	関心がない	いあど るん かな 知行 ら事 なが	事参 が加 ない たい 行	がー い緒 ない 行く 人	な時 間の 余裕 が	
全体	386	31.1	25.1	23.6	22.0	14.2	
身体障害者手帳所持者	215	27.9	22.8	20.9	19.1	19.5	
療育手帳所持者	110	26.4	26.4	30.0	28.2	7.3	
精神障害者保健福祉手帳所持者	95	38.9	29.5	26.3	21.1	7.4	
難病の認定あり	30	36.7	30.0	30.0	16.7	20.0	
発達障害の診断あり	84	28.6	27.4	28.6	31.0	8.3	
高次脳機能障害の診断あり	31	29.0	22.6	6.5	25.8	6.5	
医療的ケアを受けている	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	
	調査数	こ会 と場 がに 困行 難く	担参 に加 な費 るが 負	なア会 いフ場 りが ーバ でり	そ の 他	無 回 答	
全体	386	13.2	9.1	2.1	13.0	10.6	
身体障害者手帳所持者	215	15.3	7.0	2.3	10.7	9.8	
療育手帳所持者	110	12.7	9.1	1.8	12.7	12.7	
精神障害者保健福祉手帳所持者	95	11.6	13.7	1.1	21.1	11.6	
難病の認定あり	30	33.3	13.3	6.7	13.3	0.0	
発達障害の診断あり	84	14.3	11.9	2.4	11.9	10.7	
高次脳機能障害の診断あり	31	22.6	0.0	0.0	9.7	16.1	
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	

### 11-3 地域の行事や活動へ参加しやすくなる取組

問 42 どんな取組があれば参加しやすいと思いますか。

地域の行事や活動へ参加しやすくなる取組については、「インターネット等を活用した幅広い行事・活動・周知」が28.1%で最も高く、「移動や介助に関する支援」が23.1%、「参加費負担の補助」が22.6%となっています。



#### 【その他内訳】〈行事や活動内容〉

- ・好きな人のコンサート ・オンラインで参加できるようにしてほしい
- ・絵画クラブ、油絵があれば ・社協フェア等タイミングが合えば参加したい

#### 【その他内訳】〈取組〉

- ・支援員と一緒にいく ・自家用車で移動支援の利用を可能にしてほしい
- ・周囲の方の理解 ・地域からの声かけ ・内容を分かりやすく理解できるようにしてほしい
- ・情報提供と具体的な支援

#### 【その他内訳】〈上記以外〉

- ・自分自身の体力と時間があれば ・決まった時間に行けない ・コミュニケーションが苦手
- ・時々しんどくなるので ・参加できない ・わからない

障がい種別で見ると、『療育手帳所持者』と『発達障害の診断あり』の人は「インターネット等を活用した幅広い行事・活動・周知」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

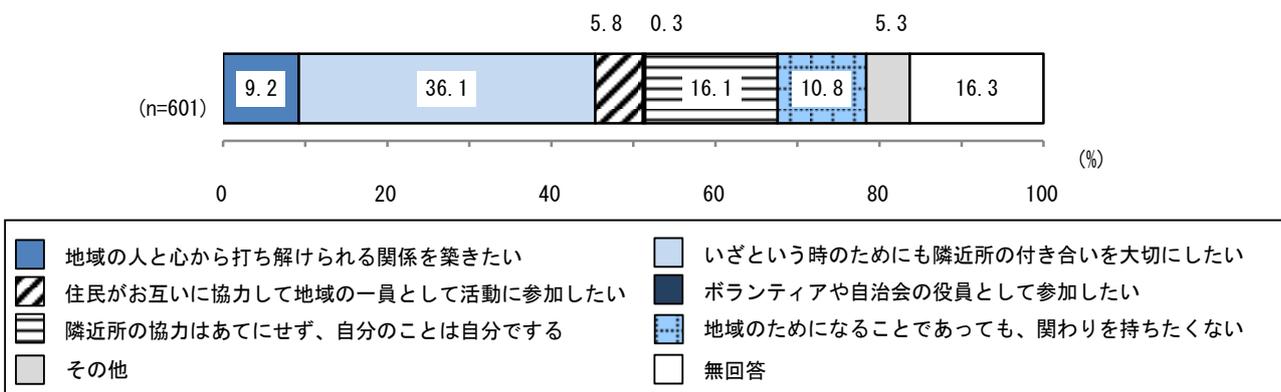
(%)

	調査数	幅広いインターネット等を活用した	移動や介助に関する支援	参加費負担の補助	会場までの道のりや、会場内	音声案内や手話通訳等の情報	その他	参加するつもりがない	無回答
全体	601	28.1	23.1	22.6	15.1	6.7	4.7	29.6	12.0
身体障害者手帳所持者	317	27.8	26.2	18.9	18.0	6.3	3.8	29.0	12.3
療育手帳所持者	225	31.6	29.3	24.0	14.2	6.2	4.4	23.1	13.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	21.6	13.8	25.9	11.2	6.9	9.5	37.9	9.5
難病の認定あり	42	23.8	26.2	14.3	21.4	4.8	0.0	40.5	19.0
発達障害の診断あり	165	37.6	25.5	24.2	12.7	6.7	4.8	21.8	10.9
高次脳機能障害の診断あり	39	15.4	28.2	20.5	20.5	5.1	7.7	33.3	12.8
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

11-4 地域との関わり方

問 43 あなたは、地域との関わりに対してどのようにお考えですか。

地域との関わり方についての考え方として、「いざという時のためにも隣近所の付き合いを大切にしたい」が36.1%と最も高くなっています。



### 【その他内訳】

- ・住民がお互いに協力して、どんな災難や留守にも声かけできる場になってほしい
- ・地域のためになるのであれば参加できるように努力したい ・施設入所の為まかせている
- ・まわりは 70 歳以上が多い自治会になってしまっている
- ・1 人で動けないのでしたくてもできない ・体調の不安 ・つかず離れずの距離がよい
- ・人と関われない ・あいさつ以上のことはしたくない ・心ない噂の種にされたくない
- ・意欲がない ・今のままでよい ・参加していない ・できない ・分からない

障がい種別で見ると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「隣近所の協力はあてにせず、自分のことは自分でする」、「地域のためになることであっても、関わりを持ちたくない」、が他の障がいの人に比べて高くなっています。

### 【障がい種別】

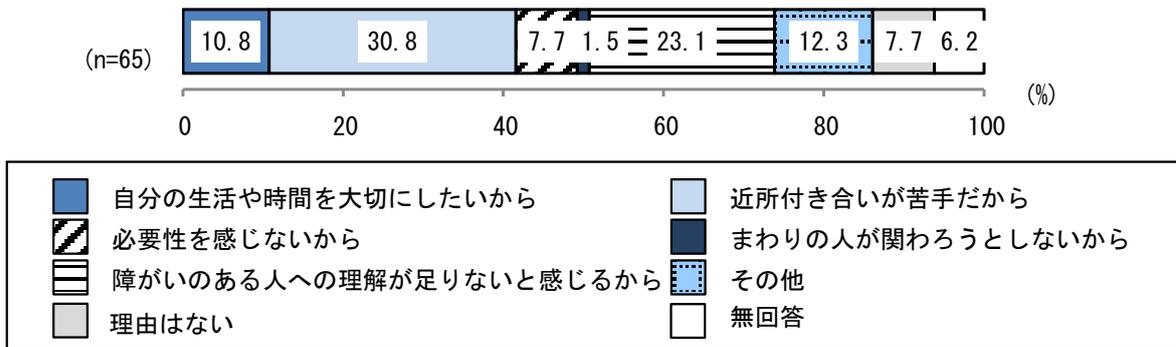
(%)

	調査数	付き合いたいという大切のために隣近所の	の隣近所は自分でするにあてにせず、自分の	も地域の関わりを持ちたくない	関係の築きたいから打ち解けられる	住民がお互いに協力して地域の	ボランティアや自治会の役員として	その他	無回答
全体	601	36.1	16.1	10.8	9.2	5.8	0.3	5.3	16.3
身体障害者手帳所持者	317	42.0	16.4	8.2	8.2	6.3	0.3	2.8	15.8
療育手帳所持者	225	39.1	11.6	11.1	9.8	4.0	0.0	5.8	18.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	21.6	20.7	20.7	9.5	6.0	0.9	11.2	9.5
難病の認定あり	42	40.5	16.7	11.9	2.4	4.8	0.0	2.4	21.4
発達障害の診断あり	165	37.0	12.7	13.3	9.1	3.6	0.0	6.1	18.2
高次脳機能障害の診断あり	39	38.5	12.8	10.3	10.3	10.3	0.0	2.6	15.4
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

### 11-4-1 地域との関わりを持ちたくない理由

問 43-1 地域との関わりを持ちたくないのはなぜですか。(問 43 で「地域のためになることであっても、関わりを持ちたくない」を選択した方のみ回答)

地域との関わりを持ちたくない理由として、「近所付き合いが苦手だから」が 30.8%と最も高くなっており、続いて「障がいのある人への理解が足りないと感じるから」も 23.1%となっています。



#### 【その他内訳】

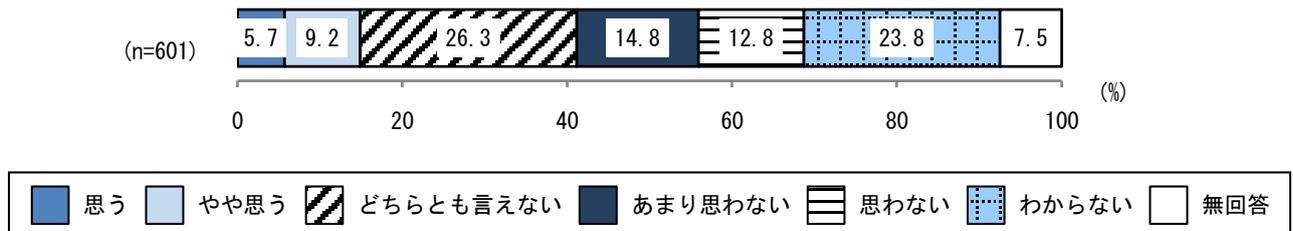
- ・相手によって接する態度を変える人が多いから
- ・自治会が信用できない
- ・常識が合わない、挨拶やマナーでも理解できないところがある
- ・地域との関わりに何をしたいかわからない
- ・内容はよいものも多くあるが若手意識があるため
- ・暴力等のトラブルに巻き込まれる可能性があるから
- ・幼少期に近隣の人から性暴力をうけ、向かいの人からは嫌がらせをうけていたのがトラウマ
- ・人に会えない、こわい
- ・関わりたくない

## 12 高砂市の障がい者施策について

### 12-1 障がいのある人にとっての高砂市の暮らしやすさ

問 44 あなたは、高砂市が障がいのある人にとって暮らしやすいと思いますか。

高砂市が障がいのある人にとって暮らしやすいかどうかについて、「暮らしやすい(思う・やや思う)」の合計が 14.9%なのに対し、「暮らしにくい(あまり思わない・思わない)」の合計が 27.6%となっています。



障がいの種類で回答に大きな傾向の違いはありません。

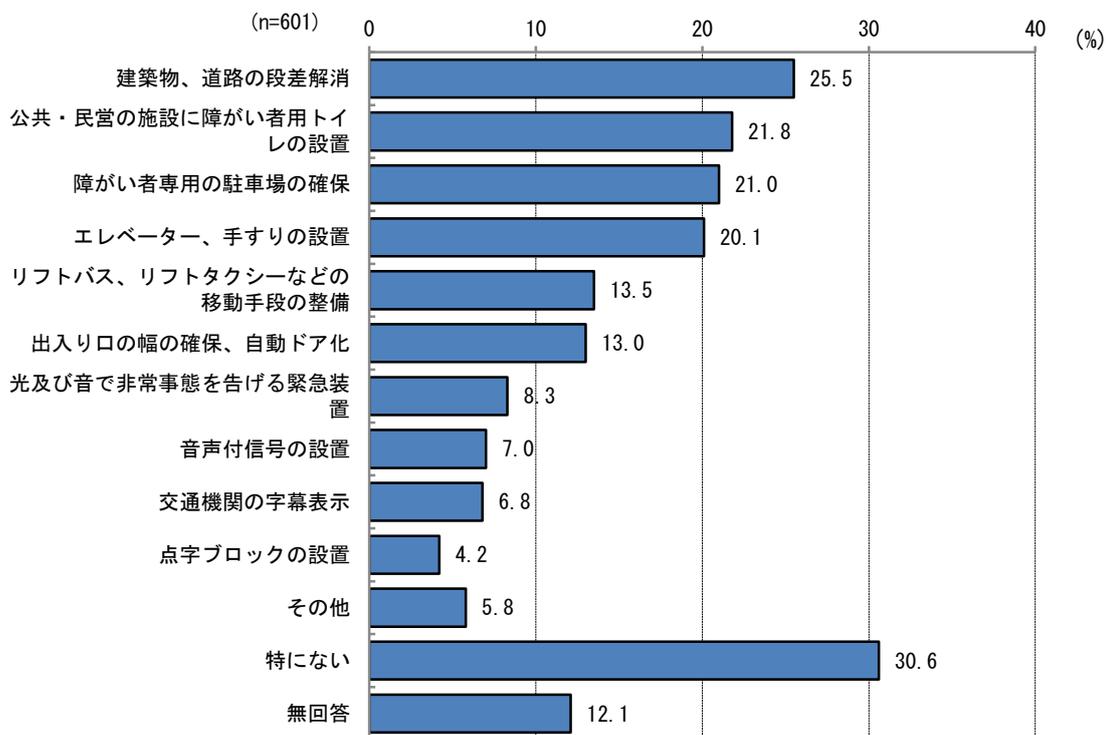
#### 【障がい種別】

	調査数	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
全体	601	5.7	9.2	26.3	14.8	12.8	23.8	7.5
身体障害者手帳所持者	317	5.7	7.6	29.7	13.6	14.5	21.5	7.6
療育手帳所持者	225	4.4	10.7	24.4	17.3	14.7	20.9	7.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	7.8	8.6	19.8	19.8	11.2	26.7	6.0
難病の認定あり	42	0.0	7.1	26.2	14.3	19.0	16.7	16.7
発達障害の診断あり	165	4.8	11.5	27.3	18.2	12.1	19.4	6.7
高次脳機能障害の診断あり	39	5.1	5.1	17.9	17.9	15.4	33.3	5.1
医療的ケアを受けている	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

## 12-2 必要な整備や援助

問 45 あなたの身の回りで、整備または援助を必要とするものは、何ですか。

身の回りで必要な整備や援助は、「建築物、道路の段差解消」が25.5%で最も高くなっています。また、「公共・民営の施設に障がい者用トイレの設置」が21.8%、「障がい者専用の駐車場の確保」が21.0%、「エレベーター、手すりの設置」が20.1%となっています。



### 【その他内訳】〈移動〉

- ・JR 曾根町への南からの経路 ・駅で無人時インターホンコミュニケーションができない
- ・音声案内により切符が買いにくいので、宝殿駅にみどりの窓口を再設置
- ・交通機関が少ない ・点字ブロックに厚みがあり段差となっている ・道路の幅が狭い
- ・相生橋に安全な歩道の設置 ・所々に椅子が欲しい

### 【その他内訳】〈費用〉

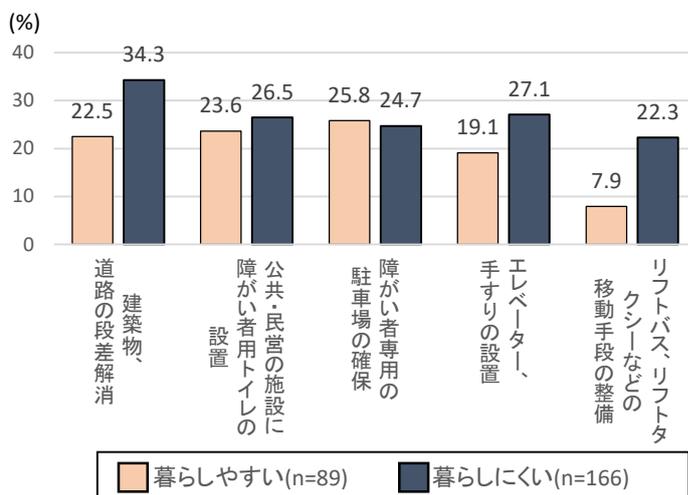
- ・病院代や生活費の支援

【その他内訳】〈上記以外〉

- ・通院の援助
- ・医療福祉センターが近くにほしい、医療型の入所やショートステイできる施設の建設
- ・エレベーターがあってもせまい、ストレッチャー式の車イスは乗れない
- ・障害福祉サービス事業所の充実 ・体を動かせる人の運動、体操や教室、場所
- ・体を動かせる人の運動、体操や教室、場所 ・高齢者の学習を促す活動が必要
- ・スーパー等の企業に対する障がい者へのサポート要請
- ・介護の人材育成など ・周囲の方の理解
- ・こわい思いや危ないと思った時の安心できる逃げ込める場所

問 44 で『暮らしにくい』と回答した人のうち、34.3%の人が「建築物、道路の段差解消」が必要と回答しています。

【暮らしやすさ別】



障がい種別で見ると、『身体障害者手帳所持者』の人は、「建築物、道路の段差解消」、「公共・民営の階段に障がい者用トイレの設置」、「障がい者専用の駐車場の確保」、「エレベーター、手すりの設置」が他の障がいの人に比べて高くなっています。

【障がい種別】

(%)

	調査数	建築物、道路の段差解消	公共・民営の施設	障がい者専用の駐車場の確保	エレベーター、手すりの設置	移動手段の整備	トリフトパス、のりばの整備	出入口の幅の確保	状態を告げる緊急装置	光及び音で非常事
全体	601	25.5	21.8	21.0	20.1	13.5	13.0	8.3		
身体障害者手帳所持者	317	33.8	28.1	29.3	27.1	18.0	15.5	9.8		
療育手帳所持者	225	24.0	19.1	15.6	15.1	12.0	13.3	6.7		
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	16.4	16.4	14.7	16.4	10.3	8.6	6.0		
難病の認定あり	42	28.6	28.6	31.0	38.1	23.8	21.4	7.1		
発達障害の診断あり	165	20.0	19.4	16.4	15.2	8.5	12.7	7.9		
高次脳機能障害の診断あり	39	38.5	30.8	17.9	30.8	20.5	25.6	12.8		
医療的ケアを受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		
	調査数	音声信号の設置	字幕表示の装置	交通機関の点字設置	その他	特にな	無回答			
全体	601	7.0	6.8	4.2	5.8	30.6	12.1			
身体障害者手帳所持者	317	7.3	5.4	5.0	3.8	19.2	11.0			
療育手帳所持者	225	5.8	8.9	3.1	5.8	34.7	12.4			
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	6.0	5.2	2.6	9.5	44.0	13.8			
難病の認定あり	42	9.5	2.4	0.0	4.8	11.9	14.3			
発達障害の診断あり	165	6.7	9.7	4.2	7.3	37.0	10.9			
高次脳機能障害の診断あり	39	0.0	10.3	2.6	5.1	23.1	12.8			
医療的ケアを受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0			

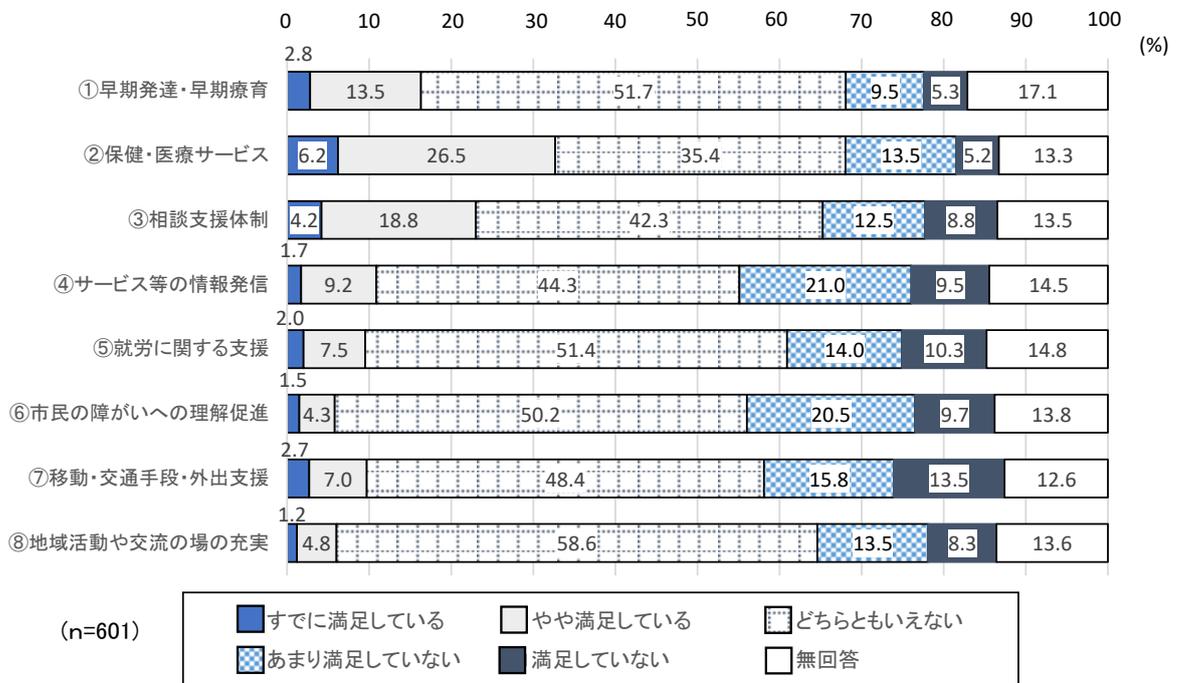
### 12-3 施策の満足度と重要度

問 46 あなたは、下記のそれぞれの項目について、現在ほどの程度満足していますか。また、重要と  
 思いますか。①～⑧の項目について「満足度」と「重要度」の両方を回答してください。

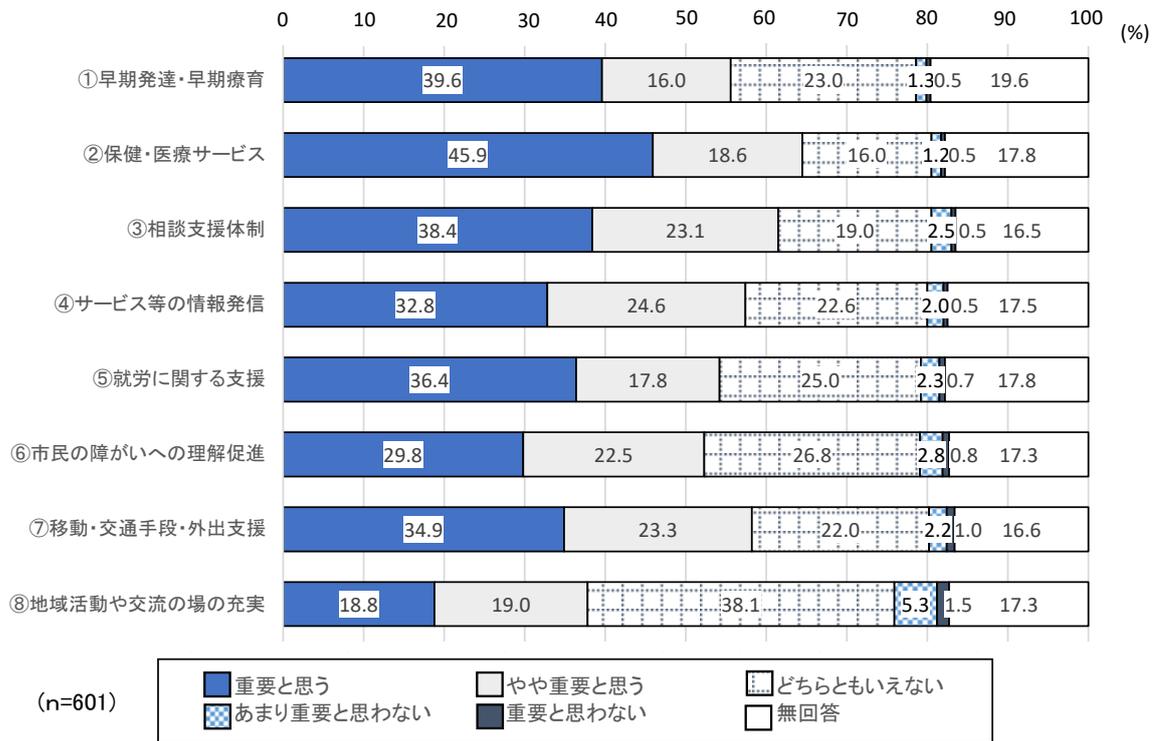
「満足（すでに満足している・やや満足している）」が高いのは、『②保健・医療サービス』であり、  
 「不満（あまり満足していない・満足していない）」が高いのは『④サービス等の情報発信』『⑥市民の  
 障がいへの理解促進』となっています。

「重要（重要と思う・やや重要と思う）」が高いのは、『②保健・医療サービス』であり、「重要（重要  
 と思う・やや重要と思う）」が低く「どちらともいえない」が高いのは『⑧地域活動や交流の場の充実』  
 となっています。

#### ■満足度



## ■重要度



## 13 自由記述

### 13-1 障がい福祉サービスや行政の取組への意見

問 47 障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

#### 福祉サービスについて（抜粋）

- ・高砂市は近隣（姫路市、加古川市、明石市、神戸市等）の市と比べて障がい福祉のサービスが大きく劣っていると思う。自治体の規模の差はあるかと思うが、精神障がい及び、その他の障がいの方が高砂市は住みやすい。十分なサポートを受けていると本心から対外に誇れるように、今一度障がい福祉のサービスを大きく改革していただきたい。市長も交代されたので期待している。
- ・グループホームを探している中、軽度、重度に適したものはあるが、中間がないように思う。重度の入所施設のような方で少し軽い人が利用できる入所施設はできないものか。軽度のグループホームではとても無理であり、重度の施設には入れてもらえない。
- ・高砂市に限ったことではないが、福祉サービスからこのような制度がある、という案内が無いため、自分で調べた情報に関しては申請できるが、調べきれないサービスは永遠に利用できない状態になり、申請しない本人が悪い、という姿勢が見られる。たとえばETCの補助の申請をした場合、付随して「駐車禁止除外ステッカー」や「ゆずりあい駐車場」の案内等があってもいいのではないかと。管轄が違っても案内くらいは誰でも出来ると思う。
- ・聴覚障がい者へのサービス向上もお願いしたい。
- ・障がい者の医療負担の無料化や、訓練施設を作ってもらいたい。
- ・現在どこも定員を超えているため、生活介護、肢体不自由者のショートステイの場所を増やしてほしい。
- ・3級の障害者手帳の人にも障害者医療券を発行してほしい。
- ・高砂には自閉症に特化しているあかりの家があるが知的向きの施設がない。現在、姫路・加古川と外の市の施設でショートと日中一時をお願いしている現状であるが、高砂でも日中一時、ショートが利用できる所が欲しい。
- ・高砂の生活介護施設「あすなろ」に見学に行ってもいっぱいであり、トイレも数が少なく、建て替えもまだされていないので何とかしてあげて欲しい。
- ・グループホームを何とか作って欲しい。
- ・言語のトレーニングに補助が出るのはありがたいサービスである。
- ・一人暮らしを考えているので、ヘルパーの利用時間を増してほしい。
- ・入所、支援等の、大きな障害者施設ができたらい。
- ・グループホームの拡充をお願いしたい。
- ・福祉サービスは高砂市の実状に合ったもの考えるべきと思う。地域により様子が異なるのでキメ細かな現場重視のサービスを工夫すべきである。
- ・手続き等が大変であり、本人参加できるものは少なく、結局同伴しなくてはいけないので、参加できない。以前移動支援をつかって、大阪へ遊びにつれていってもらったが、料金がかかり、本人の思いが伝わらないので、楽しめなかった。前もって色々な情報も伝え、随分気も使ってもらったようだが、駅までの送り迎えは家族だったので時間が気になり、1日中落ちつかなかった。気をつかわないで参加できるものがあればうれしい。
- ・サービスを受ける上での申請の仕方がわからず、たらい回しにされた。

- ・手続きが毎年同じでも、毎年同じ事をしなければならず、親が高齢になると余計に分からず困る。毎年同じならばそのまま変化したりかわった所だけ手続きするようにはできないか。
- ・近隣の市町村と比べて、サービス、取組が低い。
- ・申請から、サービスを受けるまでの待機が長すぎる。必要としている時に、サービスがすぐに受けられないのは、心身共に並々ならぬつらさ等があることを健常者は、もっと理解すべきだと思う。
- ・福祉サービスについて、こちらから動かないと知らない人が多いので、全てのサービスを詳しく教えてくれる専門の人が居たら嬉しい。
- ・ショートで利用出来る施設がほしい。
- ・我が家には小学生の障がい児がおり、両親共に正規で働いているが、放課後デイサービスを行う事業所には、本当にお世話になっている。しかし、高砂市では、1か月の上限が、15日となっており、両親共働きで、祖父母の支援が得られないため、毎月仕事の出勤の予定を組んだり、日中一時というサービスを取り入れ、何とか、やっている。高砂市内や、近隣の市では、日中一時サービスを受け入れてくれる所は少なくほぼなく、現在、無理を言って、1つの事業所が工面して下さっている。放課後デイサービスの事業所は、受け入れてくれる所は、まだ、数多くあるので、1か月の日数上限を15日から20日にしてもらいたく、そうでないと共働きを続けていくことに常に不安を感じている。充実したサービスを受けられるようになってほしい。
- ・年齢によって必要なこと、サービスが変化してくるので、それに合ったサービスを案内等してほしい。高砂市は就労施設や入居施設等が少ないので、もっと増やしてほしい。安心して預けられる学校卒業後の行き先をもっとしっかりと、整えてほしい。
- ・福祉の窓口の方がよく変わるので、相談しにくい雰囲気がある。10～20年前はもっと親身になって下さる方が多かったが、ここ数年の高砂市の福祉は全体的に悪くなってきているように思う。高砂市ならではの良い面をもっと出していただきたい。
- ・仕事をしていると放課後デイの利用日数の上限が15回では少ないと思うので、もう少し増やして欲しい。
- ・一時預りをしてくれる所がないので、長期の休みになると困り、兄弟等がいると、その用事で休みの日等に出かけたりしないといけない時に利用できる所がなく困る。
- ・自分を表現できる、障がい者用サークル等作って欲しい。スイミングも昔から行っていたが、一般のところだと力の差がありすぎて居づらくなる。
- ・引き続き障害福祉サービスへの充実した取組に期待している。
- ・施設に入所して1年になるが、身の回りの事だけでなく、もっと会話等身近に接してほしい。面会に行く度元気がないのがうかがえる。入所したらそれで終わりではなく、市からの応援、ボランティアの派遣等楽しく過ごせるようしてもらいたい。
- ・周囲の市町村と比べて、ほぼ同じようなサービスがうけられているという点では満足しているが、情報発信がないので、自分で調べて動かないといけない事も多い。市の人口が少ないので仕方がないかもしれないが、働ける場所やグループホームが今後増えていけば良いと思う。
- ・市や親(保護者)は、様々な福祉サービスを考えてくれるが、本人の気持ちや、どうなのかと思う。いくらよい施設でも、本人が幸せと感じることはむずかしいと思う。
- ・子供がお世話になっている施設は建物も老朽化しており、耐震性も疑問。何とか建物を更新して頂き、併せて親亡き後も安心して任せられる入所施設への拡充を望んでいる。

- ・4才で脳腫瘍の手術、47才で脳内出血、全くの寝たきりで何も出来ないが一生懸命がんばって今を生活している。介護保険でのサービスを受けているが不足で、費用の持出が多いので困る。もっと気軽にサービスが受けられる様になればと思う。
- ・居宅、移動ともに、吸引のできるヘルパーさんが欲しい。
- ・私の場合、病気から障がいとなっており、年齢と共により悪くなる一方で不安だが、現在は仕事も正社員で行っており、健康な方には理解していただけないのが現実である。一度相談した時「悪くなったら来てください」というような対応で、月に1,500円の支援もなくなり、期待できる要因が全くない。場合によるが、経済的支援だけでもして欲しい。
- ・身体や知的と比べ、精神障がい者はそれほど多くの支援が受けられていると思わない。程度の差はあるが、精神障がいでも日常的に苦痛な思いをしているため、精神障がい者にも十分な支援がほしい。
- ・自身が支援を受けるほど、重度な障がいを持っていないため、市が行なっているサービス内容を知らなかったもので、周知させるために、SNS発信の有効活用、イベント等をポスター等で公に貼り出して欲しい。
- ・将来一人でも生きて行ける様に、福祉の充実を希望する。

### 雇用・就労について（抜粋）

- ・インターネットを利用していないので、情報があまり入ってこず、精神障がい者がどのような所で働けるのか、どのように社会で活躍できるのかを市政だより等で配布して下さると助かる。
- ・パート・アルバイトでの収入が少なく、正社員として就職し、安定した収入がほしい。
- ・就労に関する情報の発信に力を入れてほしい。
- ・高砂市の常勤職員になりたいが年齢制限で応募できない。障害者雇用に関しては年齢制限を撤廃して欲しい。
- ・短時間でしか働けない等、圧倒的に収入が健常者に比べて少なすぎるため、もっと年金の金額を上げるべきだと思う。1か月65,000円では家賃で消えてしまうのではないか。いつまでも、自立した一人暮らしが出来ない。この世は障がい者になったら終わりなのか、生きにくい。
- ・職場探しをもっと気軽にできる場所が高砂町の近くにあってほしい。
- ・現在市外のA型を利用しており、自身のこれまでの職能スキルや経歴・障がい特性を加味してそれに近い仕事内容を頂ける場で就労しているが、近隣市外のように、通所の際の交通費助成の拡充・充実はやはり財政的に難しいのか。手帳の等級が重い方や市内に通園される方への支援は手厚いようだが、そうでない場合、就職活動等を含め、将来的な社会への参加に向けた場への参加費が準備できない、もしくは、かなり期間を要する場面が多々出てきてしまっている。
- ・将来や金銭面に対する不安から二次障害が長引き、それを解決するための通院費を継続的に出すことも難しくなっている。自立支援を利用しているが、保険適用外のカウンセリングを定期的に受けており、毎回の通院費が高額になってしまう。障害年金も主治医から了承が出ず、家族からのサポートも全面的には厳しい。病状も暫くA型でないと勤務できない状態である。自分ができそうな仕事、社会参加をするためにはやはり多少無理してでも市外の、明石や神戸等PCスキルを生かせそうなA型がある地域へ転出した方がよいのか。
- ・私は、精神障がい2級（統合失調症）を患いながらも、何とか日商簿記検定2級に合格できた。両親共に、年老いて、すぐにも自立しなくてはならず、何とかこの資格を活かし、または、資格取得までの頑張りを評価してもらい、就労したい。就労への教育、支援をもっと充実させてほしい。
- ・知的障がいのある人が働ける場所が作業所しかないように思う。実際、どの様な場所で活躍しているのか情報が欲しい。

- ・市内に、車いすに乗っていても働ける就労継続支援A型が少ない。
- ・「うつ病」と言っただけで採用されず、薬も隠れて飲むので、面接の時は言わないようにしており、仕事が長く続けられない。
- ・肉割れがあるため「明日から来るな」とメールがくる。
- ・着替えも人数が多い時間で更衣する。
- ・普通の人と同じペースで仕事が出来ないのに対し、「うつ病」であるかと聞かれ、肯定すると急に態度が変わられてしまう。
- ・B型作業所や障がい者へのサービス事業所等が高砂には少ないと思う。近隣はどんどん増えていっている。近くで就労場所を探せるように増えてほしい。
- ・まだ中学なので、今までの14年間のことしか分からないが、今後、進学・就職を控えており、その時にはまた何かしらのサービスが必要だと思うかもしれない。母親として、障がいがあっても民間の会社の正社員になった方の話を聞きたいので、そういう会があればよい。
- ・定期代の半分は出してほしい。学割のない現在、交通費は大きな負担であり、親の定年後には本人に払えるはずもなく、作業場を交通費の安い所へ変更せざるをえなくなる。加古川市は1か月に10,000円まで出ると聞いた。
- ・これから大人になり自立していけるようにサポートしていただきたい。障がいを理解してもらい、受け入れてもらいたい。社会に出て働いて自立できるのが目標である。

#### 療育・医療について（抜粋）

- ・3～4才の頃に市のこころの相談へ何度か行ったが、一年間様子見と言われたため、これではいけないと思い、自分から病院や発達センター等に電話し、約5か月後の予約をし、療育を始める事が出来た。様子を見ずに早く行動を取ればよかった。
- ・今まで市の相談を何度か別の窓口で受けたが、話を聞いて下さるだけで、解決することが少なかったので足が遠のいた。専門知識のある方を増やしてほしい。
- ・保育園や小学校でも、発達障害を理解して、早期発見や早期療育につなげられると、助かる人がいると思う。高砂市では療育施設がなく、継続した支援が必要な障がい児にどう対応するのか。
- ・色々な面で数年前より良くなっていることを本当にありがたいと思う。

#### 学校・教育について（抜粋）

- ・子供は広汎性発達障害であり、見た目は分からない。軽度の為、5年生から普通級にも支援級から変更したが、やはり困っている事は本人的にはある。重度の障がいのある人への支援は分かりやすいが、軽度やグレーの子供達にも安心できる制度、支援がもう少しあると生活しやすいと思う。
- ・子どもが通っている学校とデイサービスがもっと連携を取って、情報交換等をして、療育の仕方や課題、目標、次のステップに進めるよう話し合ってもらいたい。
- ・放課後デイサービスで、自立訓練等ができるようにしてほしい。

- ・現在小学生だが、他の市は高校に支援学校の分校や、特別支援学校があるのに高砂市にはなぜできないのか。姫路別所高校の分校に見学に行ったが、障がいのある人への就職について考えられており、素晴らしいと思った。しかし、高砂市民は通学できないと聞き、とても残念である。普通高校では難しく、東はりま支援学校より高度な勉強ができる所がなく、とても困っている。これからそういったケースが増えてくると思うので、この子達の将来についても考えてほしい。
- ・学校は支援学級にて、マンツーマンで勉強を見てもらえているので安心。

#### 相談先・相談支援について（抜粋）

- ・自分の親・兄弟が健康な間はよいが、万が一、一人になった時が不安でたまらない。老人ホームへ入るには年齢が早く、一人では生活できないので良い方法があれば知りたい、相談したい。
- ・些細な事が気軽に相談できる場所を教えてください。介護サービスもほとんど知らず、過去に寝たきりになったときも、加古川西市民病院の看護師さんは親切だったが、高砂市の福祉の職員は不親切で、あまりよい気がしなかった。知識がない感じに思え、不信感を覚えた記憶がある。頼れないと思ったので以後頼っていない。
- ・今後介助や手助けをしていただく事もあるかと思うので、気軽に相談が出来ればありがたい。
- ・私は、統合失調症として、相談の機会も無かった。特に不満がある訳ではないが、この病気は人とは思われていないのではないかと思うことがある。生活レベルを上げるのも一筋縄ではいかず、少し就労できたからと、2級から3級へ推し進めるかの様な言い方の主治医。ただ、自活できる能力や、失った時の気持ち、これらを踏えて、病気はなかったことにしたい気持ちはある。ただ、人の話し等聞いていない、聞いてもらえないので、生活レベルを上げるしかない。そういう意味で、信じられる人等いない。
- ・支援という言葉は、何か大袈裟で嫌悪感がある。なかなか自ら助けを求めにくいと思う。体に疾患のない高齢者で一人住まいの方や、親の介護をされている方等、本当に困っている方々がひっそりと暮している。私は、近所の方にお声をかけて頂いて、庭の木々の剪定をして頂き助けて頂いた。私も地域の方に、困っている事はないか、お声をかけさせて頂いている。困っているのに声を出していない方には、生活の手助けをお願いしたい。
- ・年収で補助金や助成金がもらえないのはおかしい。年収でも税金で大きく減るのに、生活が苦しくても何もしてくれず、親身になって対応してくれたりしたことがない。精神障がいへの理解があまりにも低い。
- ・軽度発達障害の為、外見では障がいわかりにくい。障がい者が地域で生活しやすくなる為の支援をお願いしたい。
- ・当事者、保護者が相談しやすい環境をお願いしたい。
- ・放課後デイサービスが急につぶれて、困った時に相談支援の先生等へ相談したが、結局行ける所を紹介してもらえず、自力で探した事業所の責任者の方の優しさで入れてもらったので、相談支援がいらないのではないかと思う。

#### 災害・防災について（抜粋）

- ・災害が起きた時、一般の人と同じ避難場所には、気をつかうので行けないと思う。迷惑をかけるぐらいなら、自宅にとどまるか、車中泊を選ぶと思う。障がい者と、その家族が避難できる場所を増やしてほしい。
- ・災害のとき、一人ひとりに障がいのある子への、場所の確保をお願いしたい。

### 犯罪・治安について（抜粋）

- ・高砂市役所の方には、とても親切にして頂いているが、高砂市に来てから 15 年が経っても全くなじめない。一般市民の方たちの交通マナーから何から何まで当初からびつくりした。どちらかといえば常識にかける、自分勝手な人の多さに私自身も己ら、扉を塞いでいる。
- ・地方出身の主人と再婚し、私の母も地方から呼び寄せ、3人での暮らしには、満足している。

### 障がい理解について（抜粋）

- ・情報を発信はされていると思うが、確実に伝えたいことが伝わっているか疑問に感じる。通信費がかかると思うが、障がい者への連絡はもちろんのこと、支援団体や自治会等にも広報活動を行っていただき、障がいに対する理解を深めていただきたい。できれば、教育機関での公演等、児童・生徒に理解を求めることが出来ればより良いまち、住みやすいまちに変わっていくと感じる。
- ・色々な障がい者の人達が住みやすい町になればよい。私は聴覚障がいがあり、駅等のアナウンスがわかりにくいので、もう少し情報を得ることが出来ると安心できると思う。
- ・見える障がい、見えない障がい色々あるが、人にわかってもらえない障がいが一番辛い。
- ・もっと障がいや、障がい者、障がい児について理解してほしい。
- ・民生委員はやさしい方だが、あまりにも心の配慮が少なく、40 歳の娘が生まれつき今もオムツをしている事等に対して理解がなく、災害時の助けをお願いした際、知らない自治会の役員や、我が家の知らない方に色々話が回ってしまった。助けていただくのは感謝するが、知らない自治会の男の方が車で助けに来ていただく事に不安があったので、顔をお互いに合わせたいと伝えたとこ、40 歳の障がいのある方を女性として見て、悪い事をする事はない、考えすぎだといわれた。障がいがある、なし、高齢者等々、つねにコミュニケーションや信頼関係が必要な世の中になってほしい。
- ・自分自身が背負ってみなければ分かってもらえない。医療関係者や自分は解っていても、私達に理解できる説明がない。
- ・大変な時代を生き、子育てしながら痛みを抱え働かなければならなかった時、「痛みは嘘かもしれない」、「この病院から来る人は、何ともないのに良く来る」等と、心ない言葉等が今思えばあった。
- ・わたしは、内部障害（小腸機能障害）のクローン病であり、急にお腹が痛くなり、会社や日常の冷えも大敵であり、避けられない場所があるととても不安で、苦痛。たくさん好きだったものが食べてはいけなくなり、嫌いなものになってしまった。長年つき合っているが、みんなの中で生活することは、かなり苦痛な時がある。何度も突然の入退院をくり返しているが、普段会社では、元気な姿しか見せないため、不思議がられ、個人の体調管理を指摘されたこともあった。先生に相談すると、「それがあなたの病気です」といわれ、納得しているが、お昼も毎日エレンタールを作って飲んでいる。これも、会社の人にそんなものを飲んでいるから病気になるのだと言われたこともあり、「宇宙人なので」と答えている。もっとみんなが理解してもらえる環境になればと思う。
- ・介護士看護師の対応力等を直してほしい。何人かの女性介護士から顔を見るなり、「キモイ」、「こわい」等の言葉の差別を毎回言われ、仕事に行きたくない。

### 高齢化・親亡き後について（抜粋）

- ・私達、障がい児者とその家族にとって一番の不安は、親亡き後の子供達の生活である。今は、何とか家族で介護、介助できても、親は年をとり自分の介護も必要になるかもしれない。子供はどんどん重度が進むかも知れず、身障者を介助してくれるヘルパーや施設は少なく、施設に入所するにしても、大きい施設は、利用者が多い為か、目も手も行き届かなく、不安だと聞く。住み慣れた地域で、小人数でのグループホームができないか。色々と思案しているが、子供や親の力だけではどうする事もできない。空き家を利用する等、どうにかならないか。どうか、親亡き後、子供達が自分らしさを失わないような、生活する場所、グループホームを作ってほしい。
- ・親がいなくなったら、生きていけるだろうか、生きていける場所はあるだろうか、行政は生きていける場所を作ってくれるだろうか。福祉サービスだけでは生きていけないと思う。
- ・金銭面、人間関係の全てにおいて、親亡き後、一人でも安心して暮らせるようにしてほしい。知的障害、自閉症という重いものを背負って生きているが、とても純粋で一生懸命ものごとに取り組んでいる。将来、社会の一員となるが、いじめなく安心して暮らしてほしいと母として強く願う。
- ・親なき後の事を考え成年後見制度も考えるが、あちこちで不正がある事を見聞きすると、利用する気持ちになれない。今以上の相談支援の充実をお願いしたい。
- ・自分はまだ自身で何事もできるが、今後は年齢等を考えると不安になり、今後のことが分からない。

### 行政について（抜粋）

- ・ヘルプカードについての広報活動が少なく、ヘルプカードが何か知らない人が周りに多い。
- ・避難行動者支援者制度の存在を知らなかったのので、時々どういった制度があるのか調べてみようと思った。行政はどういった問題にどういった制度を利用できるかを検索できるようにしたわかりやすいHPを作り、障がい者も気軽に見にいけるようになればと思う。
- ・ジェンダーフリーについて、資料等の性別を書く所の廃止。子どもは性の不一致で悩んでいるが、まだまだ理解がない。
- ・2年半前に非常に激しい運動をしていてICDを体に植えつける事態になってしまったため、長年続けてきた運送業をやめざるをえなくなった。私のような非常に激しい運動をしていてICDをつける事態になった人と普通の生活をしていてICDをつける事態になった人をひとくくりにして「ICDをつけた人は職業運転はダメ」と法律で決めつけてしまうのは酷であり、特に若い人はかわいそうである。私は今までその運動をやめて以来普通に生活しており、「医師診断書があれば職業運転に復帰してもよい」等柔軟な対策が必要。
- ・何をしているかわかりにくく、市政だよりで、活動、取組を紹介してもらえるとよい。
- ・職場で、偏見や差別を受けた時に、すぐに対応できる公共の場を作ってほしい。税金対策も詳しく知りたい。
- ・社会福祉協議会の活動の幅を広くしてほしい。
- ・「誰もが住みよいまち」の内容を具体的に明示してほしい。
- ・高砂市では入所・短期共利用する所が存在しない。親子共に高齢になっても、入所できる場所がなく行政の見解が全く伝わってこない。
- ・ブライダル都市高砂の意味が理解出来ない。結婚しても、家を購入しても何も無い。障がい者にも何も無く、神戸市は色々支援があるが、同じ兵庫県でいても住んでいる市によって制度が違いすぎる。

- ・何か高砂市がしようとしても、お金がない。山陽高砂駅、JR曾根駅の改修できない。人口は減少するばかりだが、加古川市は賑わっている。コロナが終わりかけたら、民間も含めて、高砂市を盛り上げよう。それには、今、色々なビジョンを作っておくべきである。短期で終わるのでなく、5年～10年を考え、少しずつ立ち直るしかない市である。企業城下町だったのを忘れて、やっていったらどうだろうか。
- ・姫路市では障害基礎年金を受給している場合、国民健康保険料減額する制度があるが高砂市にはないので早急に条例を改正してほしい。
- ・目に見えない障がい者をもっと見つめるべき。
- ・タクシー券を頂いているが、病院に通うのにどうしてもタクシーを利用しないと行くことができず、透析をしている者としては、週3回絶対に通うため、頂いている枚数では、とうてい足りない。できることなら透析患者には、もう少し配慮してもらいたい。
- ・地域の人、近隣の人、福祉サービスの人が「絶対的な安全」ではない時代である。ふれあいではない形での取組がふえてくれたら安心。まさにアンケートは「ふれあはなく、伝える」が出来ているような気がした。最後に、私は、私たちは、障がい者でなく、同じ人間である。
- ・タクシーチケットを3枚使えるようにしてほしい。
- ・駅を全てエレベーターにしてほしい。
- ・明石市は、障がい者に対して、1万円のクーポン券を配布したが、高砂市は、コロナで何もしてくれない。
- ・もっとまじめにやってほしい、まわりくどい仕組をなくしてほしい。
- ・高砂市の特に発達障がい者(児)への対応や支援は他市町と比べて、遅れすぎていて最悪だと思う。子どもと親は生きづらい思いをしていることを早く分かってほしい。学校、教育委員会にも大変不満がある。アンケートをせっかく取ったのだから早急に生かせるよう対応してほしい。
- ・障がい者でない人が障がい者用の駐車場に止めるのをやめてほしい。買物しても、杖をついて車まで荷物を運ぶのが辛い、助けを求められない。いつも障がい者用の駐車場はふつうの人の車があるため、止めることは出来ず、取り締まってほしい。
- ・僕たちが生きやすい環境を作ってほしい。
- ・個人情報、自治会役員、民生委員等を通じ、一般人にも流出している。以前に、市役所の方をお願いしていたが、無視された。言ってしまった言葉は取り消すことは出来ない。
- ・何事も、こちらから聞かないと、行政から積極的に教えたり、知らせたりしてくれない。
- ・障害者手帳の等級によって医療費の補助があるが、そこから外れると、病院へ行った際、薬代がかかり大変である。
- ・高砂市は、障害者福祉に対して、理解がなく、施設や、トイレ等が老朽化していても、早期改善がなされていない。職員等、もっと勉強して、今の時代に何が必要か理解力をもって頂きたい。日本人は、弱い者にもっと寛容であるはずなのに、どなたか行動しようとする事が出来る人はいないのか。
- ・娘はダウン症で、それがわかった時点から自分で色々調べないとわからなかったことがたくさんあった。ダウン症であるとわかった時点で、国や県や市から受けられる補助のまとめ冊子みたいなものがあればよいと思った。とくに金銭的な補助についてはどなたも知っていて損ではないので一番に知りたいことだと思う。
- ・自分は基本的に健常者と同様で、あまり利用や関わりを持ったことがないので言い切る事は出来ないが、高砂市は広すぎないからこそ出来る事があるのではないかな。
- ・障がい者も高齢者も共に生活できる場を高砂市でぜひ作ってほしい。
- ・中途半端な障がい者の行き場がない。
- ・他市に負けない、注目されるような良い高砂市を願う。

- ・バス等の交通手段がもっと増えたらよいと思う。私は、左足の装具と杖だけなので足が悪い事を理解される事が少なく怖い思いをしているので、他の病気の人にも、何かわかりやすいマークな等があればいいと思う。それを理解されれば怖い思いが少なくなると思う。
- ・姫路市は障害者福祉金を4級で 10,000 円支給されているのに対し、高砂市は0円とはどういうことか。一般と同じ扱いというのはあきれている。
- ・小、中、高の障がいに対しては、未就学児にくらべて運動等のサービスが少ないと思うので、明石市の福祉を参考にしていきたい。
- ・公共施設での障がい者用トイレに、オムツ交換用の成人用のベッドを設置してもらいたい。現在はオストメイトのみの場所が多い。

### 公共交通機関について（抜粋）

- ・一人暮らし、一戸建てで近所付き合いない。孤立しないためにも、公民館の集まり等公共交通機関、バスの本数が増えてほしい。
- ・外出時にバスを利用することが多いが、バスの時間が少ないため、不便である。もっとバス利用できるようにしてほしい。
- ・困っている事ばかりだが、気軽に相談出来る人が全くおらず、行きたい所へも行く事が出来ず、生活を楽しむ事も難しい。移動手段がJRバスだけで、駅まで行くのも苦勞しており、誰か居ないと外へも行けず、市役所までも遠くに行くのが不便である。本当に困っているが、助けて頂けないのか。
- ・宝殿駅の高架化。
- ・高砂市民病院へ行こうと思っても、じょうどんバスが近くまで来ず、バス停まで歩いて行くには無理である。眼科等は自分で運転して行けないので、治療が思うようにできないが、本当は診察を受けたい。じょうどんバス等もっと障がい者や高齢者が利用できやすいように公平に運行してほしい。
- ・ゴミステーションの網で私の母(86 才)が足を骨折し、介護認定を受けるようになり、2人共に生活が辛くなった。そのようなことを市に報告しているかわからないが、地域では生活しにくさや危険があるので理解してほしい。
- ・JR曾根駅利用時、階段が多く困っている。
- ・車では、見通しの悪い路地ではカーブミラーがなかったり、停止指示がない所があり、怖いことがある。逆走してくる道もあり、自宅周辺は路駐が多く迷惑している。障がいのある人への思いやりを感じることは、JRや店でもないので、配慮頂けると良い。

### その他（抜粋）

- ・これだけ細かいアンケートを集計して、高砂市の福祉や障がい者の為に、役立てて頂けたら幸いである。
- ・分からないところが多かったため、もう少し1つ1つの質問を分かりやすく書いて欲しい。
- ・誰も障がい者になりたく無いと思うが、しかし、障がいや、年金等を認定してもらい、生活費を戴かないと生活できない現実が在る。社会的に自分が不要であると、思い悩むようになってしまう。
- ・長男が病気になり、退院後にどうすればよいか不安だったが、病院が施設を紹介してくれた。現在は、何とか気に入っており、元気に生活しており、感謝している。
- ・定期的に「障害福祉新聞」のようなものを発行してほしい。広報の「社協だより」は、高砂市に住んで 20 年になるが、長年会社と農協関係のものだと思い込み、見ていなかった。社会福祉協議会の略だとは思わなかった。

- ・10才児童へのアンケートの為、母代筆したが、当てはまらない、又はよくわからない項目が多く、きちんとした回答になっていない。
- ・先日、大阪の市営住宅で障がいがある男性が、自治会役員に障がいについてのメモを書かされ、その翌日に自殺されてしまったという事案があり、非常に辛い気持ちでその記事を読んだが、実際、高砂市内の市営住宅に入居している時にも、人権を無視した自治会活動をされる方々を実際に見てきた。高砂市は地域のつながりや絆がとて深い事はいいことである反面、全ての方がプライベートをさらけ出して生きていかななくてはならない場面が多く、子供が一人で生きていくのは、繊細な性格の為、難しいと感じています。
- ・幸せに暮らせている。
- ・問33で、「障がいのある人との市民交流による理解と参加を進める」とあるが、障がい者は市民ではないような書きかたで、気分が悪くなった。
- ・楽しい情報を知り、日々楽しくすごしたい。
- ・母が亡くなって淋しく、実家に帰りたいが一人では生活が出来ない。
- ・要介護2の母と助け合って生活しているが、私も体調に波があり、コロナや病気にかかったら、母の通院が出来なくなり困る。
- ・このアンケートは、自身で考えられない者、自身で判断できない者向けにはあてはまらない。なぜこのアンケートが送られたのか、なぜ選ばれたのか、このアンケートが来ていない障がい者がいるがなぜか、このアンケートが来た者より障害等級が高い者にはアンケートは来ていないことがあるのはなぜか不明である。
- ・もっと情報が欲しい。
- ・とにかく全てわからない。
- ・本人がアンケートをするのをいやがる事が多くあった。障がいのため、文字を読むのが大変困難な事も大きな原因。
- ・アンケートを読み進めていくうちに知らなかった制度があるのを知り、ありがたい。
- ・働かなくてもよい生活がしたい。
- ・いつもありがとうございます。さらなるご支援をよろしくお願いします。
- ・行政には期待していない。
- ・がんばって、アンケート書いたので、少しでも、よい形で反映できたらと思う。
- ・今のところはトイレ等についてだが、これから更に出てくる事がありそう。
- ・教育・勤労・納税制度について、三大義務ではあるが、もっと働きやすい明るい街づくりを、地域の力で。

高砂市障害者計画・第6期高砂市障害福祉計画兼  
第2期障害児福祉計画策定に向けたアンケート  
調査結果報告書  
【障がい者へのアンケート】

令和2年10月 発行

発行／高砂市

編集／高砂市 福祉部 地域福祉室 障がい・地域福祉課

〒676-8501 兵庫県高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

TEL : 079-443-9027 FAX : 079-443-3144